

第五十六回 帝國議會 貴族院議事速記錄第三十一號

議事日程 第三十二號 昭和四年三月二十日	午前十時開議	昭和四年三月二十日(水曜日)
第一 案件	第一 論會	第一 読會
第二 案件	第一 読會	第一 読會
第三 案件	第一 読會	第一 読會
第四 案件	第一 読會	第一 読會
第五 案件	第一 読會	第一 読會
第六 案件	第一 読會	第一 読會
第七 案件	第一 読會	第一 読會
第八 案件	第一 読會	第一 読會
第九 案件	第一 読會	第一 読會
第十 案件	第一 読會	第一 読會
第十一 案件	第一 読會	第一 読會
第十二 案件	第一 読會	第一 読會
第十三 案件	第一 読會	第一 読會
第十四 案件	第一 読會	第一 読會
第十五 案件	第一 読會	第一 読會
第十六 案件	第一 読會	第一 読會
第十七 案件	第一 読會	第一 読會
第十八 案件	第一 読會	第一 読會
第十九 案件	第一 読會	第一 読會
第二十 案件	第一 読會	第一 読會
第二十一 案件	第一 読會	第一 読會
第二十二 案件	第一 読會	第一 読會
第二十三 案件	第一 読會	第一 読會
第二十四 案件	第一 読會	第一 読會
第二十五 案件	第一 読會	第一 読會
第二十六 案件	第一 読會	第一 読會
第二十七 案件	第一 読會	第一 読會
第二十八 案件	第一 読會	第一 読會
第二十九 案件	第一 読會	第一 読會
第三十 案件	第一 読會	第一 読會
第三十一 案件	第一 読會	第一 読會
第三十二 案件	第一 読會	第一 読會
第三十三 案件	第一 読會	第一 読會
第三十四 案件	第一 読會	第一 読會
第三十五 案件	第一 読會	第一 読會
第三十六 案件	第一 読會	第一 読會

第十四 案件	第十五 案件	第十六 案件	第十七 案件	第十八 案件	第十九 案件	第二十 案件	第二十一 案件	第二十二 案件	第二十三 案件	第二十四 案件	第二十五 案件	第二十六 案件	第二十七 案件	第二十八 案件	第二十九 案件	第三十 案件	第三十一 案件	第三十二 案件	第三十三 案件	第三十四 案件	第三十五 案件	第三十六 案件		
山口縣營軌道及築後軌道株式會社所屬軌道補償 ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)	大正十四年法律第二十九號中改正法律案(衆議院提出)	蠶絲業法中改正法律案(政府提出)	帝國鐵道會計法中改正法律案(衆議院提出)	絲價安定融資補償法案(政府提出)	臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)	健康保險特別會計法中改正法律案(政府提出)	臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)	臺灣事業公債法中改正法律案(政府提出)	信託業法中改正法律案(衆議院提出)	貴族院規則中改正ノ動議(公爵一條實孝君外 六名發議)	東亞保民會設立ニ關スル請願	露漁業條約ニ關スル請願	三陸沿岸線鐵道速成ニ關スル請願	小郡、萩間鐵道敷設及停車場設置ノ請願	金澤、八尾間鐵道敷設ノ請願	交行政統一ニ關スル請願	於福、大田間鐵道敷設ノ請願	岩見澤、厚田間鐵道敷設ノ請願	北見瀧ノ上、上川間鐵道敷設ノ請願	根室臨港線鐵道敷設ノ請願	紋別臨港線鐵道敷設ノ請願			
(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)	(報告)

○子爵青木信光君 近衛君ノ動議ニ賛成イタシマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

諸君ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○男爵阪谷芳郎君 只今ノ近衛公爵ノ御發議ニ對シマシテハ満腔ノ賛成ヲ表

スル次第デゴザイマス、英國ト云フコトヲ聞キマスルト直ニ日英同盟ヲ記憶

イタシマス、是ハ御承知ノ通リニ多年兩國ノ間ニ成立ッテ居リマシタ日英同

盟ハ、前年華盛頓會議ノ結果終了イタシマシタノデアリマスルケレドモ、兩

國民ノ精神ノ上ニハ少シモ此同盟ノ時ノ、良好ナル感情ト云フモノハ變ッテ

居ラスト云フコトヲ明カニ證明スルモノト思フノデアリマス、ソレ故ニ英國

ト申セバ直グ日英同盟ト云フコトヲ何人モ思ヒ出スノデアリマス、斯カル兩

國ノ關係、歐羅巴方面ニ於ケル又亞細亞方面ニ於ケル二大帝國ノ間ノ、斯カル

良好ナル關係ト申スモノハ、世界平和ノ上ニ實ニ重大ナル、又極メテ大切ナ

ル結果ヲ齎スモノデアリマス、殊ニ兩帝國ノ御皇室ノ間ニハ、御親厚ナル御

關係ガ重ナリ重ナツテ居リマスルコトハ、誠ニ喜バシイ次第デゴザイマシテ、延

イテ兩國ノ關係ト云フモノヲ益々親密鞏固ナラシムルモノデアリマスル、只今

近衛公爵ノ御發議ノ通リニ、來ル五月一日ニ「グロスター」公殿下ガ我國ニ、

誠ニ目出度イ御使命ヲ持ッテ御出デ下サイマスト云フコトハ、此上モナイ喜バ

シイ次第デゴザイマスル、唯會期ノ終リマシタ後デアルト云フコトハ、我ニ

貴族院ト致シマシテ非常ニ殘念ニ存ズル次第デアリマス、若シモ會期中ニ御

出ヲ戴クコトガ出來マシタナラバ、ドノ位我ニハ喜バシイデアラウカ、殊ニ

昨年英國ノ開院式ノ當時ニ於キマシテ、皇帝陛下ノ御勅語、又其御勅語ニ付

テノ討論ノ際ニ、我皇室ノ御即位大禮ニ付テ、極メテ御懇篤ナル意思ヲ表明

セラレ、又英國ノ名士ガ代ル立ッテ其趣旨ニ贊同シテ居ラレマスト云フ

コトハ、我ニノ記憶ニ新タニシテ、當時我ニハ最モ欣快ニ堪ヘナカツタ所デ

アリマスル、此度ノ殿下ノ御來遊ニ付テハ、皇室ハ勿論ノコト、國民舉ゲテ御

歡迎ヲ申上ゲタイ意思ノ極メテ熾ンナルコトヲ今ヨリ想像イタス次第デゴザ

イマスル、ドウゾ議長閣下ニ於カセラレテハ、我ニノ意思ヲ遺憾ナク徹底セ

ラレルヤウニ希望イタス次第デゴザイマシテ、謹デ近衛公爵ノ御發議ニ賛成

イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 只今近衛公爵ノ述ベラレマシタ來ル五月本邦ヘ英

國ヨリ「グロスター」公殿下ノ御來朝ニ際シマシテ、同殿下ニ對スル御歡迎ノ

方法ハ議長ニ一任スルト云フ御趣意ト伺ヒマシタ、近衛公爵ノ動議ニ同意ノ

○議長(公爵徳川家達君) 滿場一致ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一、自作農創設維持助成資金特別會計法案、
政府提出、衆議院送付、第一讀會
自作農創設維持助成資金特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月十九日

衆議院議長 川原茂輔

貴族院議長公爵徳川家達殿

自作農創設維持助成資金特別會計法案

自作農創設維持助成資金特別會計法

第一條 自作農創設維持助成資金ノ會計ハ之ヲ特別トシ一般ノ歲入歲出ト

區分スベシ

第二條 自作農創設維持助成ノ資金ニ充ツル爲政府ハ本會計ノ負擔ニ於テ

借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ借入ヲ爲スコトヲ得ル金額ハ毎年度三千萬圓ヲ限度ト

ス

第三條 政府ハ前條ノ規定ニ依ル借入金ノ額ガ前條ニ規定スル制限額ニ満チザル場合ニ於テハ借入金ト通ジテ其ノ制限額ニ達スル迄自作農創設維持助成ニ要スル交付金トシテ交付スル爲本會計ノ負擔ニ於テ農地債券ヲ發行スルコトヲ得

第四條 本會計ニ於テハ借入金、自作農創設維持助成交付金ノ償還金及其ノ利子其ノ他附屬雜收入ヲ以テ其ノ歲入トシ自作農創設維持助成交付金、借入金及農地債券ノ償還金及其ノ利子其ノ他附屬諸費ヲ以テ其ノ歲

出トス

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預

第六條 政府ハ毎年本會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スベシ

第七條 本會計ノ毎年度歲出豫算ニ於ケル支出殘額ハ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第八條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本法ハ昭和四年度ヨリ之ヲ施行ス

國債整理基金特別會計法第二條第三項中「臨時國庫證券」ノ下ニ「農地債券」ヲ加フ

登錄稅法第十九條第八號中「北海道府縣市町村」ヲ「國、北海道府縣市町村」

ニ改ム

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 自作農創設維持助成資金特別會計法案提案ノ理由ヲ説明申上グマス、自作農ノ創設維持ノ助成ハ、農業生産ノ増進ヲ圖リ、國民食糧ノ充實ヲ期スル上ニ於テ重要デアリマスルノミナラズ、農地問題殊ニ小作問題ノ解決、農村安定ノ對策ト致シマシテ、極メテ必要ナル施設デアリマシテ、國家各般ノ政策ノ中ニ付キマシテモ、最モ重要且緊急ナル事項ト信ジマスル、從來簡易生命保険積立金ヲ此方面ニ融通イタシマシテ、國家ノ補助ト相俟ツテ相當ノ成果ヲ收メツ、アルコトハアリマスルケレドモ、此方法ハ元來同積立金運用ヲ主體ト致スノデアリマスルカラシテ、資金還元ノ主義ヲ離ル、コトガ出來ナイノデアリマスル、從ヒマシテ自作農創設維持者ノ選擇ニ關シマシテハ、此資金還元ノ性質ニ於ケル制限ノ爲ニ、適當ナル資格者ニモ資金ヲ融通シ能ハザル場合ガ生ズルノデアリマス、又資金融通ノ限度、即チ年々ノ資金ノ總高ニ付キマシテモ、農村一般ノ要望ニ對シテ到底之ヲ満足セシメ能ハザルノ狀況ニアルノデアリマスル、即チ簡易生命保険積立金ノ運用ノミニテハ、其貸付ノ方法及ビ貸付ノ限度ニ於テ、自作農創設維持ノ目的ヲ十分ニ達成シ能ハザルノ憾ガアルノデアリマス、茲ニ於テ政府ハ茲ニ恒久の制度ヲ立テマシテ、爾今毎年一定ノ資金ヲ以テ自作農創設維持ノ助成ニ充用セシメマシテ、相當ノ程度ニ資金ノ需要ヲ満足セシメルト同時ニ、融通ノ按排ニ關スル從來ノ不便ヲ緩和セムトスルノデアリマス、而シテ是ガ資金ニ關シマシテハ、毎年度三千万圓ヲ限度ト致シマシテ、借入金ヲ致シマシ

テ、此自作農創設維持助成ニ要スル交付金ノ支出ニ充當スルノデアリマスガ、若シ借入金ノ額ガ三千万圓ニ滿タザル場合ニ於キマシテハ、之ニ滿ツル迄農地債券ヲ發行シテ交付イタシマシテ、之ニ充當スル積リデアリマス、而シテ其交付金ノ元利償還金ヲ以テ、右ノ借入金及ビ農地債券ノ元利償還ニ使用セムトスルノデアリマス、而シテ是等ノ收支及ビ之ニ附屬スル收入支出ハ、一團ドシテ獨立ニ計算スルヲ適當ナリト考ヘマスノデ、本資金ニ關スル歲入歲出ハ之ヲ一般ノ會計ト區分イタシマシテ、特別會計ヲ設置セムトスルノデアリマスル、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ切望イタス次第デアリマス○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ質疑ノ發言ヲ許シマス、志水小一郎君

〔志水小一郎君演壇ニ登ル〕

○志水小一郎君 本員ハ總理大臣ニ向ツテ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、御出席ニナッテ居リマセヌカラシテ、何レノ大臣デモ宜シウゴザイマスガ、總理ノ御代理トシテ御聽取リアラムコトヲ希望スルノデアリマス、本員ノ御尋ハ自作農ノ創定ニ關シテ居リマスケレドモ、其案其モノノ内容ヲ是非スルヤウナコトハ致サヌ積リデアリマス、案其モノニハ却ツテ御同意ヲスルカモ存ジマセヌ、然ルニ此案ノ審査ニ關シテ起リマシタコトニ本員ハ著目ヲシテ居リマシテ、其事及ビ之ニ附帶牽聯スルコトニ付テ御尋ガ致シタイノデアリマス、而シテ自作農創定法案ハ本員ノ御尋ノ趣意カラ申シマスト、一ツノ例示ニ當ルノデアリマス、凡ソ現内閣ニ於テ是等ノ重要法案ガ審査セラレマスルヤ、其起草ノ時カラ成案ノ時ニ至ルノ間ニ、其審査ノ模様ガ比較的容易ニ外間ニ漏洩スルト云フヤウナ感ジガアルノデアリマス、例ヘバ此案ニ付テハ、某ノ大臣ト某ノ大臣トガ意見ヲ異ニセラル、從テ兩省ノ間ニ斯クノノ確執ガアルト言ハムガ如キコトガ聞エル、又結局是ハ總理ノ決裁ニ俟ツノ外ナカラムト云フヤウナル傾キガアルノデアリマス、關係ノ大臣ガ各其立場々々ニ依ツテ主張ヲ争ハル、ノハ無論當然ノコトデアルノデアリマス、ソレ故ニソレ等ハ内部ノコトトシテ機密ガ保タレルナラバ、何人モ好シデ摘發シテ彼此レト申スモノハナイ筈デアルノデアリマス、所ガ兔角其機密ガ保タレズシテ、所謂公然ノ祕密トナル傾キガアルノデアリマス、是ガ畢竟世間ノ注意ヲ惹ク所以デアルノ

デアリマス、法案ガ内部ニ於テ如何ニ論難攻撃セラレマシテモ、之ニ關シテ如何ナル押著ガアリマシテモ、纏リサヘスレバ宜イデハナイカト云フ論モアルノデアリマセウ、所ガ案其モノノ信用、從テ其案ノ運命ニ付テハサウハ參ラヌノデアリマス、比較的無難ニ審了セラレタルモノト、波瀾重疊、幾多ノ屈曲押著ヲ經テヤット纏タ案トハ大變ナ違ヒガアルノデアリマス、況ヤ其成案タルヤ初メノ原案ニ比ブルト非常ナ變體ヲナシテ、殆ド原形ヲ存セヌト云フヤウナコトニナレバ尙更デアリマス、抑、如何ナル理由アリテ、斯ク當然保タルベキ祕密ガ容易ニ暴露スルノデアリマセウカ、是ハ一ツノ疑問ト本員ハ思フノデアル、或ハ暴露シタンデハナイ、宣傳ノ爲ニ特ニ暴露セシメラレタノデハナイカト想像セムトスルノニ、サウ云フ想像ハ許サヌノデアリマス、豈ニ其ヤウノコトアラムヤデアリマス、矢張リ暴露スルニ違ヒナイト思フノデアリマス、抑、如何ナル理由ガアリテ斯ク當然保タルベキ祕密ガ容易ニ暴露スルノデアリマセウカ、是ハ失禮ナガラ内閣ニ最モ必要デアル所ノ協同一致、統制統一ト云フ點ニ幾分カ缺クル所ノモノガアルカラデハアリマスマイカト、斯ウ疑フノデアリマス、田中内閣ハ多年軍部ニ在ツテ協同一致トカ、統制統一トカ云フコトノ最モ必要デアルト云フコトヲ了解シテ居ラレル所ノ田中男ヲ戴クノニモ拘ラズ、動モスレバ共同一致、統制統一ヲ缺クノデハナイカト疑ハレルコトガアルノデアリマスガ、將來内閣ニ累ヲ及ボスモノハ矢張リ此點デハナイカト本員ハ思フノデアリマス、本員ハ現下ニ於ケル内外ノ情勢ニ鑑ミマシテ、日本帝國ノ中央政府ニ協同一致ヲ缺クトカ、小サナル内訂暗鬪ガアルト云フヤウナコトハ斷ジテ許サヌト信ズルノデアリマス、ソレデ私ノ此演述ハ其演述ノ進行ニ從ヒマシテ横道ニ這入ルデハナイカト云フヤウニ聞エルカモ知レヌノデアリマス、併ナガラ私ハ好ンデ傍側ニ瓦ルヤウナ演述ハ決シテ致サヌノデアリマスカラ、ドウカ此演説ノ終局ヲ御覽下サリマシテ適當ノ御判断ヲ願ヒタイノデアリマス、而シテ現内閣ニ或ハ統制統一ニ缺クルヤウナコトガアルノデアリマス、此頃ノ出來事デアル所ノ久原遞相ノ起用ヨリ起リマシタ所ノ一ノ紛議、是等ハ顯著ナル一例、デアリマス、而シテ閣臣間ノ不一致ガ窺ハル、ノミナラズ、與黨ニモ亦其弊ガアリマシテ、時トシテハ與黨ガ内閣ニ對シテ種々ノ不平ヲ持込ム氣色ガ見エルノデアリマス、本員ハ田中首相ノ扱ハレル所ノ人事ノ取扱振ヲ大變能ク知ツテ居ル一人デアリマス、從テ

首相ガ自己ノ信ズル人物ヲ起用スルニ當リ群議ヲ排シ、殆ド人言何カラムト云フ意氣込ミヲ以テセラル、コトヲ、アナガチ非難ハ致シマセヌ、併ナガラ是ガ爲ニ内閣ノ結束ヲ緩ウシ、遂ニ内閣ノ基礎ヲ危ウスルヤウナコトトナラヌノデアリマス、比試的無難ニ審了セラレタルモノト、波瀾重疊、幾多ノ屈曲押著ヲ經テヤット纏タ案トハ大變ナ違ヒガアルノデアリマス、況ヤ其成案タルヤ初メノ原案ニ比ブルト非常ナ變體ヲナシテ、殆ド原形ヲ存セヌト云フヤウナコトニナレバ尙更デアリマス、抑、如何ナル理由アリテ、斯ク當然保タルベキ祕密ガ容易ニ暴露スルノデアリマセウカ、是ハ一ツノ疑問ト本員ハ思フノデアル、或ハ暴露シタンデハナイ、宣傳ノ爲ニ特ニ暴露セシメラレタノデハナイカト想像セムトスルノニ、サウ云フ想像ハ許サヌノデアリマス、豈ニ其ヤウノコトアラムヤデアリマス、矢張リ暴露スルニ違ヒナイト思フノデアリマス、抑、如何ナル理由ガアリテ斯ク當然保タルベキ祕密ガ容易ニ暴露スルノデアリマセウカ、是ハ失禮ナガラ内閣ニ最モ必要デアル所ノ協同一致、統制統一ト云フ點ニ幾分カ缺クル所ノモノガアルカラデハアリマスマイカト、斯ウ疑フノデアリマス、本員等ノ如ク内閣ノ強固ヲ必要トシ、政變ノ頻繁ヲ喜バザル國家的見地カラ考ヘマシテモ、ソレハ甚ダ憂フベキコトデアルト思フノデアリマス、尙ホ首相ガ此際是等ノコトニ付テ大イニ考慮ヲ拂ハレナクテハナラヌト云フ幾多ノ理由ガアルノデアリマス、本員ハ簡単ニ一言以テ首相ノ御考慮ヲ煩サネバナラヌノデアリマス、ソレハドウ云フコトデアルカト云フノニ、今ヤ此政争ノ弊害ハ殆ド其極度ニ達シテ居シノデアリマス、之ガ爲ニ内外重要ノ政策モ閑却セラレルデハナイカト思フコトガ幾多モアルノデアリマス、要ノ政策モ閑却セラレルデハナイカト思フコトガ幾多モアルノデアリマス、從テ我憲政ノ前途モ……

○議長(公爵徳川家達君) 志水君、本案ニモウ少シ縁ノアル御質疑ダト議長ハ喜ビマスガ、大分範圍ヲ脱シテ居リハシマスマイカ、御注意イタシマス、又他日其問題ニ付テ總理大臣ニ御尋ニナル機會モアラウド思ヒマス、如何ニモ本案ニ關係ガ段々薄クナルヤウニ考ヘマス……志水君バカリニ御許シ申スコトハ出來マセヌカラ、ドウゾ御注意ヲ願ヒタイ

○志水小一郎君 宜シウゴザイマス、ソレデハ簡単ニ……帝國ハ中央政府ノ部内ニ今ヤ協同一致ヲ缺クヤウナコトガアッテハナラナイ、斷ジテサウ云フコトヲ許サナイト云フ理由ヲ簡單ニ申上ゲマス……今申シマシタ……

○議長(公爵徳川家達君) 志水君、幾ラ簡単デモ何分御許シ申スコトハ出來マセヌ、本案ニ直接ニ關係ガアルコトナラ、幾ラ長クテモ私ハ御許シ申ス積リデアリマス、又他ノ議員諸君ニ對シテソレガ先例ニナリマスト、議長ガ議場ヲ整理スル上ニ於テ……

○志水小一郎君 尤モデス……成ルベク

○議長(公爵徳川家達君) 成ルベクチャナイ、ドウゾ範圍ヲ御脱シニナラスルコトガアルノデアリマス、此頃ノ出來事デアル所ノ久原遞相ノ起用ヨリ

スヤウニ願ヒタイ

○志水小一郎君 本員ハ初メニ御断リ申シテ置キマシタ如ク、自作農創定法案其モノノ内容ヲ是非スルノデハアリマセヌ、併シ内閣ニ於テ此審議ニ關シテ起リマシタ出來事ニ憂フベキコトガアルカラシテ、寧ロ其點ガ私ノ御尋ヲスル主眼デアルノデアリマスカラ、チヨット道行ハ横道ニ這入ルヤウデアリ

マスケレドモガ、本員ノ結論ヲ御聽キ下サレバ能ク御了解デアラウト思ヒマスカラ、暫ク御清聽ヲ願フト云フコトヲ御断リシテ置キマシタ、併シ只今議長閣下カラ成ルベク傍側ニ這入ラナイヤウニト云フ御注意デアリマスカラ、ソレハ服膺イタシマス、服膺イタシマスケレドモ、元々御尋ノ仕方が自作農法案ノ其内容ヲ是非シテ其得失ヲ言フノデハナクシテ、之ニ關聯シテ起ッタ所ノコトニ心配ヲシテ此御尋ヲスルノデアリマスカラ、其意味ニ於テ簡單ニ矢張リ結ビマセント云フト、到頭述ベルコトガ出來ナクナルノデアリマスカラ、ドウカ御了解ヲ願ヒマス……

〔添田壽一君「議事進行ニ付テ申上ゲタイ」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 只今志水君ノ發言中デアリマスカラ、暫ク御控ヘテ願ヒタイ……

〔添田壽一君「議事進行ニ付テ申上ゲタイ」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 志水君、何分御許シ申スコトガ出來マセヌ……志水君、御降壇ヲ請ヒマス……添田君、議事進行ト云フ御言葉デゴザイマシタガ、只今志水君ニ御降壇ヲ請ヒマシタカラ、添田君ニ發言ヲ許サウト考ヘマス

○添田壽一君 私ハ此神聖ナル議場ニ於キマシテハ、議長ノ御意思ニハ絶對ニ服從セナケレバナラヌト考ヘマス、其事ニ付テ私ハ甚ダ遺憾ニ感ジマシタカラ申上ゲタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 只今志水君ハ議長ノ希望通リニ御降壇下サイマシタカラモウソレ宜カラウカト考ヘマス

〔男爵小畠大太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵小畠大太郎君 只今法案御提出ニナリマシタ理由トシテ農林大臣カラ御述ベニナリマシタ其内ニ、本案ハ國家政策上最モ重要且ツ緊要ナル事項ト信ジマスト御述ベデアリマシタガ、私モ今日ノ農村疲弊、農業者ノ非常ニ困憊シテ居ルコトカラ申シマシテ、誠ニ肝要ナコトト確信イタシマス、就キマシテ御尋ヲ申上ゲタイノハ、只今志水君カラ御述ベガアリマシタガ、丁度其ノ日曜ヲ休ミマシタラ、アトハ二十五日マデニ三日間ヨリナイノデアリマスガ、是程緊要ナコトト思召ス本案ヲ三日ノ内ニ審議セイト仰シャラレルコトハ如何ナル理由デアルカ、ソレヲ承リタイノデアリマス、ソレカラソレ程急

イデ審議ヲセヌナラヌ必要ガ今日アラウカト云フコトガ私ハ疑ガアルノデゴザイマス、其點ガ一點、第二ニ承リタイノハ、是ハ只今御説明ニ依リマスト云フト、本案ニ依リマシテ、三十五箇年ヲ通ジマシテ十億何十万圓ト云フ金ヲ使フノデアリマス、ケレドモ是ハ全然全部消費スルト云フコトデハアリマス、併ナガラ衆議院ノ委員會其他ノ模様ヲ拜聴イタシマスルト云フト、最初カラ千九百万圓、二千万圓近ノ金ヲ國庫ガ損失ヲスルト云フコトヲ前提トシテ是ガ立ツテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、今日國費窮乏ノ折柄誠ニ國民ニ此上多大ノ負擔ヲ掛ケルト云フコトハ、我ハ大イニ考慮セヌナラヌコトデアルト思フ、所ガ私ハ屢々此演壇カラ申上ゲテ居リマスコトデアリマスガ、一體小作法ヲ何時御立テニナルノデアルカ、小作法ガ立チマシテ地主ト小作人トノ農產ノ分配ガ公平ニ行ハレ、バズノ如キ多大ノ國費ヲ使ハズシテ解決ガ付クノデヤナカラウカト思フノデアリマス、其點ヲ伺ヒマス、第三ニ伺ヒタイノハ、是ハ先日米穀法案ガ提出ニナリマシタ時ニ、マダ此日本ニキマシテ農業ノ大本デアル所ノ米作ニ付テノ一向御定見ガナイ、先達ノ米穀法案ト云フモノハ一時ノ應急策デアル、今後委員會ヲシテ十分調査ヲスルト、斯ウ云フ御話ガアリマシタガ、只今申上ゲマスル通り、我國ノ農業ノ大本ト云フモノハ米作デアリマス、米ノ價格ガ下ツテ居レバ農民ガ非常ニ困憊ヲスルノデアリマス、此方法ガ立タズシテ自作農ヲ立テルト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ、ソレモ金ヲ使ハズシテ出來ルコトデアリマスレバ、誠ニ小作農ニ次ギ自作農ヲ維持スルト云フコトモ必要ナコトデアリマセウ、私モ結構タカラモウソレ宜カラウカト考ヘマス

〔男爵小畠大太郎君演壇ニ登ル〕

○男爵小畠大太郎君 只今法案御提出ニナリマシタ理由トシテ農林大臣カラ朝鮮ニ出來マス朝鮮ノ米、御承知ノ如ク是ハ内地ト比較イタシマスナラバ生産費モ非常ニ安ク出來ル、詰リ米價モ安ウゴザイマスシ、勞銀モ安ウゴザイマス、又兩方面トモ内地程肥料ヲ使ハヌノデアリマス、尙ホ其上ニ山本満鐵社長ノ御話ヲ承リマスト云フト、最近ノ中ニ東部滿洲ニ鐵道ガ縱横ニ敷シテ御尋ヲ申上ゲタイノハ、只今志水君カラ御述ベガアリマシタガ、丁度其ノ日曜ヲ休ミマシタラ、アトハ二十五日マデニ三日間ヨリナイノデアリマスガ、是程緊要ナコトト思召ス本案ヲ三日ノ内ニ審議セイト仰シャラレルコトハ如何ナル理由デアルカ、ソレヲ承リタイノデアリマス、ソレカラソレ程急居ラレルカ、ソレデ果シテ今日ノ此方法デ以テ自作農ノ創定維持ガ完全ニ出

來ルモノデアリマセウカ、其三點ヲ承リタウゴザイマス

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 小畠男爵ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、第一點ハ斯ノ如キ重要ナル内容ヲ有スル法案ヲ、何ガ故ニ斯様ニ遅延シテ提出スルコトニ相成ツタカ、此御尋デゴザイマシタガ、實ハ此問題ハ一昨年來政府部内ニ於テ計畫ヲ立テマシタノデアリマスガ、大體ニ於テ成案ヲ得テ居リマシタケレドモ、一二可ナリ重要ナル點ニ付キマシテ意見ノ纏ラナイ點ガ残ツテ居リマシタガ爲ニ、遂ニ成案ヲ得マスルノガ段々ト遲レマシテ、議會ノ開會ノ躊躇ニ提案ヲ致シタイト考ヘテ居リマシタ通リニ參ラナカッタノハ、誠ニ恐縮至極ニ存ジマス、而シテ議會ニ提案イタジマシテカラ衆議院ニ於キマシテ、衆議院ノ議事ノ都合ニ依ツテ更ニ若干ノ遷延ラ來スヤウナコトニ相成リマシテ、其結果本院へ廻付サレマスノガ、今日此會期切迫ノ間際ニ至ラザルヲ得ナカッタト云フコトハ、誠ニ遺憾千萬ニ存ジマスルノデ、此會期ガ將ニ盡キントスル間際ニ於テ、斯ノ如キ案ヲ急速ニ御審議ヲ願ハナケレバナラヌト云フコトハ、政府ト致シ、特ニ當局ノ私ト致シテハ千萬恐縮ニ堪ヘナイ所デアリマスガ、併ナガラ此案ガ重要デアレバアル程、一日モ早ク之ヲ實行イタシタイト云フ誠意ヲ持ツテ居リマスノデアリマスルカラシテ、誠ニ僅少ノ時日ニ於テ審議ヲ御迫リ申スヤウナ形ニ相成リマスコトハ恐縮千萬デゴザイマスルケレドモ、此邊ノ行キ懸リト政府ノ意ノアル所ヲ御諒知下サイマシテ、御審議下サレムコトヲ御願ヒ申スヨリ外ハナイノデアリマス、次ニ之ヲ速ニ審議シテシマハナケレバナラヌト云フコトハドウ云フ理由デアルカト云フ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一年先ヘ延ビテモ差支ナイト言ヘバ差支ナインデアリマスルケレドモ、併ナガラ斯様ナ事柄ハ先ヘ延バシタラドレダケノ弊害ガアルカト云ヘバ、之ヲ具體的ニ斯ウ云フ弊害ガアルト申上ゲル譯ニハ參リマセヌケレドモ、併ナガラ一日モ早ク斯様ナコトハ實行スルノガ宜シイト云フダケノ考ヘハ持ツテ居ルノデアリマスルカラシテ、御審議ガ願ヘマスレバ一日モ早ク之ヲ政策ノ上ニ實現シタイト云フ考ヘニ外ナラヌノデアリマス、次ニハ二千万圓程宛年々損失ヲスルヤウナコトニ相成ツテ居ルガト云フ前提ノ下ニ、寧ロ小アリマスマイカト思ヒマスノデ、左様ナコトニハナツテ居リマセヌノデ、三千

万圓ヅツノ資金ヲ運用イタシマシテ、三十五箇年間ニ十億五千万圓ノ資金ヲ運用イタシマシテ此小作農ノ……自作農ノ創設維持ヲ圖ルノデアリマスルガ、大體ニ於テ不可抗力等ニ依ツテ生ズル所ノ損失ハ之ヲ補填スル所ノ方法ガ立ツテ居ルノデアリマス、其詳細ナルコトハ尙ホ他ノ機會ニ於テ申上ゲマスケレドモ、此借入金ハ大體預金部カラ借入レルコトニナツテ居リマスルガ、預金部カラ借入レル利率ハ四分八厘、之ヲ貸付ケルノハ五分、其間ニ二厘ノ差ガアリマスガ、之ヲズット積立テ、行キマスト相當ノ大キナ金額ニナツテ參リマスノデ、之ヲ以テ不時ノ災害損失等ニハ備ヘ得ラレル計算ニナツテ居ルノデアリマシテ、國庫ニ對シテ何等損失ヲ掛ケル計算ニハナツテ居ラナイノデアリマシテ、唯年々國庫ヨリ此方法ヲ實行シマスルガ爲ニ五十万圓餘リノ支出ヲ仰グト云フコトニハナツテ居リマス、是ハ從來ト雖モ、簡易生命保險積立金ノ運用ニ依ツテ自作農ノ維持創設ヲ爲シ來ツテ現在居ルノデアリマス、其場合ニ於テモ尙ホ國ハ相當ノ補給ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアルノデゴザイマシテ、今回ノ此法案ノ結果ト致シ、特ニ國庫カラシテノ支出ヲ新ニ制度トシテ、今マデ無カツタコトヲスルト云フ次第デハナイノデアリマス

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

之ヲ要スルニ損失二千万圓年々ト云フヤウナコトハ絶對無イノデアリマス、小作法ヲ……此法案ヲ提出スル前ニ寧ロ小作法案ヲ提出シタナラバト云フ御尋デアリマスルガ、小作法ニ付キマシテハ其必要ナルコトヲ當局モ切ニ感ジテ居リマスノデ、併ナガラ一面ニ於テハ非常ニ小作法ノ内容ハムヅカシイノデゴザイマシテ、地主小作ノ間ニ於テデス雙方トモ満足スルト云フガ如キ成臺ト致シマシテ、今全國ノ小作側、地主側ノ方面ニ向ツテ意見ヲ徵シテ居ルノデアリマシテ、是等ノ意見ガ纏リマシタラバ、之ニ基イテ案ヲ立テマシテ居ル所ノ小作法ノ内案ト云フモノハ在ルノデアリマスルカラシテ、之ヲ土台ト致シマシテ、之ヲ小作調査會ニ掛ケテ其上デ議會へ提出ノ運ビニ致シタイト考ヘテ居リマスノデシテ、來期議會ニハ願クハ間ニ合フヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、サリナガラ此小作法ト云フモノガ先ニ定マラナケレバ自作農ノ維持創設ト云フガ如キコトハ效ヲ爲サヌデハナイカト云フヤウニハ政府ハ考ヘテ居リマセヌノデシテ、是ハ別個ノ考トシテ考ヘテ宜シイト思ヒマス、サレバ今アリマスマイカト思ヒマスノデ、左様ナコトニハナツテ居リマセヌケレドモ、簡易

生命保險ニ依ル所ノ自作農ノ創設維持ト云フモノハズツト年來行ヒ來ッテ居ルノデアリマス、是ハ是トシテ之ヲ更ニ擴大イタシ、充實イタスコトガ必要デアルト政府ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラモウ一ツハ米穀政策ト云フモノヲ確立シナイ前ニハ本案ノ如キモノハ矢張リ效果ヲ齎スコトガ疑ハシイデハナイカト云フ御尋デアツタヤウデアリマスガ、米穀政策ノ中デ米價調節ト云フコトニ關シマシテハ、即チ現在行ハレテ居ル所ノ米穀法ト云フモノガアリマスノデアリマスケレドモ、是ガ幾多ノ缺陷ガ經驗上生ジテ來タヤウニ思フノデアリマス、又資金ニモ非常ニ不足ヲ來シマシタニ依リマシテ、今回應急ノ方法トシテ取敢ヘズ七千万圓増額ヲ議會ニ要求イタシタヤウナ次第デアリマスガ、併シ此米穀政策ト云フモノハ、唯現在ノ米穀法ヲ多少改良ヲシタ、改正ヲシタ、或ハ多少ノ資金ノ増額ヲ致シタカ云フ如キダケノ問題デ解決ハ出來ナイト思フノデアリマシテ、即チ小畠男爵カラモ述ベラレマシタガ如キ、滿洲ニ於ケル產米、朝鮮ニ於ケル產米、臺灣ニ於ケル產米乃至ハ輸入米マデモ考慮ノ中ニ入レマシテ、全體ヲ包括シテ統一アル所ノ政策ヲ樹立イタサナケレバナラヌノデアリマスカラシテ、是ハ政府ノ一存デ急遽立案ヲスルト云フコトヨリモ調査會ヲ設ケテ、此處デ審議ヲシテ然ル後ニ立案ヲ致シタ方ガ誤リガナイ……誤リガ少ナイト、斯様ニ政府ハ信ジマスルガ故ニ、既ニ其委員會ヲ設ケル積リデ追加豫算ヲ以テ其費用ヲ請求イタシテ居ル次第デゴザイマス、斯様ナ譯デアリマシテ小作法竝ニ米穀法ト云フガ如キモノガ改正ナリ或ハ新ニ提案サレナイ前ニハ此自作農ノ維持創設ノ法案ト云フモノハ何等意義ヲ成サナイモノデハナイカト云フ御尋ニ付キマシテハ十分御諒知下サルコトト信ズルノデアリマス

○男爵小畠大太郎君 内容ニ付テモウ一遍御質問申シマスガ、當席カラ、成ルベク大キイ聲デ申シマスカラ、發言ヲ御許シ願ヒマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 宜シウゴザイマス

○男爵小畠大太郎君 只今第二ノ點ニ付テ御答ニナリマシタガ、少シ是ハ私ガ御尋ヲシマシタコトヲ御聽達ガアリマスヤウデスガ、申述ベマセヌデモ宜シウゴザイマスガ、私ガ申上ゲマシタノハ三十五年ヲ通ジテ十億五千万圓ノ金ヲ使フノダ、是ガ全然無クナルノデハナイケレドモ、不可抗力其他ニ依リマシテ二千万圓バカリノ金ハ損失ニ對シテモ補償スル準備ガアルト云フヤウナコトヲ前提トシテ、本案ヲ御立テニナツテ居ルト斯ウ申上ゲタノデアリマス

ス、今度承リタイノ大臣カラ御説明ガゴザイマシタ通り、現行法ニ依リマスト云フト、四分八厘ノ簡易生命保險ノ借入金デ一分三厘ト云フモノヲ國庫ガ補助ヲシマシテ、之ヲ借りリマス農家ハ差引キ三分五厘ノ負擔デアルノデゴザイマス、利子ハ……然ルニ今回ハソレヨリモ利率ガ高イノデアリマス、詰リ借入ヲスル農民ハ負擔ガ重ウゴザイマス、ソレカラ今日現行法ハ二十五年デアリマス、然ルニ今度ノ新シナ方法ニ依リマスト、二十五年ニナツテ居リマス、成程年限ガ長ケレバ年々償還スル金ガ少クテ濟ム譯デハアリマセウケレドモ、日本ノ死亡率ヲ見マスルト云フト、先づ六十歳カラ七十歳迄ガ統計年鑑ニ依リマスルト一番數ガ多イノデアリマス、サウスルト農民トシテ勞働ニ堪ヘル年齢ト云フモノハ、先づ六十歳デアラウト思ヒマス、サウ致シマスルト三十五年ト言ヒマスレバ、二十五歳ニシテ初メテ借リテ六十歳ニ達スル次第ト思ヒマス、或ハ債務者ガ債務ヲ果サヌ中ニ死亡スル、子孫ニ憂ヲ貽スト云フコトガ今度ノ案ニ依レバ出來ヌトモ申セヌト思ヒマス、果シテ是ガ完全ニ本案ノ御趣旨ガ達シ得ルヤ否ヤヲ疑フノデアリマス、此點ヲ御説明ヲ願ヒタイ

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 御答ヘ申シマス、利率ハ現在ノ簡易生命保險積立金ノ融通ニ依ル分ト、本案ニ依ル分トハ小畠男爵ノ仰セラル、通リ相違ガアリマス、簡易生命保險ノ場合ニ於キマシテハ、政府ヨリ一分三厘ノ補助ガアルノデアリマス、然ルニ本案ニ依リマスト其補助ガ無イノデアリマスカラシテ、本案ガ即チ五分ヲ以テ貸付ケルコトニナツテ居リマスル、從來ノ簡易生命保險ノ分ハ農民ノ負擔ト致シテ三分五厘ノ利率ニナツテ居リマス、此相違ハドウシテ生ズルカト申シマスレバ、即チ簡易生命ノ從來即チ現在ノ分ニ於テハ、簡易生命カラ借入レル四分八厘ニ更ニ一分三厘ノ政府ガ補助ヲ致シテ、安ク三分五厘デ農民ニ渡ルヤウニシテアリマス、此相違ハ存ジテ居リマス、存ジテ居リマスルガ、是ハ誠ニ今日ノ財政狀態ノ上ニ於テ已ムヲ得ナイト考ヘガシテ、今回ノ分ハ政府ノ利子補給ノ無イ立方ニシテアルノデアリマス、理想ヲ申セバ政府ガ利子ヲ補給シテ現在ノ簡易生命保險ノ融通金ノ如ク矢張リ本案モ致シタインデアリマスルケレドモ、之ヲ致シマスルト云フト中ニ國家ノ負擔ガ大キクナリマシテ、現在ノ三千万圓年々ノ程度デモ、先キヘ行キマスト中ニ大キナ、補給金額ニナリマスルガ、若モ將來ニ於テ三千万圓位ノ規模デ

ハ中ゝ需要ニ應ジ切レナイカラシテ六千万圓ニ増額スルトカ、或ハ之ヲ八千
万圓ニ増額スルトカ云フガ如キ必要ガ生ジテ、法律ノ改正ガ行ハレルト云フ
時ニナリマスルト、ソコマデ考ヘテ見マスルト、國費ノ負擔ガ若シ今日ノ如
キ補給利子ヲ以テシマスレバ中ゝ容易ナラヌコトニナル虞レガアリマスノデ
ソコデ今回ハ理想ト致シテ、即チ自作農維持創設ト云フ問題ノミノ立場カラ
申セバ、補給ヲシテ、サウシテ農民ヘノ利子ヲ安クシタインデアリマスガ、
財政ノ現在及將來ノコトヲ考ヘマシテ補給ヲ致サナイ立前ニ致シタ次第デア
ル、是ハ誠ニ已ムヲ得ナイコトト政府ハ信ジテ居リマス、サテソレガ農民ノ
側カラ見レバドウ云フ結果ニナルカト云ヒマスルト、農民ノ側ト致シマシテ
ハ年々納メル所ノ年賦金ハ今日ノ簡易生命保險ノ場合ト同ジコトニナルノデ
ス、唯其故ニ、年限ガ二十五年現在ノモノガ、三十五年即チ十箇年ダケ年限
ガ延ビテ居ルノデアリマス、十箇年ダケ年限ヲ延バシテサウシテ年々納メル
即チ農民ノ負擔ニ歸スベキ年賦金ハ、今日ノモノト少シモ違ハナイヤウニ致
シテアルノデス、ソレ故ニ是ガ爲ニ即チ利息ノ高イ爲ニ年賦金ノ負擔ニ堪ヘ
ラレナイヤウナ狀態ニ農民ガ陷ルト云フ虞レハ無イ積リデアリマス、現在簡
易生命保險ノ成績ニ徵シテ見マシテモ、殆ド滯納ト云フガ如キコトハ無イノ
デアリマスルカラ、即チ農民ノ負擔ニ堪ヘナイト云フコトハ無イ、十分ニ負
擔ニ堪ヘ得ラレルト云フコトハ過去及現在ノ實績ニ徵シテ明カデアルノデア
リマスルカラシテ、ソレト同ジ程度ノ年賦金ヲ以テスルト云フコトデアッタ
ナラバ、此法制ニ依ル所ノ資金融通ニ對シテ農家ハ其年賦金ノ償還ニ苦シ
ムト云フコトハ少シモ無イ積リデアリマス、サウ致シマスルト殘ッタ問題ハ
年限ノ問題、是ガ即チ小畠男爵ノ第三ノ御尋ノ點デアリマス、從來及現在ノ
分ハ二十五箇年、今回ノ分ハ三十五箇年、三十五箇年間ト云フコトハ餘リ長
クハナイカト云フ御趣意ノ御尋デアリマシタガ、是ハ現在ノ二十五年ニ比ブ
レバ勿論長イノデアリマスカラ、若シ二十五年ト云フコトデアルナラバ結構
デアリマス、ソレヲ更ニ短縮シテ二十年ニスルコトガ出來レバ尙更結構デア
リマスケレドモ、只今申ス年賦金ノ關係カラ年限ヲ延バザルヲ得ナクナッ
テ、三十五年ニ延バシタノデアリマスガ、三十五箇年ノ制度ニ致シマシテモ
決シテ長過ギルトハ私共ハ考ヘテ居リマセヌ、外國ノ事例ヲ申上ゲテ甚ダ恐
縮デアリマスケレドモ、外國ニハ獨逸、英國、丁抹其他ノ諸國ニ悉クスウ云
フ方法ガ行ハレテ居リマスノデスガ、年限ハ寧ロ長イノガ多イノデアリマス、

五十年カラ長イノハ九十年位ノモノモアル譯デアリマス、寧ロ日本ノ三十五
箇年ト云フノハ短イ期間ニ屬シテ居ルト思ヒマス、併ナガラ是ガ五十年ト云
フコトニナリマスルト、若イ中ニ之ヲ取得イタシテモ自分ノ生キテ居ル間ニ
償還シ切レナイト云フ虞レガ無イデハアリマセヌガ、三十五年位ナラバ先ヅ
大抵自分ノ生キテ居ル中ニ之ヲ償還スルコトガ出來ルト見テ大差ナカラウト
斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

〔志水小一郎君發言ノ許可ヲ求ム〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 通告者ガゴザイマスカラ御後ニ願ヒマス、藤
澤利喜太郎君ノ登壇ヲ望ミマス

〔藤澤利喜太郎君演壇ニ登ル〕

○藤澤利喜太郎君 私伺テ見タイコトガ偶然ニモ只今ノ御應答ノ中ニ其端
緒ガ發セラレテアッタヤウニ思ヒマス、即チ此期限ノコトニ付テデアルノデア
リマス、此歐洲大戰ガ始マリマスルヨリ遡ルコト約一百年、即チ「ナポレオン」
戦爭ノ終リマシタ頃迄ト云フモノハ、廣イ世界ニ於キマシテ通貨ノ價值が最モ
變ラナカッタ時代デアッタデアリマス、是ハ私ガ申上ゲマス迄モナク皆様御
承知ノ通り、此約一百年ノ間ニ通貨ノ價值ノ浮沈、上下ト云フモノハ僅ニ三
割ヲ超エナカッタノデアリマス、今日我ガ日本ニ於キマシテハ是ハ全ク事情
ヲ異ニシテ居ル、現ニ明治初年ノ當時カラ今日ニ比べマシタナラバ、通貨ノ
價值ハ約十分ノ一位ニナツテ居ルト思ハレルノデアリマス、併シ廣ク世界ニ
範トセラル、獨逸ニ於ケル施設ノ如キモ、其通貨ノ安定シテ居ツタ時代ノモ
ノデアラウカト推察スルノデアリマス、從テ此通貨ト云フモノノ價值ハモウ
ソレカラシテ總テノ學問、是等ニ付テノ學理並ニ諸施設、多分此自作農ガ模
範トセラル、獨逸ニ於ケル施設ノ如キモ、其通貨ノ安定シテ居ツタ時代ノモ
ノデアラウカト推察スルノデアリマス、從テ此通貨ト云フモノノ價值ハモウ
變ラヌモノダト云フヤウニ、總テノ人ガ意識スルヤウニナツタノデアリマス、
ソレデアリマスカラシテ公債ノ償還期限ナドモ、幾ラ長クテモ差支ナイト云
フヤウナ感ジヲ皆ガ持ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ此大戰ガ始マリマシテ
カラ全然サウ云フコトハナイ、通貨ノ價值ト云フモノハ非常ニ變動スルモノ
デアル、ドウ云フ風ニ變動スルト云フコトハ、神ナラヌ人間ニ分リヤウハナ
ツアルノデアリマス、尤モ戰爭中ノ國際貨借、英國ト米國トノ間ノ貸借ト云

フヤウナモノハ、又獨逸ノ賠償金ト云フヤウナモノハ、事已ムヲ得ザルガ故ニ長期ニ瓦ツテ居ルノデアリマス、ケレドモ其他ニ付テハ、公債等ニ付キマシテハ、我國ニモ隨分可ナリ長期ノ公債ガアルノデアリマス、確カ五十年ト云フヤウナモノモアルカト記憶シテ居リマス、デ公債ノ期限等ニ付テハ、何等人が考慮シナカッタノデアリマス、併シ戰後ハ全ク其事情ガ異ツテ居ルノデアリマス、前途ノ事ハ分ラヌガ、兎ニ角此長期ノ貸借ニ付テ餘リ長イ期間ト云フモノハ甚ダ危險デアルト云フコトデアルノデアリマス、唯我ムガ前ニモ申シマシタ通り、模範トスル所ニ諸外國ニ於ケル諸學說、並ニ其施設ト云フモノハ、皆其通貨ノ安定時代ニ、ソレガ當リ前ノコトノヤウニ考ヘラレタ時代ニ出來タモノデアルノデアリマス、ソレ故ニ戰後ノ今日ハ、此長期貸借ニ瓦ルコトニ付テハ大イニ考慮シナケレバナラヌカト思フノデアリマス、公債ノ場合ニ於テモ餘リ長イ長期ノ公債ト云フモノハ餘程御控ヘニナッタラ宜カラウト私ハ考ヘルノデアリマス、サテ此自作農ニ付キマシテハ、只今モ小畠男爵ト當局大臣トノ間ニ應答ノアリマシタ如クニ、簡易保險ノ方ハ年限ガ二十五年、利率ガ三分五厘ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、此年限ノ二十五年サヘモ私ハ長過ギルト實ハ思ツテ居リマス、且又此土地ノ問題ハ、モット大キナ問題デアル所謂土地政策ノ問題ト云フモノデ、現ニ英國ナドデハ非常ニ此事ニ付テ苦心ヲシテ居リマス、又何事ニモ不自由デナイ米國ニ於テサヘモ、此南部地方ニ於ケル所ノ土地問題ト云フモノハ、今日既ニ問題ニナッテ居リ、又近キ將來ニ問題ニナルベキ傾向ヲ有ツテ居ルノデアル、我國ニ於テモ矢張リサウデアラウト察スルノデアリマス、又是非トモサウデナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレデ廣汎ナル意味ニ於テノ土地政策ニ對シマシテハ、此自作農ト云フモノハマア枝葉ノヤウナモノデアル、又此自作農問題ト致シマシテモ、最初ノ計畫ハモット大キイ計畫デアッタヤウニ承知シテ居リマス、確カ今回ノガ三千万圓、其前ノハ八千万圓程度ノモノデアッタカノヤウニ承知シテ居リマス、或ハソレハ私ノ誤解カモ存ジマセヌガ、少クモ新聞紙上ニハ左様ニ現レテ居ルト存ジテ居リマス、其邊ヲ考ヘテ見マスルト云フト、是ハ廣汎ナル意味ニ於テノ土地政策ノ一小部分ト言ハナケレバナラヌ、一方ニハ年限ガ三十五年ニモ瓦ルト云フ即チ戰後ノ今日ノ狀況ニ於テ三十五年ニモ瓦ルト云フノデアリマスカラシテ、若ヤ將來ノ一般土地政策ヲ施ス上ニ於テソレガ如何ヤウナ形ヲ取リマスカト云フコトハ、今日カラ分ラヌ譯デアリ

マス、累ヲ及ボスヤウナコトハ無イカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、ニアリマスルノデ此點ヲ即チ歐洲大戰前トハ今日通貨ノ價值ノ變動ニ付テハ非常ニ狀況ガ變ツテ居ル、從テ歐洲大戰前ノ如ク外國ノモノハ餘リ我ムノ手本ニハナラヌ、從テ此三十五年ト云フヤウナ年限ハ斯ウ云フ何ガシカ試驗的ノ性質ヲ有ツテ居ル事柄ニ對シテハ、非常ニ長イ年限デアルト云フコトヲ當局ハ御考慮ニナリマシタカ否ヤト云フコトヲ一ツ私ハ伺ヒタイノデアリマス、簡易保險ノ資金ハ其性質上四分五厘以下デハドウシテモ貸スコトハ出來ナイノデアリマス、最初自作農ニ貸付ケル時ニモ隨分之ニ付テハ種々考慮シタノデアリマス、ドウシテモ一方ニハ小作ト云フモノニ付テ相當ノ計算ヲ立テマスルガ、年三分多クモ三分五厘以上デハ到底計算ガ立タナイ、三分五厘ニシテルコトヲ御許シニナリマスナラバ、其無理ヲスル爲ニ此年限ヲ長クサレタモ尙且ソニ二十五年ト云フヤウナ長期ヲ要スルノデアリマス、ソコデアトノ三分三厘補給ト云フヤウナコトガ出來タモノデアリマス、然ルニ今農林當局者ノ御説明ニナリマシタ如クニ、國家ニハ損失ヲ掛ケタクナイ、自作農ハ其性質上非常ニ低利ノ資金デナケレバ役ニ立タヌ、實ハ何トカソコデ調和ヲシヤウト云フノデ、調和ト御話ニナッタノデアリマスガ、若シ率直ニ私ノ所信ヲ披瀝スルコトヲ御許シニナリマスナラバ、其無理ヲスル爲ニ此年限ヲ長クサレタヤウニ考ヘラレルノデアリマス、併シ左様ニ申シマスルト餘リ非難ニ當ルヤウニ聞エルカ存ジマセヌガ、決シテサウ云フ意味デハナイノデアリマス、國家ノ大局カラ將來是非トモ我ムガ考ヘナケレバナラヌ所ノ土地政策ノ大問題ニ對シテ、將來障碍ヲ爲スヤウナコトハ無イカ、如何ナル點ニ於テ有ルカリサウデアラウト察スルノデアリマス、併シ左様ニ申シマスルト餘リ非難ニ當ルヤウニ聞エルカ存ジマセヌガ、決シテサウ云フ意味デハナイノデアリマス、ト云ヘバ、即チ長期貸借ノ性質ヲ帶び、長期貸借ニ付テハ今後通貨ノ價值ノ變動ノ上下何レニナルヤ存ジマセヌ、存ジマセヌガ必ズヤ頻繁ナラムコトヲ眼中ニ置イテ其邊ニ付テ十分ニ御考慮ニナリマシタカ否ヤト云フコトヲ伺フト同時ニ、前ニ小畠男カラモ御話ノアリマシタ如ク、今期切迫ノ際デアリマスカラ、此案ガ如何ナル運命ニ陥ルカ私ハ存ジマセヌガ、若シ此案ガ出直シテ來ルヤウナ場合ニハ、其點ニ付キマシテ十分ノ御考慮アラムコトヲ序ナガラ希望イタシテ置ク次第デアリマス

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 藤澤君ノ御尋ニ對シテ御答へ致シマス、將來通貨ノ變動ガ激シクナルベク豫測サレルガ、斯様ナ長イ年限ノ貸付ヲシテ差支ナシカ、斯様ナ意味ニ拜承イタシマシタガ、戰爭……世界大戰以來可ナリ通

貨ノ價值モ變動ガアリマシタガ、將來是ガ更ニドウナルカト云フコトニ付キマシテハ銘々意見ハアリマセウガ、何人モ之ヲ確ト突止メル譯ニハ行キマスマイトイ思フノデアリマス、從ヒマシテ此通貨ノ價值ノ變動ノ爲ニ、ドウ云フ影響ヲ斯様ナ資金融通ガ蒙ルカト云フ點ニ付キマシテハ、唯是ダケノコトヲ考慮スレバ宜シイカト思フノデス、通貨變動ノ結果トシテ年賦金ガ納マラナイト云フヤウナコトガ生ジテ、其結果ト致シマシテ貸付金ニ損失ヲ生ジヤセヌカ、之ヲ考慮イタセバ宜シイカト思ヒマスルノデス、大體ニ於キマシテ年賦金ハ一定ノ金額デ決メラレテ居リマスルノデアリマシテ、若シ物價ガ高クナレバ農家ノ收入ハソレダケ多クナリマス、物價ガ低クナッテ、即チ農產物ガ安クナルト云フ場合ニハ年賦金ノ收入ニ對スル割合ト云フモノガ困難ニナッテ來ル、斯ウ云フ結果ハアリマセウト思ヒマス、ガ大體此趨勢ヲ眺メマスルト物價ノ大勢ハ明治ノ初年以來、我國ニ於テモサウデアリマスルシ、又外國ノ例ヲ見マシテモサウデアリマスルケレドモ、變動ハ爲シツ、モソレガ如何ナル方面ニ變動シテ行クカト言ヒマスルト云フト、通貨ノ價值ガ下落シテ行ク方ニ變動シテ居ルヤウニ思ハレルノデシテ、ソレ故ニ言葉ヲ換ヘテ言ヒマスレバ物ハ高クナル方ニ變動イタシテ來テ居ルヤウニ思フ、現ニ通貨ノ如キハ御案内ノ通リ種々波瀾ハアリマスルケレドモ、十年前ニ比ベテハ高イ、二十年前ニ比ベテハ尙更高イ、斯ウ云フ狀態ニナッテ參^ツテ居リマス、デ將來ノ豫測ハ許シマセヌケレドモ、大體若シ變動アリトスレバ通貨ノ價值ガ少シヅツ下落シテ行クト云フ方面ニ變動シテ行キハセヌカト考ヘラレルノデス、サウ致シマスレバ年賦金ニ差支ルト云フガ如キ現象ハ生ゼズシテ、却テ農家ハ今日ノ物價ニ於テ年賦金ヲ納メルヨリハ將來ニ於テ納メルコトガ樂ニナッテ來ルト云フヤウナコトニ相成リハセヌカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ此年限ノコトデゴザイマスガ、先刻申上ゲマシタ通リ成ルベク短イ方ガ宜シイノデアリマスルケレドモ、ソレハ此自作農ノ維持創設ト云フコトハ極メテ大切ナコトデアッテ、出來ルダケ之ヲ擴充イタシタイ、致スノガ又當然デアルト考ヘマス結果ト致シテ、若シ國庫ノ補給ト云フモノヲスルコトガ出來ヌモノトシマスレバ、即チ十箇年延バスヨリ外ハナイノデサウナッタト云フコトヲ申上ゲテ居ル譯デゴザイマス、十年モ延バシテ三十五年ニスル位ナラバ止メタ方ガ宜カラウト云フコトデアリマスレバゾレハ別デアリマスケレドモ

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

私共ハ今日二十五年ノ年期ヲ三十五年ニ延シマシテモ、矢張リ此自作農ノ維持創設ト云フ制度ハ今日以上ニ擴充シテ行クコトガ國ノ爲ニ利益デアルト信ジテ居ル譯デゴザイマシテ、又外ニ現ニ公債ニ於テハ將來ノ物價ノ變動如何恐ラクハ此年限ヲ短縮スルコトハ、即チ短期公債ヲ多ク發行スルコトハ恐ラク不可能ノコトデアラウト思フノデアリマス、又勸業銀行ノ年賦貸付等ノ如キモ矢張リ同ジコトデゴザイマシテ、十年二十年ニ亘^ツテノ長期貸付ヲ行^ツテ居リマスルシ、是モ將來ト雖モ通貨ノ價值ノ變動ト云フコトガアッタ致シマシテモ、此長期貸付ト云フコトヲ廢止スル譯ニハ行カヌダラウト思フノデアリマス、ソレト同ジ意味ニ於キマシテ多少年度ノ差ハアリマスルケレドモ、要スルニ三十五年位ノ程度ハ將來物價ノ變動ハ多少アルト致シマシテモ、ソレガ爲ニ此制度ガ破壊サレルト云フヤウナ憂ハ先ヅナカラウト、私常識的ニ判断ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、ソレデ吳^ムモ申上ゲマスルガ、茲ニ年限ヲ延バスノハ非常ノ無理ガアルデハナイカ、無理ヲスルデハナイカト云フヤウナ御考モアラセラレマスルカ知レマセヌケレドモ、是ハ決シテ非常ノ無理ガ此間ニ生ジテ居ルトハ私共ハ考ヘテ居リマセヌノデ、ドウゾ其邊ハ篤ト尙ホ御熟考ヲ願ヒタウゴザイマス

○藤澤利喜太郎君 簡單デゴザイマスカラ此席カラ
○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○藤澤利喜太郎君 只今ノ御話デ公債等モ償還期間ノ五十年ノモアル云タト云フ御話ノ模様カラ考ヘマスト、矢張リ其通貨ノ價值ノ安定シテ居リマシタ時代ノコトニ御考ガ固^ツテ居ルヤウニ拜聽シテ居^ツタノデアリマス、先刻モチヨツト述ベマシタ如クニ公債ノ場合ニ於テモ成ルベク長期ハ避ケナケレバナラヌ、五十年ナント云フコトハ是ハドウシテモ避ケナケレバナラヌト云フ……發達シツ、アルト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ此事ハ現ニ茲ニ提出セラレタ案ニ付テハ既ニ具體的ノ形ヲ有^ツテ居ル、何等申添ヘルコトハアリマセヌ、將來ドウ云フ形カデ此案ガ出直シテ來ル時分ニハ、此點ニモウ一層ノ御考慮アラムコトヲ希望シテ此質問ヲ打切リマス

○議長(公爵德川家達君) 志水君ニ伺ヒマス、今志水君ガ再び質疑ヲ爲ナレタイト云フコトデゴザイマスガ、先刻議長ガ御注意致シマシタコトハ御忘レ

デハアルマイト思ヒマス

〔志水小一郎君「忘レハ致シマセヌ」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 一先ヅ登壇ヲ促シマシテ、其質疑ノ模様ニ依ツテ再び御差止メ申スカモ存ジマセヌカラ、豫メ申上ゲテ置キマス

○志水小一郎君 極メテ簡単デアリマスカラ、此席カラ發言ヲ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○志水小一郎君 私ノ御尋ネ致シマスコトハ極メテ簡単デアリマスガ、先刻議長カラ御叱リヲ戴キマシタヤウニ傍側ニ瓦ルヤウナコトハナイノデアリマス、極ク約メテ申シマスト、法律案其物ノ信用ニ關スル、ソレカラサウ云フ法律案ヲ制定提出スル其官府ノ權限ニ關スルコトデアリマスカラ、決シテ外ノコトデハナイト信ズルノデアリマス、其意味ヲ以テ御尋ヲ致シマス、農林大臣ニ御尋ネ致シマスガ、抑、自作農創設ト言ハムガ如キ問題ハ、取リモ直サズ農林大臣ノ御主管ト本員ハ信ジテ居ルノデ、ソコデ此問題ハ、本日議題ニナッテ居リマス 法案其物デアルカ、或ハ本日ノ法案ノ根本法ニナッテ居ルコトデアリマスカ、世間デ専ラ傳ヘマス所ニ依レバ、主務大臣ノ御手ニ成ラズシテ意外ニモ教育行政ノ主管者タル文相ノ手ニ成ッタト云フコトガ専ラ世間ニ聞エルノデアリマスカラ、是ハ唯道路ノ風説ニ止ルノデアリマセウカ、實際デアリマセウカ、實際デアルナラバ、斯ウ云フ疑問ガ起ルノデアリマス、成程ソレハ政府部内ノコトデアル、ドウナッテモ差支ナイ、内閣官制ニハ何モサウ云フコトハ明文ハナイ、斯ウ御説明ガアルカモ知レマセヌ、併ナガラ各省官制通則ノ上カラ讀ンデ見マスルト、凡ソ特定ノ事柄ニ付テ法律ヲ新タニ創定スル、又ハ既成ノ法律ヲ改廢スルト云フ場合ニハ、主務大臣ガ案ヲ具シテ内閣ニ提出スルト云フ明文ガアルノデアリマス、ソコデ今道路傳ヘマスル如キ、自作農ニ關スル重要ナル法律ガ、若シヤ文部當局者ノ手ニ成ッタト云フコトニナリマスレバ、内閣官制ノ上ニ於テハ非難ガナイト云フ御説明モ出來ルカモ知レマセヌガ、只今述べマシタ各省官制通則ノ、法律ヲ新タニ制定スル既成ノ法律ヲ改廢スル時分ニハ主務大臣ガ案ヲ具シテ内閣ニ提出スルト云フ明文ニハ、背カヌノデアリマセウカ、是ハ法案其物ノ信用ニ關シ、一一ハ法案ニ密接ノ官府ノ權限ニ關スルコトデアリマスカラ、此席カラ御許シ

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 御答イタシマス、此成案ヲ得マシテ之ヲ議會ニ提出イタシマスル迄ノ政府部内ニ於テノ種々相談ノ行程ニ付テハ、實ハ御尋ニ對シテ御答ラスル限りデハアリマセヌケレドモデス、色々新聞紙ニモ書キ立テタヤウデモゴザイマスルシ、又志水君ノ只今ノ御尋ネモアリマスノデ、是ハ御話申シテ置ク方ガ宜カラウト思ヒマスルガ、此法案ハ無論私ノ責任ヲ以テ私が立案ヲ致シタノデアリマスルガ、唯關係當局トノ間ニ一致セザル點ガアリマシタノデ、ソレヲ總理大臣ガ其一點ヲ定メル譯ニナッテ居リマシタガ、總理大臣ガ其際ニ自分ノ参考トシテデス、自分ノ参考トシテ閣僚ト云フ意味デハアリマスマイガ、文部大臣及ビ其他一二ノ閣僚ノ人ニ意見ヲ求メタコトガアルノデアリマス、ソレガ何カ今日提案イタシテ居ル此法案ガダ、ソレ等ノ、文部大臣初メソレ等ノ手ニ依ツテ成ッタカノ如ク新聞紙等ニ傳ヘラレテ居リマスケレドモ、決シテ左様ナ次第デハナイノデアリマス、只今申上ゲルダケノ程度ノモノデアッテ、是ハホンノ内々ノ實ハ御話ニ過ギナイノデ、此只今出テ居ル所ノ法案ハ、財務當局並ニ私ニ於テ合議立案ヲ致シテ提出ヲ致シタ次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○志水小一郎君 只今ノ農林大臣ノ御説明ヲ聞キマシテ、之ヲ又色々尋討シテ御答ヲ煩スナドト云フ考ハナイノデアリマス、是ハ政府部内ノコトデアルカラ外ニ露顯セシムベキコトデナイト仰シヤレバソレデ宜イノデアリマス、本員ノ意見ハソレデアル、併ナガラ農林大臣モ、此案ノ起草ヨリ成立ニ至ル迄ノ其經緯経路ニ付テノ新聞記事ハ確カニ御記憶デアラウト思ヒマスガ、甚ダヤカマシイコトヲ言ッタノデアル、是ハ本員ハ窮ニ第三者トシテ憂ヘテ居タル、コトハ御注意ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 志水君、志水君ニ伺ヒマスガ未ダ質疑デゴザイマスカ、只今ノ農林大臣ノ答辯ニ對シテ御意見ガマシイコトヲ御申述ベニナルコトハ御注意ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 其必要ハゴザイマセヌ

○志水小一郎君 ソレヨリ以上ハモウ御尋ネスルコトモゴザイマセヌ

○志村源太郎君 私ノ質疑ハ極メテ簡単デゴザイマスカラ、此席カラ御許シ

下サラムコトヲ願ヒマス……私ハ本案ニ付キマシテ農林大臣ノ御説明ヲ伺ヒ
ツ、疑問ガ出テ參ッタノデアリマス、依テ其點ヲ伺ヒタイト存ジマス、或ハ大
臣ガ委員會ニ御臨ミニナッテ御説明ノ上デソレヲ拜讀シテモ宜シイカト存ジ
マス、併シ此法案ノ根本問題ト存ジマスルカラ、當席デ御伺ヲ致シタイト存ズ
ルノデアリマス、自作農ト云フコトニ付キマシテハ、私ハ大臣ノ御演説ヲ善意
ヲ以テ極メテ傾聽ラシタノデアリマス、然ルニ本案ノ御説明ノ御意向ヲ段々
伺ツテ見ルト、年々三千万圓、三十五年十億五千万圓ノ金ヲ此自作農ノ創設ノ
爲ニ使フノデアル、斯ウ云フ御説明デアリマス、ソレヲ推シ擴メテ私ガ大臣
ノ御意向ヲ忖度シ、又本案提出ノ趣意等ヲ想像イタシマスルト、頗ル私共ノ
考ヘテ居ル所ト達フノデアリマス、仍テ能ク本案ノ趣意ヲ了解スルガ爲ニ伺
ヒタイト存ジマス、自作農ト云フモノノ必要ナルコトハ是ハモウ私モ大臣ト
意見ヲ同ジクスル者デアリマス、小作ヨリモ宜ク、地主ヨリモ宜ク、農事改
良ノ爲ニハ精勵スルモノデアル故ニ、此自作農ノ創設ト云フコトハ、私ハ日
本ノ農業ノ爲ニ満腹ノ希望ヲスルモノデアリマス、サリナガラ一定ノ額ヲ決
メテ、必ズ是ダケノ自作農ヲ設定スルト云フ方針ヲ、執ルカ執ラヌカト云フ
コトハ、是ハ別問題デアリマス、自作農ヲ希望スル者ガ土地ヲ得ラレヌガ爲
ニ、苦悶シテ居ル者ニ其土地ヲ得ルノ便宜ヲ與ヘルト云フコトハ、大イニ宣
カラウト思ヒマス、併ナガラ豫メ金額ヲ定メ、期限ヲ定メ、若クハ何十万町
歩ト云フ目的ヲ定メテ、之ヲ必ズ設定スルト云フコトハ別問題ト存ズルノデ
アリマス、大臣ノ御説明ハ後者ニアル、必ズ是ダケノ金ヲ使ツテ是ダケノ自作
農ヲ作ルノデアル、斯ウ云フコトニアルカトモ存ズルノデアリマス、ソレデ
アリマスルト私ハ少シ自分ノ懷抱シテ居リマスル意見ト違ヒマスルカラシ
テ、何故左様ナコトヲ今日ノ日本ノ農業デハ爲サラナケレバナラヌト御感ジ
ニナツカト云フ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、自作農ノ必要ナルコトデアリマ
ス、負擔ノ増加、生活ノ向上、申上ゲル迄モナク、種々ノ壓迫ヲ蒙ツテ自作農
同感デアリマスガ、併シ今日ノ農業界ニ於テ、自作農ガ其立場ヲ維持シ三十
年モ四十年モ自作農デ残ツテ居ルト云フコトハ、頗ル困難ナルコトデアリマ
ス、負擔ノ増加、生活ノ向上、申上ゲル迄モナク、種々ノ壓迫ヲ蒙ツテ自作農
ト云フモノハ、今日頻々トシテ小作階級ニ墮チテ行クノデアリマス、此場合
ニ於テ日本ノ農業ノ必要上カラ、成ルベク自作農者ヲ増加シテソレヲ維持シ
テ行キ、又之ヲ出來ルナラバ増加シテ行カウト云フノハ、何人モ異存ノナイ
コトダラウト存ズルノデアリマス、何トナレバ、是ガ農業ノ改良上裨益スル

所大ナルコトハ誰方モ認メルコトダト存ズルノデアリマスガ、政府ガ必ス是
ダケノモノヲ作ツテ行クト云フコトヲ決メルトナルト、私ノ虞レマスルコト
ハ、將來自作農タルノ地位ヲ維持スル熱心ノ考ヘノナイ者モ、其貸付利率ノ
安イコトト其償還年限ノ長イコト、若クハ政府ノ勸誘、其他四圍ノ事情ニ依ツ
テ、土地ヲ持チマシテ、而シテ五年カ十年ノ後ニ支ヘ切レズシテ、其自作農ハ
潰レテシマフト云フヤウナコトガ起リハシナイカト思フノデアリマス、仍テ
テ、サウシテ相當ノ便宜ヲ持ツ所謂精農、日本ニ於ケル所ノ最モ精密ナ農業
者、其農業者ヲシテ初メテ自作農タルノ資金ヲ得セシムル、サウシテ其地位
ヲ維持サセルト云フコトニ努メルガ、此自作農ヲ創設シ、永遠ニ増殖シテ行
ク所以ト考ヘルノデアリマスルガ、サウデナクシテ豫メ是ダケノ自作農ヲ作
ルノデアル、斯ウ云フ方針デ行キマスルト、或ハ虞ル、斯様ナ土地ニ於テハ
或ハ小作争議ノ起ツタ所ニ於テハ、地主ノ便宜ヲ圖ルガ爲ニ、自作農ヲ設定ス
ル、依テ是ダケノ土地ヲ小作者ニ買ハセル爲ニ、是ダケノ資金ヲ融通スル、
斯ウ云フヤウナコトニナリマスルト、真ニ自作農タルムトスル精神モナク、
又其準備モナイ人ガ此恩典ニ浴シテ、遂ニ自作農設定ノ目的ニ背反スル結
果ヲ來スコトヲ虞レルノデアリマス、ソレハ初メ申上ゲマス通リ周囲ノ壓迫
ノ爲ニ、段々現時ノ状態ガ自作農ヲ維持スル爲ニ、小經濟ノ爲ニ、其收入ガ
少イ爲ニ、維持スル上ニ於テ困難ヲ感ズル實情カラ私ハ左様ニ考ヘルノデア
リマスルガ、政府ノ只今ノ御説明デアルト、此方針ヲ決メテ是非トモ作ツテ行
ク、斯ウ云フ御考ノヤウニ私ハ伺ツタノデアリマスルガ、間違デアリマスルカ
ドウカ、又斯様ナル形勢ガ我國ニ於テ必要デアルカ、外國ニ於キマシテモ世
界大戰後或ハ大地主ノ土地ヲ有償、無償ニ買收シ、若クハ取上ゲテ之ヲ小農
ニ分割シタル制度ヲ採ツテ、所謂土地改革ヲ行ッタコトモアリマスルガ、是ハ
著手セヌ方ガ宜イト思フ、寧ロ真ニ自作農タルムトスル所ノ者ヲ擱ヘテ、ソ
場ニマダ立ツテ居ラヌト思フ、故ニ一定ノ方針ヲ決メテ是ダケノ自作農地ヲ作
ル、若クハ自作農ヲ作ルト云ツテモソレガ永續スル見込ガ立タヌ以上ハ、是ハ
世界大戰ノ混亂ノ跡ヲ維持スル善後策デアリマシテ、我國ノ如キハ左様ナ立
ス、負擔ノ増加、生活ノ向上、申上ゲル迄モナク、種々ノ壓迫ヲ蒙ツテ自作農
ト云フモノハ、今日頻々トシテ小作階級ニ墮チテ行クノデアリマス、此場合
ニ於テ日本ノ農業ノ必要上カラ、成ルベク自作農者ヲ増加シテソレヲ維持シ
テ行キ、又之ヲ出來ルナラバ増加シテ行カウト云フノハ、何人モ異存ノナイ
コトダラウト存ズルノデアリマス、何トナレバ、是ガ農業ノ改良上裨益スル
ヲ與ヘル方針ト、必ズ自作農ヲ設定スルト云フ歐羅巴ノ「バルカン」諸邦等ガ

採ツタ所ノ小農設定ノ方針ト、ドチラデアルカト云フコトニ付キマシテ、大臣ノ御説明カラ、疑ヲ生ジタノデアリマス、故ニ此點ヲ明瞭ニ伺ッテ置キタイト存ジマス。

〔國務大臣山本悌二郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(山本悌二郎君) 志村君ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、自作農創定ノ要求ガアルニ應ジテヤッテ行クノハ宜シイガ、豫メ主義トシテ是ダケノモノヲ必ズ自作農ニスルト云フコトハ、ソコニ非常ナ危険ガ存在シテ居リハセスカ、非常ナ無理ガソコニ存シテ居リハセヌカト云フ御尋デアッタヤウデゴザイマシタガ、私共ノ考ヘハ大體ニ於テ小作スル所ノ農業者ハ、其小作スル所ノ土地ヲ自ラ所有シテ行クト云フコトガ最モ理想デアルト考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、是ハ社會政策ノ上カラ見マシテモ、亦社會組織ノ上カラ見マシテモ、亦生產ヲ増殖スルト云フ點カラ見マシテモ、有ラユル方面カラ見マシテ人ノ土地ヲ耕シテ居ルヨリハ、自分ノ土地ヲ自分デ耕シテ居ルト云フコトガ、如何ニ宜シイカト云フコトハ、是ハ多言ヲ要セナイ所デアラウト思フ、ソレ故ニデス、出來得ル限リ今ノ小作農ニシテ、自作農タラシメル政策ヲ執リタイト思フ、ソコデデス、ソレハ理想トシテ其政策ニ向ッテ進ンデ行クニ致シマシテモ、ソレダケ小作農ニシテ自作農ニナリタイ者ガ無イ、無イ場合ニ無理ニソレシヤウトスレバ即チ茲ニ無理ガ生ズル、其點ニ於テハ志村君ノ意見ト一致シテ居ル、所ガ現在ノ狀況ヲ見マスルト、ナカク以テ左様ナ需要ガ無イナドト云フヤウナ狀態デハナイノデアリマシテ、此僅カ一年ニ八百万カ、千二百万圓位ノ、少シヅツ簡易生命保険積立金ヲ此方ニ用キテ居ル現在ニ於テ、到底多額ノモノヲ申込ンデモ、多クノモノヲ申込ンデモ、無駄デアッテ借入レルコトガ出來ヌト云フ狀態ノ下ニアッテスラモデス、非常ナ申込ガ殺到イタシテ居ルト云フ狀態デ、府縣ニ向ッテ其地方々々カラ申出テ居ルモノヲ概算イタシマシタナラバ、三億カラシテ四億ノ間ニアルダラウト思フノデシテ、而シテ其中カラシテ選擇淘汰ヲシテ府縣ガ簡易生命保険ニ向ッテ要求スル所ノ金額ガ、藤澤君ナドハ能ク御承知デアリマセウケレドモ、一億五千万圓ニモ上ボッテ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ僅ニ簡易生命保険ノ方カラハ千万圓カ千二百万圓シカ融通ガ出來ヌト云フヤウナ、殆ド一割ニモ其要求ニ應ズルコトガ出來ヌト云フヤウナ狀態ニアル、是ハ現在僅カ千万圓内外ノ融通資金シカナイト云フ、幾ラ申込ンデモ駄目ダト云フ其觀念ノ下ニ於

致シマシタナラバ、續々ト此要求ト云フモノハ簇出シテ參ルト私共ハ信ジテ居ルノデシテ、從テ私共ノ最初ノ考ヲ申シマスルト、實ハ三割位迄即チ全國需要ガアリ相當此計畫ニ附イテ參ルコトガ出來ルト斯様ニ信ズルノデアリマスルガ、此法案ニ於キマシテハ、更ニ規模ガ小サクナリマシテ、三千万圓ニナッテ居リマスルガ、是デハ全體ノ僅ニ一割三分位ノモノニシカナリマセヌノデスガ、全體ノ小作地ノ一割三分位何厘位ニシカナリマセヌノデスガ、此位ノ程度ノ需要、マア需要ト假リニ申シマセウカ、即チ小作人ガ自作人ニナリタイト云フモノノ割合ハ……此位ノ割合ハ無論十分ニアルト思ヒマス、私共ノ信ズル所ニ依リマスレバ、此位デハ到底足リナイト云フ、即チ申込ニ對シテ足リナイト云フ時期ガ必ズ來ルデアラウ、其時ニハ此法律ノ改正ヲ致シテ、之ヲ増額イタサナケレバナラナイヤウナ時期ガ必ズ到來スルト私共ハ信ジテ居ル、ソレ故ニ無理ニ需要ノナイ所、申込ノナイ所、サウ云フ所ニ持ツテ行ツテ無理ニ嵌メ込ンデ行カウト云フコトヲスル積リデハナイノデアリマス、其點ハサウ云フコトヲ致シマスレバソコニ無理ガ生ズルト云フコトハ、ソレハ志村君ト全ク御同感ナンデス、併ナガラ其無理ヲセズ當然起ル需要ニ對シテモ此位ノモノデハマダ足リナイ位ニ當局トシテハ考ヘテ居ル次第デゴザイマスカラ、左様御承知ヲ……

○志村源太郎君 モウ少々只今ノ御答辯ニ付キマシテ御伺ヒ致シタイ、此場合ハ議論ノ場合デゴザイマセヌカラ、御趣意ヲ伺フコトニ致シマスルガ、然ラバ請求者ノ中デ三十五年ナリ、四十年ニ瓦ツテ自作農タル地位ヲ維持シ得ルモノヲ概算イタシマシタナラバ、又第二ニハ自作農資金ヲ貸渡シタ後ニ其人ガ自作農デナクナルト云フコトニ付キマシテハドウ云フ豫防ノ方法ヲ御執リニナツテ御實行ニナル御考デアリマスカ、其點ダケヲ伺ヒタイト存ジマス

○國務大臣(山本悌二郎君) 年賦金ガ拂ヘナイ場合ニハドウスルカ、斯ウ云フノガ第二ノ御尋デゴザイマシタガ、第一點ハ何デゴザイマシタカ

○志村源太郎君 第一點ハ御話ノ通り、斯カル需要者ガアル、請求者ガアル、其内デ自作農ニ最モ適シタル人間デアル者ヲ選バナケレバナラヌ、ソレニハ

ドウ云フ御選擇ノ方法ガアリマスカ、又第二ハソレガ自作農デナクナル場合ニハドウ御防ギニナルノカ、斯ウ云フノデアリマス

○國務大臣(山本悌二郎君) 年賦金ヲ満足ニ拂ッテ行クダケノ資格ガ有ルカ無イカト云フコトヲドウシテ審査ヲスルカト云フコトデアリマスガ、是ハ矢

張リ從來ト同ジコト、只今マデノ簡易保險ノ資金ヲ融通スル場合ト同ジコトノ立前ニナルノデゴザイマシテ、即チ地方ニソレノ委員會ト云フモノガ

アリマシテ、此委員會ニ於テ當人ノ資格カラ、土地ノ生產力カラ、ソレハノ調ベマシテ、是ナラバ是ダケノ年賦金ハ確ニ償還ノ出來ルト云フ見當ヲ付ケ

タ者ニ限ツテ融通ヲスルト云フコトニナルノデゴザイマシテ、ソレハ只今マデノ即チ現行ノ簡易生命保險ノヤリ方ト少シモ違ハナイノデゴザイマシテ、

サウシテ其實績ハドウカト申シマスルト、簡易生命ノ資金ヲ融通シテ以來未

ダ曾テ年賦金ノ滯納ト云フモノハナイノデアリマスルカラ、恐ラクハ此方法

デ行キマシタナラバ、將來ト雖モ大體ニ於テハ年賦金ノ滯納ト云フガ如キコトハナイダラウト思フ、併ナガラ第二ノ即チ御尋ハ是カラ起ルノデゴザイマ

スガ、併シ、萬一支拂ガ出來ナイト云フ者ガ生ジタ場合ニハ、ソレハドウスルカ、ソレハ目今ノ所デハマア差詰メ澤山ノ申込ガ確ニ殺到イタスノデアリ

マシテ、到底年ニ三千万圓位デハ賄ヒ切レナイノデアリマスカラシテ、年賦ヲ拂フコトガ出來ナイ者ガ出來マスレバ、之ヲ直チニデス……一旦ソレヲ引

上ゲル形ニハ法律上ナリマセウケレドモ、直グ右左ト新タナ要求者ニ對シテ

之ヲ移スコトガ出來ルヤウニ組立テ、アルノデゴザイマシテ、ソレ故ニ左様

ナ場合ニ於テ是ガ手持チニナルト云フヤウナコトハ差詰メノ所デハナイ積リ

デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ肥料管理法案外二件ノ特別委員ニ付託イタ

シマス、午後一時三十分マデ休憩イタシマス

午後零時十三分休憩

午後一時五十九分開議

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス
〔瀬古書記官朗讀〕

本日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ
特許法中改正法律案外三件特別委員會

委員長 子爵 東園基光君

副委員長

内田重成君

酒造組合法中改正法律案特別委員會

委員長

内田嘉吉君

無線電信法中改正法律案特別委員會

委員長

北河原公平君

鐵道營業法中改正法律案特別委員會

委員長

子爵 前田利定君

大禮記念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案特別委員會

委員長

男爵 沖貞男君

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

〔大禮記念帝室博物館復興翼賛會事業費ノ補助ニ關スル法律案可決報告書
造幣局特別會計法中改正法律案

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、日程第一、造

幣局特別會計法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

造幣局特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和四年三月十九日
貴族院議長公爵德川家達殿 衆議院議長川原茂輔

貴族院議長公爵德川家達殿

造幣局特別會計法中改正法律案

第二條ニ左ノ一項ヲ加フ

貨幣製造ノ準備トシテ必要ナル材料地金ハ資金ヲ以テ之ヲ保有スルコト

第二條ノ二 製造濟ノ補助貨ニシテ年度内ニ發行ニ至ラナルモノハ資金ニ受入レ之ヲ保有スルコトヲ得

第六條 作業上益金ヲ生シタルトキハ之ヲ資金ニ編入シ損失ヲ生シタルトキハ之ヲ資金ヨリ補填スヘシ

附 則

本法ハ昭和五年度ヨリ之ヲ施行ス

明治四十五年法律第一號ニ依リ清國事件費支辨ノ爲繰替使用シタル造幣局資金二百二十八萬七百九十七圓五十七錢五厘及大正五年法律第四號ニ依リ大正三年臨時事件費支辨ノ爲繰替使用シタル造幣局資金三百五十萬圓ニ付テハ之ニ相當スル金額ヲ造幣局資金ヨリ減額シテ整理スルコトヲ得

〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(大口喜六君) 造幣局特別會計法中改正法律案ニ付キマシテ、其大要ヲ御説明申上ゲタイト存ジマス、貨幣製造ノ材料タル地金ハ常ニ相當餘裕額ヲ保有イタシマシテ、臨時緊急ノ要ニ備ヘテ置クノ要アリマスコトハ申スマデモナイト存ジマスルガ、其材料タル地金ハ、造幣局資金ヲ以テ保有イタシマスルコトガ、最モ妥當ノ方法デアリマスルカラ、其途ヲ開クノ必要ガアルト存ズルノデアリマス、次ニ補助貨ノ需要ハ財界ノ狀勢ニ伴ヒマシテ消長ヲ免カレスノデアリマスカラ、不況時ニ於キマシテモ相當豫備額ヲ製造イタシマシテ、將來ノ需要ノ激増ニ備フルコトガ造幣作業ノ圓滑ヲ期シマス上ニ於テ最モ適當ノ措置デアルト考ヘマス、然ルニ從來ノ如ク製造濟補助貨ヲ直チニ發行シマス時ハ、未ダ需要ナキモノニ付キマシテハ、通貨タル作用ヲ發揮セザルニ拘ラズ、政府預金ト造幣局資金トヲ膨脹セシムルノ弊ヲ生ズルノデアリマス、仍テ製造濟補助貨ニシテ未ダ需要ヲ生ゼザルモノハ未發行ノ儘、資金ヲ以テ保有スルコトヲ得ルノ途ヲ開クノヲ適當ト考ヘタノデアリマス、又造幣局資金ノ中、明治四十五年法律第一號ヲ以テ清國事件費支辨ノ爲繰替使用イタシマシタルモノ、二百二十八萬餘圓、及ビ大正五年法律第四號ヲ以テ、大正三年臨時事件費支辨ノ爲繰替使用ヲ致シマシタモノ三百五十萬圓ニ付キマシテハ、從來國庫ニ對シマスル造幣局資金ノ債權トシテ取扱ツテ參タノデアリマスガ、資金ニ餘裕ガアリマスル、今日ニ於キマシテハ、之ヲ資金ノ減額ト致シマシテ、整理ヲ致シマスコトガ適當デアルト考ヘルノデアリマス、

右ノ趣旨ヲ達シマスル爲ニ、本改正法律案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御協賛アラムコトヲ希望イタシマス
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本法律案ハ昭和二年法律第十五號中改正法律案ノ特別委員ニ付託イタシマス
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第三、日本興業銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
日本興業銀行法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和四年三月十九日
貴族院議長公爵德川家達殿
衆議院議長川原茂輔
日本興業銀行法中改正法律案
日本興業銀行法中左ノ通改正ス
第九條ノ二但書中「拂込資本金額ノ二分ノ一」ヲ「拂込資本金額ノ三分ノ二」ニ改ム
〔政府委員大口喜六君演壇ニ登ル〕
○政府委員(大口喜六君) 日本興業銀行法ハ御承知ノ如ク明治四十四年ノ改正ニ依リマシテ日本興業銀行法中ニ第九條ノ二ノ規定ヲ設ケマシテ、工場ニ屬シマスル敷地又ハ建物ヲ擔保ト致シマスル貸付等ヲ認メタノデアリマスルガ、其貸付金總額高ハ拂込資本金額ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ザルモノト致シテアルノデアリマス、然ルニ其後同行業務ノ發展ニ連レマシテ、本條項ニ依リマスル貸出ガ漸次增加イタシマシテ、殊ニ大正十二年ノ大震火災以降日本興業銀行ガ中小工業者ニ貸出ヲ致シマスルコトニ力ヲ用ヒルコトニナリマシタコトガ顯著デアリマスル結果、最近ニ於キマシテ將ニ其法定限度ニ達セムトスルノ狀況ヲ示シテ居ルノデアリマス、而モ其需要ハ益多キヲ加へマスル實狀ニアルノデアリマス故ニ、此法定限度ヲ擴張イタシマスル必要ヲ認メマシタノデ、本案ヲ提出イタシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

シテモ差支ヘナイト思ヒマスルガ、若シソレガ差支ヘデモアリマシタナラバ、他日總理大臣カラノ御答辯ガ願ヒタイノデアリマス、昨年ノ春支那濟南事件ニ於キマシテ我ガ同胞ノ被害事件ガ起リマスルヤ、第三師團ニ對シマシテ戰時的ノ動員ヲ下サレマシテ、大兵ヲ支那山東ニ派遣セラレルコトニナリマシテ、ソレガ爲ニ支那國ニ於キマシテハ排日排貨ノ氣分ガ高マリマシテ、支那トノ貿易ハ益々不振ニ陥リマシテ、此爲ニ不景氣ノ上ニモ一層ノ不景氣ヲ増加シタカノ感ガアルノデアリマス、恰モ此三師團へ動員令ノ下リマシタ當時ハ、此三師團管下ノ各府縣ニ於キマシテハ農村ノ養蠶ノ時季デアリマシテ、又御承知ノ水田ノ植付時季デアリマシタ爲ニ、農民ノ最モ多忙ナル一年ノ生活ヲ期スル所ノ大切ナ時期デアッタノデアリマス、此爲ニ豫後備兵ガ召集セラレマシテ、農家ニ於キマシテハ誠ニ苦痛困難ヲ感ジタノデアリマス、丁度其時ハ大戰爭ガ起ツテ戰フ時ナレバ、在郷軍人タル者ハ既ニ其出動ヲ豫期イタシマシテ、又其準備モ又出動後ノ家政ニ付キマシテモ準備ヲ爲シテ、動員ノ下ルヲ豫期シテ待ツテ居ツタノデアリマセウケレドモ、昨年ノ濟南事件ノ場合ニ於キマシテハ是ト異リマシテ、斯ノ如キ移住民ノ守備ノ爲ニ軍隊ガ派出セラレルニ付キマシテハ、マサカ戰時的ノ動員ガ行ハレテ豫後備兵マデモ召集セラレルト云フコトハ寢耳ニ水デアリマス、何等國民ニ於テハ想像シナカッタト存ジマスルガ、是ガ故ニ關係地方ノ農民ハ非常ニ苦痛ヲ感ジタノデアリマスガ、勿論帝國ノ軍人タル以上ハ國家ニ大事件ガアリマスレバ、一死以テ國ニ報ズル所ノ覺悟ヲ以テ、直チニ動員令ノ召集ニ應ズルト云フコトハ當然デアリマシテ、之ニ違背スルヤウナ者ハ一人モナイト存ズルノデアリマス、ソレガ故ニ昨年ノ五月九日第三師團ニ動員ノ下リマシタ節ハ、其管下ニ於ケル愛知縣ヲ初メトシテ、岐阜縣靜岡縣三重縣ニ於テハ、丁度昔日清日露ノ大戰爭ガ再現シタカノ感ガアッタノデアリマス、或停車場ニハ入營者ヲ見送ル所ノ村民モアリマスシ、又兵營ニ行キマスト、面會ニ來ル所ノ父兄ガ澤山アッタノデアリマス、又婦女子ハ彈丸除ケノ御守リ作ッテ出征軍人ニ贈ルトカ云フヤウニ、非常ナ騒ギヲシタノデアリマシタ、斯様ニシテ召集セラレル所ノ豫後備兵ハ、新聞紙ノ傳フル所ニ依ルト、其中約七八千人ト云フモノハ、動員召集後、唯營

所ニ僅カ二週間バカリ居リマシタダケデ不用ニ歸シマシテ、歸郷ヲ命ゼラレタト云フコトデアリマシタ、果シテ然リトスレバ、是ハ實ニ意外ノ事デアッタノデアリマス、ソレガ爲ニ、召集ニ應ジテ歸ツタ所ノ在郷軍人ニ於テハ兵營ニボシハセヌカト云フコトヲ私ハ考フルノデアリマスルガ、此點ニ付テ陸軍大臣ハ如何様ニ御考ヘニナルノデアリマスルカ、又斯ノ如キ新聞紙ノ傳フルコトガ事實デアリマシタトスレバ、多數ノ豫後備兵ヲ召集シテ、僅カ一週間カ二週間ノ後ニ歸サレルト云フコトハ、何故ニ斯様ナ澤山ノ豫後備兵ヲ、必要ノナイノニ召集セラレタノデアリマスルカト云フコトヲ、我ミノ疑點ガ了解セラレル程度ニ御答ガ願ヒタイノデアリマス、又農村ノ多忙ナル時ニ於テ、勞働盛リノ青年ヲ七八千人ヲ召集シテ、又是ガ不用ニ歸シタ爲ニ歸サレルト云フコトハ、軍令ノ神聖ヲ疑ハシメハセヌカト云フコトヲ心痛ニ堪ヘナイノデアリマス、又一面ニハ產業生産力ニ多大ナル支障ヲ生ゼシメ、且ツ國家ノ多額ノ費用モ費シタコトニ對シテ、當局大臣ハ如何様ニ御考ヘニナルノデアリマスルカ、之ヲ御伺ヒシタインデアリマス、而シテ昨年五月下旬ニ支那ニ派遣セラレマシタル所ノ第三師團ハ、約十數日ニ亘リマシテ軍用列車ニ依ツテ出動シタノデアリマシタ、斯様ニシテ支那山東ノ青島ニ上陸スルヤ、約一箇月餘、滄口其他ニ駐在シテ、早ヤ全兵員ガ山東ニ駐在スル必要ヲ認メザルニ至リマシテ、七月下旬ニハ豫後備兵ノ一部分ト云フモノハ内地ニ歸還スルコトトナッタノデアリマス、斯ノ如ク……簡單デアリマスガ以上述ベタコトヨリ考ヘマスルト、此動亂ノ場合即チ支那山東事件ニ對シテ我ガ居留民保護ノ目的ノ爲シカツタデハナカッタカト云フコトニ考ヘラレルノデアリマス、何故農村生産ノ支障マデ顧ミズシテ、戰時動員ノ奏請ヲナサレマシテ、大軍ヲ支那ニ派遣シ内地ニ於テハ農產若クハ生産ノ支障ヲ來シ、外ハ、第三國ヨリハ、帝國ガ支那ニ何等カノ野心ガアルガ如キ疑念ヲ生ゼシメテ、又支那國ヨリハ排日思想ヲ益々高カラシメテ、濟南事件突發以後、早ヤ一年ニ垂ントスル今日ニ至ツテモ、支那外交談判ハ未ダ解決ヲ告ゲザルヤウナ現狀デアルノデアリマス、

之ニ對シテ外務大臣ハ、此動員出兵ガ外交上ニ何等カノ支障ヲ來サナカッタカト云フコトニ御考ヘニハナラナイノデアリマスカ、之ニ對シテ外務大臣ノ御所見ヲ御伺ヒシタインデアリマス、動員令ヲ行ハズシテ、各師團カラ現役兵ノミヲ守備兵トシテ派遣セラレタナレバ、第三國ノ疑モ受ケルコトナク、又内地ノ產業ニモ何等支障ヲ來スト云フコトモナカッタ存ズルノデアリマス、何ガ故ニ斯カル戰時的動員ヲ奏請セラレテ出兵ヲ行ハレタノデアリマスカ、軍機上ニ御差支ノナイ限り、我ミノ了解ガ出來ル程度ニ陸軍大臣ノ詳細ナル御説明御答辯ガ願ヒタイノデアリマス、尙ホ最後ニ御伺ヒシタインハ、此處ニ總理大臣ハ御出席ニナツテハ居リマセヌケレドモ、首相ニ御伺ヒシタイ點、デアリマス、第三師團動員出兵ノ必要ヲ生ジタル時ハ、昨年五月、丁度臨時議會ガ召集中デアッタト私ハ考ヘマス、即チ議會ハ五月七日ニ閉會式ガアッテ、一日ヲ經テ、五月九日ニ動員令ハ第三師團ニ下ッタト存ジマス、此出兵費用ノ支出ヲ何故ニ昨年ノ臨時議會ニ協賛ヲ求メラレナシダノデアリマスルカ、若シ是ガ議會中ニ其手續ガ運ベズシテ僅カ一日ノ後ニ奏請セラレマシタト申サルルカ知リマセヌケレドモ、出兵ノ必要ヲ生ジマシタノハドウシテモ臨時議會ノ召集中デアッタト私ハ考ヘルノデアリマス、サウシテ見タレバ、何故ニ臨時議會中ニ奏請ノ手續ガ出來ナシダトスレバ、此議會ヲアノヤウナ大切ナ問題ニ對シテハ一兩日ノ延期ヲ奏請シマシテ此出兵費ノ協賛ノ手順ヲ取ラレナンダノデアリマスルカ、此點ヲ田中首相ニ御尋ネシタインデアリマス、以上ノ質問ニ付キマシテ各大臣ヨリ私竝ニ國民ガ了解ノ出來得ルヤウナ明確ナル御答辯アラムコトヲ切ニ御願イタス次第デアリマス

〔國務大臣白川義則君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(白川義則君)只今長尾君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、昨年五月ニ第三師團ニ動員令ガ下ッタ時ハ恰モ農繁期デアッテ、動員令ガ下ッタ爲ニ地方ノ農民ハ大層迷惑ヲシタ、ソレカラ又動員令ヲ下シテ置キナガラ間モナク數千ノ兵ヲ直グニ返サシタ、斯ノ如キハ帝國軍ノ士氣ニ惡影響ヲ及ボシハセヌカ、斯様ナ御尋デゴザイマシタ、此第三師團ニ動員令ヲ下サレルコトニナリマシタノハ山東方面ノ狀況ガデス、ドウシテモ戰時ノ一箇師團ノ兵力ヲ派遣スル必要ガアル、斯ウ云フ判断ヲシタノニ基クノデゴザイマス、ソレバ戰時ノ一箇師團ニ相當スル平時編成ノ師團ヲ必要ナダケヤッタラバ宜イデハナイカト云フ只今ノ御説デゴザイマシタガ、戰時ノ一箇師團ニ匹敵ス

ルダケノ平時ノ師團ヲ出シマスト少クモ三箇師團カ四箇師團ハ出サナケレバナリマセヌ、ソレ程ノ廣い地域ノ師團ヲ出シマスト寧ロ内地ハ大變ナ騒ギニナリマス、加之平時ノ師團ト云フモノハ全ク後方ノ機關ヲ持ツテ居リマセヌ、糧食ノ補給ニシマシテモ、若シ戰鬪ノ起シタ場合ノ彈藥ノ補給ニシマシテモ、怪我人病人ガ出來タ時ノ傷病者ノ救護ニシマシテモ、ソレ等ノ一切ノ機關ヲ持ツテ居リマセヌカラ、戰時ノ一箇師團ヲ出ス必要アリト、斯ウ判断ヲシマシタ以上ハ、寧ロ動員ヲスルノガ至當デゴザイマス、アノ時ノ狀況デ若シ第六師團ガ五月ノ八日カラ活動ヲ始メマシテ、其狀況如何ニ依ツテハ、第六師團ハ固ヨリ濟南附近ノ一帶ノ我ガ居留民ガ如何ナル結果ヲ齎スカ知レヌ、是ガ政府ニ於テ最モ心配ヲシタ所デゴザイマス、尙ホアノ時ノ狀況ニ於キマシテハ山東鐵道ガ屢々破壞ヲサレテ居リマス、サウシテ見マスルト濟南方面ニ居ル軍隊及居留民ノ爲ノ食糧ト云フモノガ甚ダ氣遣ハレル、從テ増援ニ出ス所ノ師團ニハ後方機關食糧ヲ携行シ、ソレヲ補充スルモノガ必要デアル、サウ云フヤウナ關係デドウシテモ動員ノ一箇師團ヲ出スコトガ必要デアルト斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、動員ト申シマスルノハ平時ノ狀態ガ戰時ノ狀態ニナルノデゴザイマスガ、是ハ宣戰布告ニ依ツテ外國ト戰ヲスル時モアリマス、又西伯利亞出兵ノ時ニモ第十二師團ハ動員ヲシテ出マシタ、第三師團モ動員ヲシテ出マシタ、是ハ宣戰布告デハゴザイマセヌガ、戰時ノ師團ヲ出ス必要アリトスウ認メタ結果デゴザイマス、ソコデ動員ヲ行ヒマスノニハ動員計畫ト云フノガ四月一日カラ翌年ノ三月ノ盡日マデヲ以テ年度ニシテゴザイマスルガ、其年度ノ一番終リノ翌年ノ三月三十日ニ於テ、動員ヲシテモ所要ノ人員ガ取レルヤウニ召集スルノデゴザイマス、ソコデ第三師團ノ場合ハ昭和三年度ノ五月ノ初メデゴザイマシタカラ、即チ年度初メ、年度初メデアッタガ爲ニ召集ヲシタ人員ガ澤山參ツタノデゴザイマス、一方ニハ第三師團地方ノ在郷軍人ノ士氣ガ非常ニ振ツテ自分カラ進シテ召集ニ應ジル、斯ウ云フ關係モアリマシタ、ガ多クナル理由ハ年度初メデアッタト云フコトガ召集人員ガ餘計ニ來タト云フコトニナルノデゴザイマス、其召集ノ過剩員ヲ動員後間モナク、三千何百名カヲ返シタノデゴザイマス、是デ大體動員ノ必要デアルト云フコトト過剩員ヲ返シタト云フコトハ御了解下サツタラウト存ジマス、尙ホ現役兵ノミヲ以テ出スコトニ付キマシテハ、先刻モ申上ゲタヤウニ、少クモ四箇師團位ハ出サナケレバ戰時ノ一師團ノ力ニハ足ラナイ、サウシテ後方

機關ヲ全ク持ッテ居ラナイ、ソレハスウ云フ場合ニハ適當シナイノデゴザイマス、ソレカラ總理大臣ヘノ御尋デゴザイマシタガ、私カラ御答ヲシテ御分リニナルト存ジマスカラ申上ゲマス、アノ動員令ハ五月九日デアル、五月七日ニハ特別議會ガ閉院式ニナツタ、サスレバ議會ノ開ケテ居ル間ニ其經費ヲ要求シテ、協贊ヲ求メタガ宜イデハナイカ、御尤ナ御尋デゴザイマスルガ、實際ノ事情ガ濟南ニ於キマシテ、最初ニ五月三日突發的ニ戰鬪ガ起リマシテ、其結果ガドウナルカト思フテ、中央部デモ心配ヲ致シタノデゴザイマス、漸ク五月四日ニ濟南ノ商埠地ニ居ル支那軍隊ガ商埠地ノ外ニ出テシマツタ、ソレニ付キマシテハ日本軍ノ軍隊指揮官、支那側軍隊指揮官モ努力ヲシタ、ソコデ五月五日ニハ先ヅ大體落著イタヤウデアル、斯ウ私共モ思フテ居リマシタ、

中一日……六日……置キマシテ、七日ノ夕方ニナリマシテ、丁度閉院式ノアッ

タ當日ノ夕方デゴザイマス、第六師團長カラ電報ガ參リマシテ、自衛上ノ必

要カラ蔣介石ニ宛テ十二時間ノ時間ヲ期シテ、斯様ナ通牒ヲ出シタト云フ、

七日ノ夜ニナツテ電報ガ參ッタ、是ニハ實際中央部モ驚イタノデアリマス、電報ハ簡ニシテ能ク細カイ事迄ハ分リマセヌガ、自衛ノ必要上出スト云ヘバ是ハモウ退引キナラズ、斯ウ云フ通牒ヲ出シタモノデアラウ、斯ウ判斷ヲ致シマシタガ、サウ云フコトヲ問合セル違ガナ、翌朝カラ活動ヲ始メル、斯様ナ次第デ陸軍ノ首腦部ハ七日ノ晚ニ會議ヲ開キマシテ、八日ノ閣議ニドウシテモ戰時ノ一箇師團ヲ出ス必要アリト云フコトヲ閣議ニ私カラ提出ヲシテ、閣議決定ヲ見タノデアリマス、之ニ付キマシテハ……サウシテ其閣議決定ノ翌日ニ九日ニ第三師團ニ動員令ガ下ツタノデゴザイマス、之ニ付テハ衆議院ニ於キマシテモ如何ニモ其閉院式ノ當日ニサウ云フ情報ガ來タト云フコトハ前カラ分ツテ居ツタノデヤナイカ、ソレヲ議會ニ出スコトヲ避ケル爲ニ、サウ云フ風ニスルノデハナイカト云フ御疑ヲ以テ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ全ク事實ガ其通リデゴザイマス、七日ノ夜ハ中央部デハ非常ナ緊張ヲ以テ會議ヲ開キ、色々ナ計畫ヲ急イデシタノデゴザイマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 小川國務大臣

〔長尾元太郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 只今小川國務大臣ニ發言ヲ許シマシタ

〔國務大臣小川平吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(小川平吉君) 只今總理大臣不在デアレバ他ノ國務大臣ヨリ答辯

出兵ニ付キマシテハ、當時既ニ中外ニ向ッテ宣言ヲ致シマシテ、出兵ノ目的ハ極メテ明カニナツテ居リマスルノデ、之ガ爲ニ諸外國ノ疑惑ヲ招イタト云フヤウナコト、又日本ノ野心ヲ疑ハル、ヤウナコトハ少シモ無カッタ考ヘテ居リマス、又此出兵ノ爲ニ排日ガ起ツタノデハナイカト云フ御尋デゴザイマス、是モ出兵ノ爲ニ排日ガ起ツタトハ考ヘテ居リマセヌ、排日問題ノ口實ニ之ヲ利用スルト云フコトハ有ルノデアリマス、御承知ノ通リ支那人ノ排日ハ時々種々ナ都合上ヨリシテ排日ヲ行ヒマスル、之ガ爲ニ種々口實ヲ作リマスルガ、山東出兵ノ爲ニ直接ニ排日ガ起ツタトハ考ヘテ居リマセヌノデゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 長尾君ハ再ビ質疑ヲナサル御希望デスカ

○長尾元太郎君

○議長(公爵德川家達君) 簡單デゴザイマスカラ……

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○長尾元太郎君 只今私ノ質問ニ對シテ、陸軍大臣ノ御答辯ハ稍々了解ハ致シマシタケレドモ、尙ホ十分ニ了解シ兼ネル點モアリマスケレドモ、會期切迫ノ際デアリマスルカラ、此際詳細ノ質問應答ヲスルコトハ、私ハ避ケル積リデアリマスガ、只今首相ニ代ツテ小川國務大臣ガ御答辯ニナリマシタコトニ付テ、此山東出兵ガ文那ノ排日思想ニ何等支障シナカッタヤウニ御答ヘニナリマシタケレドモ、是ハ私ハ了解ニ苦シムノデアリマス、他ノ原因デ排日思想モ高マツテ居ツタノデアリマスルケレドモ、此外交、濟南事件ニ對シテ外交ノ談判ガ長ビキマスルノモ、此出兵ガ、大部分ニシテモ一部分ニシテモ、差支ヲナシテ居ツタト云フコトハ、世人ガ認メテ居ル事カト私ハ存ジマスルノデアリマスルガ、此點ハ甚ダ私ノ見解ト意見ヲ異ニシテ居ラレルノデアリマス、併ナガラ、今日ハ田中首相ノ御出席ガナイノデアリマスカラ、私ノ質問ハ是デ止メシテ、打切リマスルコトニ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

昭和二年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムルノ件)外九件特別委員

侯爵久我 常通君 伯爵松平 賴壽君 子爵毛利 高範君
子爵八條 隆正君 和田彦次郎君 山川端夫君

男爵矢吹省三君 關直彦君 平田吉胤君

○議長(公爵徳川家達君) 都合ニ依リマシテ、暫時休憩ヲ致シマス
午後二時四十七分休憩

午後三時二十八分開議

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十五、第一讀會ノ續、委員長報告
大正十四年法律第二十九號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和四年三月十二日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長
子爵片桐貞央

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第十四、第一讀會ノ
續……
○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌ
カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存アリマセヌカ

ルヤウニナツタト申スコトデ、即チ國內需要ノ數量ニ於テハ四十五「パー센ト」、金額ニ於テハ五十六「パーセント」ハ自給ガ出來ルヤウニナツタノデアリマス、然ルニ人造藍ハ總テノ染料ノ中デ最モ困難ナ工業デアリマシテ、今日マデ實驗室內ノ研究ハ行ハレテ居リマシタケレドモ、マダ工業的ニ實施スル域ニハ到達イタシテ居ラナイノデアリマス、而モ人造藍ハ御承知ノ通リ木綿ノ紺色染ニ使用スルモノデ、我國ニ於キマシテハ染料中ノ第一位ヲ占メテ居リマス所ノ廣ク且ツ多量ナルモノデアッテ、年額一千三百噸餘ノ額ニ達シマシテ、金額デハニ三百万圓ノ額ニ及ブノデアリマス、斯ク重要ナル染料デアルニモ拘リマゼズ、今日マデ其生産ヲ見ルニ至ラナカツタト云フコトハ、技術上ノ困難ナルノハ勿論デアリマスガ、先づ日本ノ今日ノ需要額ノ約一千噸ヲ製造シャウト致シマス設備ニ要シマス所ノ資金トシテハ、七八百万圓ノ巨額ナモノヲ持タナケレバナラナイノデ、是等ノ爲ニ容易ニ此實現ヲ見ルコトガ出來ナカツタノデゴザイマス、然ルニ近年三井礦山株式會社ノ三池染料部デ段々研究ヲ重ねマシテ、略此實驗室內ニアリマスル研究ヲ終リマシテ、政府ハ此機會ニ於キマシテ、從來ノ染料工業ノ保護政策ヲ延長イタシマシテ、人道藍工業ノ獨立ヲ圖ル爲ニ、此法律ヲ改正シテ、昭和六年迄トアル其補助期間ヲ更ニ昭和九年迄延長イタシマシテ、人造藍ニ對シテハ昭和四年度カラ五箇年ニ亘ツテ三百四十萬圓ノ補助金ヲ與ヘル爲ニ現在「四百万圓以内」トアルノヲ「七百四十萬圓以内」ト改メ、一箇年ノ支給額ガ「百万圓以内」トアルノヲ「百六十萬圓以内」トスルコトニ改メヤウト云フノデゴザリマス、而シテ此補助ニ依リマシテ大量生產ヲ爲サシメ、製品原價ノ低下ヲ圖リ、サウシテ海外品ニ對抗セシメヤウトスルノデアリマス、尙ホ將來國內ノ生產ヲ見ルニ至リマシタ曉ニハ、從來低率ノ儘ニ据置イタ關稅ノ改正ヲモ行シテ、保護すべき必要モアルデアラウトノコトデゴザイマス、尙ホ此昭和四年度ノ補助金ハ約十九万四千五百圓デアッテ、一般會計ノ歲出豫算ニ計上サレテ居リマス、討論ニ這入リマシテハ委員ノ一人カラ人造藍ハ獨逸ニ於テ發明セラレテ以來、二十年間研究ヲ重ネ、約一千万圓ノ研究費ヲ投ジテ初メテ工業的ニ生產セラル、ヤウニナツタ位ノモノデ、實ニ容易ナラヌ困難ト多クノ年月ト費用トヲ犠牲ニ供シテ居ルノデアルカラ、今日ハ其當時ト勿論比較スベキデハナイガ、其最モ困難ナルノハ研究時代ニアルガ故ニ、政府ガ工業的ニ移シテ大量生產ヲ行ハ

シメルガ爲ニ補助ヲ與ヘラル、ト云フノハ必シモ不可ナリトハシナイケレドモ、此獎勵補助ハ一人一社ト云フガ如キ狭イ範圍ニ限局シナイデ、廣ク研究ノ爲ニ獎勵方法ヲ講ジテ、優秀ナル技術上ノ結果ヲ發揮スルコトニ特ニ考慮セラレタイト云フ趣旨ノ希望ヲ述ベラレマシテ、サウシテ本案ニ賛成ノ意ヲ表セラレタノデアリマス、而シテ外ニ反對ノ意見モゴザイマセヌノデシタカラ、直ニ採決ニ這入リマシテ、全會一致ヲ以テ本案ヲ可決イタシタ次第デゴザイマス、以上御報告申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 日程第十六、蠶絲業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告
蠶絲業法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月七日

右特別委員長

今井五介

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長（公爵徳川家達君） 今井五介君ノ登壇ヲ望ミマス

〔今井五介君演壇ニ登ル〕

○今井五介君 私ハ只今上程セラレマシタ蠶絲業法中改正法律案ニ對スル特

別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本委員會ハ去ル五日正副委員長ノ互選ヲ行ヒ、其後三回委員會ヲ開キマシタ、委員會ハ先づ以テ大臣並ニ政

府委員ヨリノ詳細ナル説明ガアリマシテ、又質疑應答ガアリマシタ、私ハ委員會ノ内容ヲ省略イタシマシテ本案中ニ於ケル質疑ノ主モナル一二ノ點ヲ申

上ゲマス、其一ツトシテハ自治検査實施ノ曉、自由放漫ニ流レ、粗製濫造ニ陷

ルナキカ、從テ養蠶家ニ累ヲ及ボシ、損害ヲ被ラセルノ虞ナキヤト云フコト

デアリマシタ、此點ニ對シテ政府ハ慎重ニ調査嚴選ノ上優良ナルモノニ限り

許可ヲ與ヘ、監督取締ノ規定ハ現在ヨリモ一層嚴重ニナルト云フ説明ガアリ

マシタ、又一面検査ノ自治ヲ認ムルコトハ却テ蠶種製造業者ノ自覺ヲ促シ、其

責任觀念ヲ深カラシメ、自カラ優良蠶種ノ製造ニ努ムルノ機会ヲ與フル上ニ

必要デアリト云フ説明ガアリマシタ、他ノ一つハ當局ガ蠶種製造業者ノ資格

制限ニ關シ、十万蛾以上ノ製造ヲ條件トスル意嚮ナリヤニ付キ衆議院デ議論ガアツタヤウデアルガ、ソレハドウデアルカト云フコトデアリマシタ、此點ニ付テ當局ノ從來ノ意嚮ハ規模ノ制限ヲスルトシテモ、現在當業シテ居ル蠶

種家ニ對シテハ其適用ヲ爲サヌト云フ考ヘデアツタガ、偶ニ地方ノ當業者及衆

議院方面デモ其相續人ニハ是ガ適用ヲ除外スベシトノ意見ガ現レタノデ、此主張ハ該事業經營ノ實狀ヨリ見テ理由アリト認ムルガ故ニ、施行規則改正ノ

際ハ右ノ趣旨ニ副フベク取計フト云フコトヲ、政府委員ヨリ言明セラレ、同

委員會ニ於テモ満足ノ意ヲ表シ、全會一致ヲ以テ可決シタト政府委員ヨリノ

答辯ガアリマシタ、斯クテ本委員會ニ於キマシテモ、慎重審議ノ上、本改正法案ハ我蠶絲業ノ根幹タル原料ノ品位向上改善ノ最モ適切ナルモノナリト認メ、全會一致ヲ以テ可決シタ次第デアリマス、茲ニ御報告ヲ申上ゲマス

○議長（公爵徳川家達君） 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○議長（公爵徳川家達君） 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○議長（公爵徳川家達君） 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開クベシト云フ西大路子爵

ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 第二讀會ノ決議通リデ御異存アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 第二讀會ノ決議通リデ御異存アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 第二讀會ノ決議通リデ御異存アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 第二讀會ノ決議通リデ御異存アリマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

帝國鐵道會計法中改正法律案

昭和四年三月九日

右特別委員長

公爵 一條 實 孝

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 一條公爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 帝國鐵道會計法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ昨年末ニ陸運ニ關スル監督權ガ遞信省ヨリ鐵道省ニ

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

移管ニナリマシタ結果、帝國鐵道會計法第七條第二項中「鐵道及軌道ニ關スル監督上ノ諸費用」トアルヲ「鐵道、軌道其ノ他陸運ニ關スル監督上ノ諸費用」ト云フコトニ改メ、陸運ニ關スル監督上ノ費用ヲ加ヘルト云フコトニ會計法ヲ改正イタシタイト云フノデアリマス、委員會ハ二回ニ瓦リ慎重ニ審議

ヲイタシマシタ、委員會ニ於テ爲サレタル質問ノ主モナルモノヲ申シマスレバ、第一、陸運ト云フノハ如何ナル範圍ノモノデアルカ、其他監督ノ費用額ニ瓦リ

ル監督ト云フノハドノ位ノ範圍ニ瓦ルノデアルカ、第二、陸運ニ關スル監督ノ費用ハ之ニ答ヘラル、ノニ第一ノ陸運ト云フノハ廣イ意味ニ解釋シテ居ル、第二ノ陸運ノ監督ハ差當リ一定ノ路線ニ依ル自動車ヲ以

テスル運轉營業ト、索道、此ニ監督セントスル、斯様ナ答ヘデアリマシタ、尙ホ監督用ノ費用ハ昭和四年度ニ於キマシテ人件費其他ノ爲メ五万六千圓ヲ事業費ノ總經費ノ中ニ入レテアル、斯様ナ次第デアリマシタ、而シテ此

經費ニテ前申上ゲタル監督モスルシ、又調査モスル、研究モシテ段々ト方策ヲ立テヤウ、斯様ナコトデゴザイマシテ、討議ニ入リマシテカラ、二三ノ委員ヨリ陸運ニ關スル管轄上ノ統一ニ付キ希望ガアリ、又許可ヲサレルニ付テ

ノ希望ガアリマシテ、ソレハ希望ノ點ハ鐵道大臣ガ答ヘラル、ニハ、大體悉ク御尤ノヤウニ考ヘラレルカラ、御希望ニ副フヤウニ十分ニ盡力イタシタイ、斯様ナ御答ガアリマシテ、採決ニ入リマシテ、全會一致ヲ以テ本案ヲ可決イタシタ次第デゴザイマス、右御報告ヲ申上ゲマス

○男爵辻太郎君 議事進行ニ付テチヨット申シテ置キタイ、只今議題ニ上ボッ

テ居リマスノハ御所管ハ鐵道省ト思フテ居リマスガ、鐵道大臣御出席ニナツテ居リマセヌガ、此儘議事ハ御進行ニナルノデスカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 鐵道大臣ノ御出席ヲ御要求ナレバ交渉ヲ致シマス、政府委員ハ出テ居ラレマス

○男爵辻太郎君 此儘御進行ニナリマスカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御質問ガナケレバ……

○男爵辻太郎君 私ハ質問イタシマセヌ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 原案全部ヲ問題ニ供シマス、原案全部御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長（侯爵蜂須賀正韶君） 日程第十八、絲價安定融資補償法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十一日

右特別委員長

今井五介

貴族院議長公爵德川家達殿

〔今井五介君演壇ニ登ル〕

○今井五介君 只今上程ニ相成リマシタ絲價安定融資補償法案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、本案ハ蠶絲業法中改正法律案ト同一委員ニ付託サレマシタ、委員會ハ蠶絲業法中改正法律案ト同ジク前後通ジテ三回開キマシタ、委員會ニ於キマシテハ大臣竝ニ政府委員ヨリ詳細ナル説明ガアリマシテ、更ニ各委員ト政府委員トノ間ニ質疑應答ガアリマシタ、其主モナルモノノ中、第一ハ本案ニ於テ政府ガ損失補償ノ契約ヲ致シマスル相手方ハ、銀行ト產業組合中央金庫トニ限ラレテ居リマスガ、右ノ外例ヘバ當業者ガ現在行ツテ居リマスル積立金ヲ利用シテ、或機關ガ銀行ト同様ニ製絲業者ニ對シテ潤澤有利ナル金融ヲ致シマスルヤウナ場合ニハ、政府ハ是等トモ損失補償ノ契約ヲ致スコトニ出來ルコトニシテハドウデアルカト云フ問題デアリ

マシタ、此點ニ付キマシテハ農林大臣ヨリ當業者ノ自發ニ係ル積立金ノ成績ヤ色ミナ方面ノ關係等ヲ慎重ニ考慮ノ上、其積立金ヲ右ノヤウナ場合ニ利用イタスコトガ適當且ツ必要デアルト認ムルニ至ッタ場合ニハ、法律ヲ改正シ補

償契約ノ相手方ヲ其方面迄擴張スルコトニ致シテ差支ナイ考ヘデアルト云フ

答辯ガアリマシタ、第二ハ會社ヤ組合デナク、個人デ製絲業ヲ經營シテ居ル者ニ對シテモ、本案ノ特別ナル融通ガ與ヘラル、モノデアルカ、又個人製絲業者モ積立ヲ實行スルノデアルカト云フコトデアリマシタ、之ニ對シマシテハ個人經營者モ勿論本案ニ於テハ銀行ノ特別ナル融通ノ相手方トシテ認メラレテ居ルノデアル、而シテ積立金ノ方法ハ政府ガ之ヲ強制シテ居ルノデハナク、當業者ガ自發的ニ之ヲ實行シテ居ルノデアルガ、個人經營者モ之ニ參加シテ

居ル旨ノ答辯ガアリマシタ、第三ノ點ハ本案ノ如キ法律ガ設ケラレマスルト、

製絲業者ガ依頼心ヲ起スニ至ル虞レガナイデアラウカト云フコトデアリマシタ、此點ニ付キマシテハ、本案ハ政府ガ製絲業者ニ金融ヲ致シマシタ銀行ニ對シテ、一時其損失ヲ補償スルモノデアルガ、之ニ依テ銀行ノ製絲業者ニルノデ、製絲業者ハ其債務ヲ免ゼラレルト云フヤウナ保護ヲ與ヘラレルモノデナイカラ、之ガ爲ニ依頼心ヲ起スヤウナ虞レハナイモノト考ヘラレルト云フ答辯ガアリマシタ、本案ハ斯ノ如ク質疑應答ヲ重ネマシテ、最モ慎重審議ノ結果、委員會ハ我ガ蠶絲業ノ現狀ニ鑑ミマシテ適切ナルモノト考ヘラレルト云一致ヲ以テ可決決定イタシマシタ、右大要御報告申上ゲマスセヌカ

○副議長（侯爵蜂須賀正韶君） 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（侯爵蜂須賀正韶君） 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 贊成

○副議長（侯爵蜂須賀正韶君） 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（侯爵蜂須賀正韶君） 原案全部ヲ問題ニ致シマス、原案全部御異存ゴザイマセヌカ

○副議長（侯爵蜂須賀正韶君） 原案全部御異存ゴザイマセヌカ

○子爵清岡長言君 贊成

○副議長（侯爵蜂須賀正韶君） 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長（侯爵蜂須賀正韶君） 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長（侯爵蜂須賀正韶君） 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君 賛成
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第十九、臺灣事業公債法中改正法律案、

政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

臺灣事業公債法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十二日

右特別委員長

公爵 一條 實 孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔公爵一條實孝君演壇ニ登ル〕

○公爵一條實孝君 臺灣事業公債法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告イタシマス、本案ノ内容ハ現在臺陽礦業株式會社ガ所有シテ居リマスル、臺灣北部ノ三貂嶺ト云フ所カラ、青桐抗ト申ス所マデ、八哩一分ノ鐵道ヲ現金百五十万圓、公債ニ直シマシテ百七十万圓デ買收セムトスルノデアリマス、政府ノ説明ニ依リマスルト、此地方ハ炭田ガ非常ニアル、推定量約

三千万噸ト言ハレテ居リマス、一面臺灣總督府ノ鐵道部ニ必要ナ炭ハ、從來仔脚亭ト云フ所デ、炭坑ヲ持ッテ居ッタノデアリマスルガ、殆ド掘盡クサレテ

昭和四年度ヨリハ、何レカカラ石炭ヲ買ハネバナラヌ、斯様ナコトニナッテ居リマスルノデ、臺陽礦業株式會社所有ノ鐵道ヲ買收シテ、其沿線ノ炭田ヲ開發セムトスルノデアリマス、質疑應答ニ於テハ、買收後ノ改良費ガドレ位

掛ルカ、斯様ナ問ヒガアリマシタガ約二十四万圓ヲ要スル、其他臺灣礦業株式會社ノ内容、買收後ノ收支ノ見込等ニ付テ質疑應答ガアリマシタ、此委員會ハ一回デ終リヲ告ゲタノデアリマス、採決ニ入リマシテ、全會一致可決スベキモノト議決致シタ次第ゴザイマス、以上御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマ

セヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 原案全部ヲ問題ト致シマス、原案全部御異存ゴザイマセヌカ
○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス
○子爵清岡長言君 賛成
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君 賛成
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第二十、二十一、二十二政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告
健康保險特別會計法中改正法律案右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和四年三月十四日

右特別委員長

嘉納治五郎

貴族院議長公爵德川家達殿

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十四日

右特別委員長

嘉納治五郎

貴族院議長公爵德川家達殿

工場法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十四日

右特別委員長

嘉納治五郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔男爵佐藤達次郎君演壇ニ登ル〕

○男爵佐藤達次郎君 健康保険特別會計法中改正法律案竝ニ健康保険法中改正法律案ニ關シ、委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ便宜上兩法案ヲ一括イタシマシテ、二日ニ瓦ツテ之ヲ審議イタシマシタ、健康保険特別會計法中改正法律案ハ政府ノ管掌スル健康保険事業ニ對スル、一般會計ヨリノ繰入金ノ額ヲ、被保險者一人當一年平均二圓以内ニ於テ、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依ルコトトセムトスルノデアリマス、現行法ニ依レバ、被保險者一人當一年平均二圓以内ニ於テ、保険給付ニ要スル費用ノ十分ノ一二相當スル額ヲ繰入レルコトニナツテ居リマスノデ、之ヲ以テ本事業ノ事務費ヲ支辨スル見込ト考ヘテ居リマス、然ルニ此算定ノ基礎ヲ保険給付ニ置イテ居リマス關係上、被保險者數及標準報酬ノ增減等ニ依ッテ、保険給付費ノ増減ヲ來シ、從テ繰入金額即チ事務費ノ増減ヲ來スコトトナリ、事務ノ運行上支障ヲ生ズル場合ガアリマスノデ、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依ッテ一定シタ價格ノ繰入ヲスルコトニ致シタイト云フノデアリマス、是ハ適當ノ改正ト考ヘラレマスノデ、委員會ニ於キマシテハ、滿場一致ヲ以テ原案ヲ可決イタシマシタ、次ニ健康保険法中改正法律案ハ、健康保険ニ關スル諸般ノ事務手續、保険料ノ徵收方法、保険給付ノ內容等ニ關シ改善ヲ加ヘ、本事業ノ實行ヲ圓滑ニシ、事務ノ簡捷ヲ圖ラムガ爲メ提案セラレタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、第六十一條中改正ニ依ッテ、被保險者ノ著シキ不行跡ニ基因スル保険事故

ニ對シテハ、傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得ルヤウニイタシマスル點、其他二三ノ點ニ關シテ質問ガアリマシタガ、結局政府ニ於テハ健康保険法ノ根本的ノ改正ニ付テモ、御講究中デアルトノ説明モアリマシタノデ、委員會ニ於キマシテハ之ヲ諒ト致シテ、格別ノ議論モナク滿場一致ヲ以テ原案ヲ可決イタシマシタ、詳細ナル點ハ速記録ヲ御覽願フコトト致シマシテ、以上簡單ニ御報告イタシマス、工場法中改正法律案、此度政府ヨリ提案ガアリマシタル此法案ハ、工場ノ就業時間、休日及休憩等ニ關スル規定ノ適用範圍ヲ擴張セムトスルモノデアリマス、現行工場法ハ原則ト致シマシテ、十人以上ノ職工ヲ使用スル工場ニハ、使用職工ノ數如何ヲ問ハズシテ、就業時間制限、原動機ヲ使用スル工場ニハ、使用職工ノ數如何ヲ問ハズシテ、就業時間制限、休日及休憩ノ規定ヲ適用セムトスルモノデアリマス、政府當局ノ云フ所ニ依レバ、右ハ目下ノ所ニ於テハ織物工場及綿絲工場ニ限テ適用セムトスル趣意デアリマシテ、織物工場及綿絲工場ニ於テハ、今尙ホ十四五時間又ハ十六時間ト云フガ如キ長イ時間ニ瓦ル勞働ガ行ハレテ居リマス、小工場ノ衛生上遺憾ナル點ガアルノミナラズ、適用工場トノ間ニ不正ノ競争ガ行ハレルト云フコトデアリマス、委員會ニ於テハ篤ト政府當局ノ説明ヲ聽キ、質疑應答ヲ重ねマシタ結果、本案ヲ、我國勞働者ノ保護竝ニ產業ノ健全ナル發達ノタメ適當ナルモノト認メマシテ、滿場一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、何卒御審議ノ上、委員會報告通リ可決アラムコトヲ望ミマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 三案トモ第二讀會ニ移スコトニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君 贊成
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 三案全部ヲ問題ト致シマス、全部三案トモ原案通リデ御異存ゴザイマセヌカ

ニ對シテハ、傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得ルヤウニイタシマスル點、其他二三ノ點ニ關シテ質問ガアリマシタガ、結局政府ニ於テハ健康保険法ノ根本的ノ改正ニ付テモ、御講究中デアルトノ説明モアリマシタノデ、委員會ニ於キマシテハ之ヲ諒ト致シテ、格別ノ議論モナク滿場一致ヲ以テ原案ヲ可決イタシマシタ、詳細ナル點ハ速記録ヲ御覽願フコトト致シマシテ、以上簡單ニ御報告イタシマス、工場法中改正法律案、此度政府ヨリ提案ガアリマシタル此法案ハ、工場ノ就業時間、休日及休憩等ニ關スル規定ノ適用範圍ヲ擴張セムトスルモノデアリマス、現行工場法ハ原則ト致シマシテ、十人以上ノ職工ヲ使用スル工場ニハ、使用職工ノ數如何ヲ問ハズシテ、就業時間制限、原動機ヲ使用スル工場ニハ、使用職工ノ數如何ヲ問ハズシテ、就業時間制限、休日及休憩ノ規定ヲ適用セムトスルモノデアリマス、政府當局ノ云フ所ニ依レバ、右ハ目下ノ所ニ於テハ織物工場及綿絲工場ニ限テ適用セムトスル趣意デアリマシテ、織物工場及綿絲工場ニ於テハ、今尙ホ十四五時間又ハ十六時間ト云フガ如キ長イ時間ニ瓦ル勞働ガ行ハレテ居リマス、小工場ノ衛生上遺憾ナル點ガアルノミナラズ、適用工場トノ間ニ不正ノ競争ガ行ハレルト云フコトデアリマス、委員會ニ於テハ篤ト政府當局ノ説明ヲ聽キ、質疑應答ヲ重ねマシタ結果、本案ヲ、我國勞働者ノ保護竝ニ產業ノ健全ナル發達ノタメ適當ナルモノト認メマシテ、滿場一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、何卒御審議ノ上、委員會報告通リ可決アラムコトヲ望ミマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 三案トモ第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第二十三、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

取引所法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和四年三月十八日

右特別委員長

侯爵 大久保利武

貴族院議長公爵德川家達殿

〔侯爵大久保利武君演壇ニ登ル〕

○侯爵大久保利武君 只今付議サレマシタ取引所法中改正法律案ノ特別委員會議事ノ經過報告ヲ申述ベマスル、御承知ノ如ク本案ハ衆議院提出ノ法案デアリマシテ條文ト致シマシテハ極メテ簡單デ、第十八條中「二箇月」ヲ「三箇月」ニ改ムト云フダケノ法案デアリマシテ、ソレニ經過規定ノ簡單ナ附則ガ附イテ居ルノデアリマス、併ナガラ此法案ハ、條文ハ簡單デアリマスガ、頗ル重大ナ改正案ト考ヘルノデアリマス、デ本案ハ信託業法中改正法律案ト共ニ同一ノ特別委員會ニ付議サレマシテ、特別委員會ハ兩案合シマシテ七回開キマシタ、關係諸省ノ大臣並ニ政府委員出席ニナリマシテ、慎重ニ審議ヲ致

シタノデアリマス、本案提出ノ理由ハ衆議院ノ速記錄並ニ政府委員ノ説明ニ依リマスト、現行ノ取引所法ハ大正十一年ニ改正ニナリマシタ、其後ノ實況ニ照シマシテ、即チ證券取引ノ期間ガ、十一年ノ改正ニ依リマシテ、三箇月ヲ二箇月ニ短縮サレタ爲ニ、實施後ノ成績ニ於テ是マデ五十年以上モ商習慣トシテ取引ノ上ニ用キタ所ノ期間ガ、俄ニ短縮サレタ爲ニ、取引上非常ニ圓満ヲ缺キ、取引ノ困難ナル結果ヲ來シテ、證券取引ノ上ニ付テ非常ナ打撃、影響ヲ及ボシテ、東京、大阪、名古屋等ノ取引所ニ於テ、限月短縮ノ爲ニ多打撃ヲ蒙リ、殊ニ又十一年ノ改正ノ時ニ短期取引ガ新タニ創設サレタ爲ニ、其短期取引ノ方ニ取引ガ移ルヤウニナッテ來タノデアル、而モ其短期取引ハ非常ニ弊害ノ多キ結果ヲ來シテ居ル、斯ウ云フ狀態ノ爲ニ、サナキダニ景氣ノ惡イ所ニ、大量ノ證券取引ト云フモノガ、是マデ通り圓満ニ取引ガ行ハレズ、證券ノ金融上ニ於ケル是迄ノ便利ガマルデ失セテシマツタノデアル、近時證券ノ發行サル、民間事業ノ勃興シタ爲ニ、多大ノ膨脹ヲ致シテ十年毎ニ殆ド四倍ノ増額ヲ來シツ、アルヤウナ次第デアッテ、非常ニ膨脹シ、證券ノ發行ガ甚ダ發達ヲシテ來タノデアルガ、サウ云フ大量取引ガマルデ滯滯シテ圓満ニ行ハレルコトノ出來ナクナッタ爲ニ、取引所ノ機能ヲ完ウスルコトガ出來ナクナッタ、全ク商習慣ヲ破ッタ爲ニ、即チ是マデ我國ニ行ハレテ居ル所ノ月末勘定ト云フヤウナモノト、マルデ沒交渉ニナッテ、銀行トノ關係ト云フモノガ、此改正ノ爲ニ甚シク阻害サレタ、抑、十一年ノ改正ガ甚ダ誤ツテ居ツタノデアルカラシテ、速ニ之ヲ改正シテ貰ヒタイノデアル、斯ウ云フ大體ノ趣旨ノヤウニ了解イタスノデアリマス、デ委員會ニ於キマシテ、各委員ヨリシテ、政府委員ニ連日ニ瓦ツテ種々ノ質問ガ行ハレタノデアリマスガ、一々之ヲ申上トデアリマスガ、極ク極メテ概括シテ其要點ト申スコトダケヲ申述ベタイトトゲルコトハ時間切迫ノ爲ニ省クコトニ致シマス、何レ速記デモ御覽ヲ願フコトデアリマスガ、極ク極メテ概括シテ其要點ト申スコトダケヲ申述ベタイトト考ヘマス、質問ニ多ク出マシタ點ハ、大正十一年ノ改正……法律ノ改正サレタ其趣旨、目的ト云フコトト、其成績ハドウデアルカ、又限月ヲ短縮シタ、即チ二箇月ニナッタ、其長期取引ト、改正ニ依ツテ新タニ入ッタ所ノ短期取引トノ關係、得失ト云フコトト、ソレカラ此改正案ニ對スル政府ノ所見如何ト云フコトガ、主タル問題ニナッテ、質疑應答ガ行ハレタノデアリマス、此法律ノ改正サレマシタ趣旨及目的ト云フコトニ付テハ、種々質問ガ出マシタガ、當キマシタ、關係諸省ノ大臣並ニ政府委員出席ニナリマシテ、慎重ニ審議ヲ致

カツタカ、サウシテ成ルタケ限月ヲ短期シテ、歐米ニ行ハル、所ノ短期ノ期限ノ
何モアツラウ、併シ主タル趣旨ハ、當時十一年ノ改正ノ際ハ、恰モ、戰後ノ
直後デアツテ、十一年前後ハ我國ノ景氣ノ最モ好イ時代デ、株式界ナドハ熱狂
ノ時代デアツテ、此儘ニシテ置イテハ、我經濟界ハ如何ナル困難紛擾ヲ來スカ
モ知レヌト云フ、實ニ朝野ヲ舉ゲテ心配ヲシテ居ツタ際デアルノデ、其際投機
熱思惑ノ思想ヲ抑ヘルコトガ、主タル目的デアツヤウニ思フト云フ答辯ガ
アツタノデアリマス、而シテ此短期取引法ヲ初メ、限月ヲ短縮シタ其成績如何
ト云フ問ヒニ對シテ、政府ノ答辯ニ曰ク、此改正法律案ニハ新ラシク短期ト
云フ取引法ヲ入レタノデアルガ、此短期ハ一週間ト云フ期限ニ於テ取引ヲナ
シテ、一週間後ニ於テ雙方合意ノ上ニ於テ一箇月以内ハ之ヲ延バスコトガ出
來ルト云フ短期取引デアツタノデアルガ、實施後ノ狀況デ見ルト云フト、此短
期取引ハ初メニ法律改正ノ際ニ豫期シテ居ツタ成績ヲ呈シテ居ラナイノミナ
ラズ、隨分弊害ノ多キコトヲ政府ニ於テモ認メテ居ルノデアル、デ成程提案案
者ノ言フヤウニ、限月ノ取引ト云フモノハ非常ニ減縮シテ、大阪ノ如キハ短
期ノ十分ノ一位ニ減ルコトモアル位ノ有様デアツテ、長期ノ取引ヲ抑制スルト
云フ目的ハ達シタモ言ヘルガ、併ナガラ短期取引ニ導イテ行ッテ漸次健全
ナ取引方法ヲ、我取引界ニ入レタイト云フ其目的ハ達シテ居ラヌノミナラズ、
寧ロ反対ノ結果ヲ見テ居ルト云フノハ、短期取引ガ甚ダ弊害ガ多イノデ、逆
モ此短期取引ニ於テ大量ノ證券ヲ取引スルト云フコトハ、事實今日ニ於テハ
出來ヌヤウナ狀況デアツテ、其長期取引、短期取引ニ從事シテ居ル仲買ノ素質
ニ於テモ、亦取引サル、證券ノ種類ニ於テモ、同日ノ論デハナイノデ、限月
取引ノ高ニ於テ減ジタト云フコトハ言ヘルガ、短期取引ヲ置イタ趣旨ト云フ
モノハ目的ヲ達シテ居ルトハ言ヘナイ、斯ウ云フ數字ヲ示シテノ御答辯デア
リマシタ、短期取引ト長期取引ノ關係、得失ニ於テハ各、其利害得失モアラ
ウガ、今日ニ於テハ前申述ベル如ク短期取引ニ於テモ、非常ニ弊害ヲ認メテ居
ル狀況デアル、即チ今日ノ成績カラ言ヘバ、短期取引必ズ健全デハナイ、隨
分弊害ガ多イ、又長期取引ト雖モ必シモ弊害多キニアラズ、大量ノ證券取引
ニ於テハ、ドウシテモ長期ノ取引デナイト、今日ニ於テハ出來ヌ事實ト認メ
テ居ルト云フ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、本案ニ對シテ政府ノ所見如何ト

云フコトニ付テハ的確ナル贊否ノ意見ハナイノデアリマシテ、政府委員ノ之ニ對スル答辯ハ、實施以來未ダ日モ淺イコトデアッテ、此限月、又此短期ノ利害得失ニ於キマシテ、未ダ十分ニ是モ的確ナ此利害得失ヲ判断スルコトノ材料ヲ、十分ニ茲ニ申述ベテ論斷スル譯ニハマダ行カナイガ、併ナガラ近時ノ状況ヲ見ルト長期取引必シモ不健全ト云フ譯デハナク、單ニ取引ノ實際ニ於キマシテ能ク行^ツテ居ルカト云フニ、決シテサウデハナイノデアル、今日ニ於テハ限月……此長短ト云フコトハ今日ノ實況ニ於テハ左程重ク見テ論ズルコトモ出來ヌヤウデアル、又商工大臣ハ此十一年ノ改正ニ際シテ、此趣旨目的ト云フモノハ今日ニ於テハ十分ニ達セラレテ居ルト云フコトハ言ヘナイ、此限月問題ノ如キ、多年我國ニ行ハレテ、我國ニ長ク行ハレテ居ル取引方法アルカラ、之ヲ俄ニ法律ニ依^ツテ之ヲ制限シテ行クト云フコトモ如何ナルモノデアラウカト云フ疑問ヲ申述ベラレタヤウナ次第デアリマス、ソレデ此問題ノ改正案ニ付テ、政府ハ的確ニ贊成ノ意ヲ表シテ居ラレヌノデアリマスガ、併ナガラ此案ノ通過ニ付キマシテ反対ノ意見モ申述ベテ居ラレズ、此法案ノ通過ニ付テ反対ト云フコトモ申述ベラレヌノデアリマスガ、其點ハ幾度ビ委員ヨリシテ御尋ネシテモ的確ナ贊否ト云フコトハ御答辯ガナカッタノデアリマス、尙ホ討論ニ入ル前ニ一ツ申上^スゲテ置カナケレバナラヌコトハ、我ガ同僚議員ノ中ニ於テ、取引ノ状態ニ付テ又取引所ニ長ク経験ヲ……從事サレタハ委員會デハアリマセヌデシタガ、委員會室ニ於キマシテ各委員ガ之ヲ聞イラレル方々カラシテ一場ノ話ヲ聞いて貰ヒタイト云フ要求ガアリマシテ、是經驗ヲ有^ツテ居ラレル、又其取引ト云フコトニ付キマシテ、實際精通シテ居タノデアリマス、右様ナ次第デアリマシテ、討論ニ移リマシタノデ討論ノ内容ヲ極ク要ヲ摘要^ステ申上^スゲタイト思ヒマスルガ、一委員ヨリシテ述ベラレタコトハ此十一年ニ改正ニナ^タ現行ノ法律ト云フモノハ、ドウモ其根本ヲ誤^ツテ出來テ居ル法律デアルヤウデアル、今日此提出者ノ此法案ノ出來タ理由タトハ當然ナコトデアラウト云フ意見モ出タノデアリマス、又一委員ヨリシテ此改正サレタ現行法ノ法案ト云フモノハドウモ其歐米ノ取引所ノ取引方法ヲル取引界ノ現況ニ照シテ、限月ヲ元ノ通りニ復舊シテ、三箇月ニ直スト云フコトハ當然ナコトデアラウト云フ意見モ出タノデアリマス、又一委員ヨリシテ本トシテ我國ニ取入レタモノデアルノデ、甚シク我國ノ商習慣ヲ破^ツテ銀行トノ關係等ノ圓満ヲ缺キ、逆モ今日ノ取引所ノ狀態デハ其機能ヲ發揮スルコ

トハ出來スカラ此法案ニ賛成スル、又一委員ヨリシテハ此法案ノ如ク改正スルコトハ折角勅令カラ法律ニ移シテ、三箇月ヲ二箇月ト云フ鄭重ナ手續ニ依テ法律ニナツタモノヲ、今日之ヲ又再び復舊スルト云フコトハ、如何ニモ法律ヲ尊重スル上カラ云フト遺憾デアルガ、併ナガラ既ニ實施後四年ニモナツテ居ツテ、ソレデ其實際ノ成績ト云フモノガ今日ニ於テハ明カニナツテ居ルト云フテモ宜カラウト思フ、デ此政府委員ノ述ベラレル如ク短期取引ガ甚シク弊害ヲ呈シテ居ツテ、二箇月ノ限月ノ取引ニ於テハ大量ノ證券取引ト云フモノハ行ハレズ健全ナ取引法ト云フモノガ行ハレヌト云フコトデアレバ、之ヲ再ビ復舊シテ眞ニ取引所ノ機能ヲ發揮スルニ便ナルコトニスルノモ已ムヲ得ヌヂヤナイカト思フ、斯ウ云フ賛成ノ意見モ出タノデアリマス、又此法案ニ反對サレル委員ヨリシテ簡單ニ申上マスルト限月ノ可否即チ短カクスルトカ、長クスルトカ、短期トカ云フ問題ノ利害得失ハ色ムアラウガ、自分ノ見ル所デハ、改正ノ法律ハ即チ十一年ノ法律ト云フモノハ今日ノ實際ニ照シテ幾分ノ目的ハ達シテ居ルヤウニ思フ、尤モ自分ノ主張シタイノハ、折角勅令カラ法律ニ移シテ三箇月ヲ二箇月ニ爲シタモノヲ今日俄ニ之ヲ改ムルト云フコトハ法律ヲ尊重スルト云フ上ニ付テハドウデアラウカ、此法律ヲ改正スルト云フコトニ付テハ重大ナ茲ニ理由ガナケレバナラヌノデアルガ、自分ハドウモ其理由ヲ見出スニ付テ是マデノ答辯、研究ニ依ツテハ遺憾ナガラ之ヲ見出スコトガ出来ヌノデ、輕シク此法律ヲ改正スベキモノデハナカラウト思フカラシテ、現行ノ法律ヲ維持スルト云フコトニ自分ハ重キヲ置カザルヲ得ヌノデ、之ニ反対スルト云フコトデアリマシテ、五人ノ賛成、一名ノ反対デアル、斯ウ云フコトデ原案ヲ可決イタシマシタ次第デアリマス、此段議事經過ト結果ヲ御報告申上ゲマス

〔公爵一條實孝君發言ノ許可ヲ求ム〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 一條公爵ハ……

○公爵一條實孝君 質問ガアリマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第二十三ニハ質問ノ通告ガアリマスカ

○上山滿之進君 初メノ質問ハ簡單デアリマスカラ此所カラ御許シヲ願ヒマラ、是ヨリ質問ヲ許シマス、上山滿之進君

委員會デ段々御話ガアリマシタガ、此御答辯ハソレヨリ謂ハド進ンダ御答辯

ケデアリマス、只今大久保委員長ヨリ報告ヲ承リマシテ多少分リマシタケレドモ、尙ホハツキリ了解ガ出來マセヌノデ、ドウゾ御面倒ナガラ商工大臣カラ此問題ニ對スル御説明ヲ願ヒタイ、尙ホ新聞紙等ノ傳フル所ニ依レバ當初商工大臣ハ御反對ノ意味ヲ御漏ラシニナツテ、後ニ賛成ノ意味ヲ御漏ラシニナツタ云フコトガ見エテ居ル、必シモ私ハ新聞ヲ全部ヲ信ズル者デハアリマセス、又サウ云フコトガアラウトモ思ヒマセヌガ、サウ云フコトガ現レテ居ルノデアリマスカラ、出來ルダケ明確ニ政府當局ノ御所見ヲ承リタイ

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 只今上山君ノ御質疑ニ御答ヲ致シマス、政府當局ガ貴衆兩院ニ於キマシテ御尋ニ應ジテ御答ヲ致シマシタコトハ略、同様デアリマス、只今大久保委員長ヨリシテ御報告ニナリマシタル政府當局ノ御答ヲ申シタコトハ誠ニ能ク委曲ヲ盡シテ居ルト申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ新聞紙ニ彼此レ近來書イテ居リマスガ、是ハ取引所ニ關係スル問題デアリマスルカラ、色ムノコトヲ新聞ガ毎日書ク、恐ラクハ之ニ依ツテ一面ニ於テ相場ヲスル者モ澤山アルダラウ、是ハ免レヌコトデアリマスルデ、親シク御經驗ノアル上山君モ是ハ大抵御推測ノコトト思ヒマス、ソレデ新聞紙ニ出テ居リマスコトハ餘リ直ニ御信用ニナラヌヤウニ御願ヲ申上ゲタイト思フテ居リマス、ト言ヒマスノハ衆議院ニ於キマシテハ、極ク要ヲ摘ンデ申上ゲマスト云フト當局ト致シマシテハ、此法案ハ實施以來マダ日ガ淺イノデアリマスルカラ、四箇年……而シテ其間ハ我ガ財界ガ一一沈シテ來タ時デアルノデアリマシテ、沈シダリ上ツタリシタ時ノ經驗ヲ、マダ此法案自身ハ持ツテ居ナイ譯デアリマス、故ニ今日當局ニ於キマシテハ長期ト稱スル二箇月三箇月ニ付テハ、一長一短大シタ差ハナイト云フ考ヲ持ツテ居リマスルケレドモ

〔議長公爵德川家達君議長席ニ復ス〕

之ニ斷定ヲ下スダケノマダ確カナル材料ヲ十分ニ持ツテ居ルト云フコトヲ申上ゲル譯ニイカナイ、斯ウ云フ御答辯ヲ致シテ置キマシタ、ソレカラ又衆議院ノ委員會デ若シ此案ガ貴衆兩院ヲ通過シタ場合ニハ政府當局ハドウスルカ、斯ウ云フ御尋ガアリマシタノデ、ソレハ只今衆議院ノ一院ノ提出ニナリマシタル……衆議院ノ委員會デアリマスコト故ニ此所デハ答辯ヲスルコトヲ差控ヘマス、斯ウ云フ御答ヲシテ置キマシタ、ソレカラ貴族院ニ參リマシテス、商工大臣ニ御尋ヲ致シマス此質問ハ本案ニ對スル政府ノ所見如何、是ダ

ヲ申上ゲテ置キマシタ、其情況ハ只今委員長ヨリ御報告ニナッタノデ誠ニ委曲ヲ盡シテ居ルト私ハ申上ゲタイト思フノデアリマス、斯ウ云フヤウナ事情デアリマス、尙ホ御尋ニ應ジテ後トノ御答辯ヲ致シタイト考ヘマス○上山満之進君 只今商工大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマスト、衆議院ニ於テ爲サレタ御答辯ハ此二箇月限月ノ制度ヲ行フコト日尙ホ淺シ、而シテ其期間ハ景氣ノ沈衰シタ時デアルノミデアル、故ニ今二箇月ガ宜イカ、三箇月ガ宜イカ、二箇月ガ惡イト云フコトヲ斷定スルダケノ確信ヲ持タヌ、斯ウ云フ風ニ仰セニナツタヤウデアリマス、其言葉ヲ承リマスト私ノ解スル所デハ既ニ法律上三箇月ニシナケレバナラヌト云フ確信ガ付カナイ以上ハ、三箇月ニ戻スコトニハ反對ト云フコトノ御趣意デアルヤウニ思フ、ソレハサウデアリマスカ、サウデナイカラ今一應御迷惑モ伺ヒマス、ソレカラ貴族院ノ委員會ニ於テナサレタ答辯ハ委員長ノ報告通り、斯ウ云フコトデアリマスガ、私ノ席ハ少シ遠方デ委員長ノ御聲ガ實ハ十分ニ聞エマセヌデス、尙ホ委員長ノ御取次ニアラズシテ、此席デ中橋商工大臣御口ヅカラ御述ベニナル方ガ一般ノ人ニ徹底イタシマスカラ、重複イタシマシテモ、商工大臣御口ヅカラ尙ホ御答ヲ伺ヒタイ

〔國務大臣中橋徳五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋徳五郎君) 只今ノ御問ハニツデアルト承イタシマスガ、其第一ノ御質疑ハ衆議院ニ於テ致シタ答辯ハ當局ハ此改正案ニ反対ナリト解釋シテ宜シイカト云フ御尋デアリマシタ、當局ノ御答ヲシタノハ之ヲ反対ナリト云フ明瞭ニ御答ヲシテ居リマセヌ、贊成ヲスルカト云フノニハ、贊成スルノニハ直ニ今は非三箇月ハ二箇月ヨリ宜シト云フコトヲ断定スルマデニ至ツテ居ナイ、之ヲ躊躇スル、斯ウ云フ答辯ヲ致シテ居タノデアリマス、故ニ若シ衆議院デソレナラバ反対デアルカ、斯ウ云フ御尋ガ萬一アッタト假定イタシマスト、之ニモ是非反対シナケレバナラヌト云フダケノ強イ材料モ持テ居ナイ、ト云フ意思デアリマスカラ、其御積リデドウゾ御聽取リヲ願ヒタイ、ソレカラ貴族院ノ委員會ニ於テ申述ベタコトハ先程申シマス通リ委員長御報告ノ通リデアリマス、色々御質問ハ澤山アリマシタガ、其要ヲ摘ンデ申シマスレバ、一體三箇月デアッテモ二箇月デアッテモ、是ハ大シタ騒グ程ノ問題デナカラウ、大シタ利害ノアルモノデナカラウト云フノガ根據デアルノデアリマス、ケレドモ其實行ノ方法及多少ノ利害得失ハ兩方ニアルト云フコ

トハ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ短期ニ付キマシテ、新タニ設ケラレマシタ短期ニ付テモ、是モ先程御報告ニアリマシタ通リニ、初メニ立テラレマシタル所ノ立法ノ趣旨ノ通リニ今日運ンデ居ルカト申スト、ドウモソレ程デナリカモ知レマセヌ、或點マデハ其目的ヲ達シテ居リマスガ、或點デハスウ云フコトニハナラナイト思フテ居ツタ點モアルカモ知レナイト云フ考モ今日持ツテ居ル譯デアリマス、是等モ或ハ他日改正ヲシテ改善スルト云フ途ヲ講ゼヌケレバナラヌカモ知レマセヌ、二箇月、三箇月ト云フ今日長期ト稱シテ居ルモノニ於キマシテハ、以前ノ御當院ノ委員會、其他學者連中ハ色ゝノ論ヲ立テラレテ居ルヤウデアリマスケレドモ、果シテ其論ガ肯綮ニ當ツテ居ルカドウカ私ハ疑フノデアリマス、現ニ近日ノ新聞紙ノ論調ナドモアリマスケレドモ、多クハ其論ノ要點ニ觸レテ居ナリマセウカ、反対トカ賛成トカ明瞭ニ申上ゲロト云フヲ申上ゲテ御分リニナリマセウカ、甚ダ當局迷惑ヲ今日ノ所デハ感ズルヤウナ譯デアリマス

〔上山満之進君演壇ニ登ル〕

○上山満之進君 時刻ノ迫リマシタ所ニ私ハ皆様ノ御清聴ヲ汚サザルヲ得ザル立場ニナリマシタコト謝シマス、私ハ中橋商工大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシテ誠ニ遺憾至極デアリマス、我ムハ何故ニ嚴肅ニ真摯ナル態度ヲ以テ議事ヲ進行スルコトガ出來ナイコトニナリマス、新シク突然起ツタ問題ナラバ兔モ角モ、此見ヲ曖昧ニシテ御出デニナリマス、新シク突然起ツタ問題ナラバ兔モ角モ、此問題ハ長キ歴史ヲ有シテ居ル、十分ニ當時ノ農商務省、後ノ商工省デハ研究ヲセラレタ問題デアルノデアリマス、之ニ對シテ衆議院ノ提案ガアリマシテ、又貴族院ニ廻ツテ之ニ對シテ當然所見ヲ御述ベニナラヌト云フコトハ、私ニハ到底理解スルコトハ出來ヌノデアリマス、只今最後ニ迷惑ダト仰セニナリマシタ、其迷惑ト云フ御言葉ハ誠ニ覺リノ惡イ私ニデモ之ヲ理解ハ出來ルノデアリマスケレドモ、是ハ座談ナラバ別トシテ、此演壇ニ於テ、承ルベキ言葉デハナイト思フ、何トシテモ之ニ對スル明確ナル御所見ヲ私ハ承ラザルヲ得ヌノデアリマス、御承知ノ通リ此限月問題ナルモノハ、曾テハ時ノ農商務大臣商工局長其位置ヲ去ラザルヲ得ナイ大事件ノ起ツタ程ノ問題デアリマス、其後何人モ、之ニ手ヲ著ケルコトガ出來ナカツタノデアリマス、ソレガ大正十一年即チ私ハ政友會ノドナタカノ政友會ノ内閣デアッタト思ヒマスガ、其内閣ノ時、時ノ農商務大臣ハ山本男爵デアッタ記憶イタシマス、其時是ハ提案

サレタ、詰リ長大間ノ難問題ヲ免モ角モ片付ケテ、斷乎トシテ提案サレタ其一ツデアルノデアリマス、若シ政友會ノ主義政策ト云フモノガ斯ノ如キ問題モ若シ主義政策ノ一ツデアルナラバ、亦私ハ重大ナル問題デアルカラ其一ツデアッテ、何モ政友會ノ恥デナイト思フノデアリマスガ、ソレナラバ此内閣ハ依然トシテ反対ノ意思ヲ政府ガ表明セラルベキ筋合デアル、即チ斯ノ如キ案ニ對シテハ断乎トシテ反対ノ意思ヲ政府ガ表明セラルベキデアル、殊ニ政府與黨ノ政友會ガ多數ヲ占メテ居ル衆議院ニ於テ、政友會總裁ハ其與黨ヲ指導サルベキ筋合デアル思フ、サウ云フ性質ノ問題デアリマスガ故ニ、政府ノ明確ナル之ニ對スル所見ヲ伺ハザルヲ得ヌノデアリマス、政府ノ明確ナル之ニ對スル所見ヲ伺ハザル以上ハ、議事ヲ進行スルニ甚ダ不便ヲ感ジマス、私ノ解スル所ニ依レバ衆議院ニ於ケル中橋商工大臣ノ御答辯ハ二箇月ニシテ惡カッタ、三箇月ニシテナケレバナラスト云フコトノ考へハマダナイ、殊ニソレニ理由ヲ御附ケニナッテ、マダ實施後僅カデアル、更ニ其僅カナ間ガ唯景氣ガ沈衰ノミノ時代デアッタ云フコトノ理由マデ御附ケニナッタ、此答辯ハ御迷惑ダカラハッキリ仰セニナラヌノデアッテ、其意味ハ明カニ今法律ヲ改正スル必要ナシト仰セノデアルト、斯ウ云フ風ニ了解スル外途ハナイ、是ハ大變私満足イタスノデアリマスガ、只今貴族院ニ於テ今日ニナッテハ、又色ト此綾ガ附キ過ギテ結局地色ガ分ラナクナッタヤウナ事ニナリ、是デハ誠ニ困リマス、何故ニ政府ハハッキリ御答辯ヲナサラヌノデアリマスカ、ハッキリ御答辯ヲナサラナケレバ御答辯ヲナサラナイ理由ヲ伺ハザルヲ得ナインノデアリマス

〔國務大臣中橋德五郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(中橋德五郎君) 此限月問題ニ付キマシテハ、沿革ハ只今上山君ガ御述ベニナリマシタ通り、大正十一年ダト記憶シテ居リマスカラ、前ノ原内閣ノ當時ニ、時ノ農商務大臣ノ山本達雄君ガ御計畫デ委員會ガ出來テ、之ヲ議院ニ提出ニナッタノデアリマス、當時私モ其時ニ居リマシタ、其時ニ此案ハ黨ノ政策デアルカドウカト云フ迄ノモノニ迄ナッテ居タヤウニ記憶イタシテ居リマセヌ、只今上山君モ御話ニナリマシタ通り、此問題ハ果シテ黨ノ政策ノ重要ナル一部トナルベキモノデアルカドウカハ、是ハ銘々ノ見様デアリマセウ、ソレカラ之ニ付キマシテ明確ナル贊否ヲ表セナイト云フコトニ付テ誠ニ御不滿デアル模様デアリマスカラ、其點ニ付テハ誠ニ申譯ハアリマセヌデア

リマスルガ、當局トシテ申述ベマシタ趣意ハ、十一年ノ改正ガ出來マシテ、サウシテ短期ヲ實行シテ、ソレカラ長期ノ三箇月ヲ三箇年實行イタシテ延期ヲシテ、十四年ヨリシテ初メテ二箇月ノモノヲ實行スルト云フノニハ、隨分云フコトニ付テノ議論モ無論アリマシタラウシ、從來長ク三箇月長期ノ習慣來タ取引所ノ有力ナル關係者總體ヲ御呼ビニナッテ、其意見ヲ御聽キナサツノデアリマス、サウシテ中々長イ習慣ヲ變ヘルニハ迷惑スル者モ多イノダラウト云フ様ナコトデアリマシタラウ、三箇年延期ヲ致シマシテ十四年ヨリシテ二箇月ヲ實行シテ、今日迄來テソレガ四箇年、斯ウ云フノデアルノデアリマス、四箇年ニナッテ今日衆議院ニ於テ復タ二箇月ヲ舊ノ三箇月ニ延バシタイト云フ、斯ウ云フ案ガ今日出タノデアリマス、當局ガ之ニ反対スルナラバ無論反対、斯ウ云フ譯デアリマス、贊成ヲ致ス意思ガアルナラバ當局ヨリ之ヲ提出スル譯デアリマス、併シ當局ト致シマシテ當局ヨリ此案ヲ提出スルト云フコトニハ、モウ少シ時期ヲ與ヘ慎重ニ考ヘタ方ガ宜カラウト云フ考ヲ持ツタ譯デアリマス、其答辯ヲ申上ゲタノデスケレドモ、若シ是ガ貴衆兩院ニ有力ナル御方、御經驗ニ非常ニ富ンダル御方モ多イノデアリマスカラ、是非斯ウシタガ宜カラウト云フコトニナレバ、當局ニ於テハ強ヒテ之ニ反対スルダケノ強イ理由ヲ持チマセヌノデアリマス、サウ云フ意味ヲ申上ゲテ居ル譯デアリマスカラ、ソレ等ノ事情ヲ能ク御察シラ願ヒタイト云フ考ヘデアリマス

〔伯爵奥平昌恭君「只今私ガ……ト述フ」〕

○議長(公爵德川家達君) 上山君ニ伺ヒマスガ、マダ質問ガ残ッテ居リマス
○上山滿之進君 宜シイデス

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマスカ、奥平伯爵
ガ御述ベニナリマシタ通り、大正十一年ダト記憶シテ居リマスカラ、前ノ原内閣ノ當時ニ、時ノ農商務大臣ノ山本達雄君ガ御計畫デ委員會ガ出來テ、之ヲ議院ニ提出ニナッタノデアリマス、當時私モ其時ニ居リマシタ、其時ニ此案ハ黨ノ政策デアルカドウカト云フ迄ノモノニ迄ナッテ居タヤウニ記憶イタシテ居リマセヌ、只今上山君モ御話ニナリマシタ通り、此問題ハ果シテ黨ノ政策ノ重要ナル一部トナルベキモノデアルカドウカハ、是ハ銘々ノ見様デアリマセウ、ソレカラ之ニ付キマシテ明確ナル贊否ヲ表セナイト云フコトニ付テ誠ニ御尋ねシヤウト思ッタ點ニ付キマシテハ此中ニ含マレテ居リマスカラ、私ハ質御不滿デアル模様デアリマスカラ、其點ニ付テハ誠ニ申譯ハアリマセヌデア

○議長(公爵徳川家達君) 是ニテ質疑ノ通告ハ終リマシタ、是ヨリ討論ニ移
リマス、通告ニ依リマシテ上山君ノ發言ヲ許シマス

〔上山満之進君演壇ニ登ル〕

○上山満之進君 私ハ本案ニ反対スル者デアリマス、本案ハ投機ノ機會ヲ多クスル爲ニ法律ヲ濫ニ變更セントスルモノデアリマス、先程質問ノ機會ニ於テ申述べマシタ通リニ、限月問題ナルモノハ取引所ニ於テト申スヨリハ、寧ロ農商務省、即チ産業省ニ於テ長イ間ノ極メテ厄介ナ問題デアリマシタ、曾テハ平田農商務大臣、木内商工局長ハ、此限月ヲ短縮セントシテ蹉跌セザルヲ得ナカッタ程ノ厄介ナ問題デアリマス、私モ暫ク農商務省ニ厄介ニナツテ居リマシタ、農商務當局ハ常ニ此限月問題ニ觸ル、コトヲ丸デ毒蛇ニ逢フヤウナ態度ヲ執ツテ居ツタノデアリマス、當時限月問題ニ付テハ其主務局デハ相當研究ヲ怠ラナカッタコトモ事實デアリマス、所ガ大正十一年ニ至リマシテ外ノ改正モアリマシタケレドモ、其趣意ノ取引所ニ關スル改正ノ中ニ限月短縮ヲ入レテ當時ノ政府ハ議會ニ提出シ、サウシテ其成立ヲ見タノデアリマス、私ハ當時其特別委員ノ一人デアリマシタ、私ハ此當時ノ取引所法改正ニハ全體ニ反対ヲ致シタモノデアリマス、其反対シタ理由ハ此限月問題ニ付テニアラズシテ外ノ種々ナル改正ヲスル、ソレニ理由ナシトシテ反対イタシタノデアリマス、只今、先刻特別委員長カラ御報告ニナリマシタ此短期取引ヲ新シク設ケルコトニモ私ハ反対ヲ致シタノデアリマス、其事ハ先づ別ト致シマシテ、限月問題ハ斯ノ如キ厄介ナ經過、歴史ヲ有ツテ居ルニ拘ラズ、當時ノ内閣ハ昂然トシテ之ヲ提出シ而シテ兩院ノ協賛ヲ經タノデアリマス、其後數年間之ヲ實施セズ、其實施シナカッタ理由モ色々關係者ノ陳情ニ基イタコトデアルト思フノデアリマス、其陳情ヲ又押切ッテ大正十四年ニ遂ニ之ヲ斷行シタト云フコトガ今日マデノ歴史デアル、誠ニ苦シイ經過ヲ經テ今日ノ制度ハ出来テ居ルノデアリマス、若シ取引所ヲ初メカラ設ケル時私ガ二箇月ガ宜イト言ヒマスカ三箇月ガ宜イト言ヒマスカソレハ分リマセヌ、ケレドモ私ノ言ハムトスルノハ斯ノ如キ厄介ナ問題ヲ、斯ノ如キ長キ經驗ヲ經テサウシテ最後ニ漸クソレヲ實行シテ、サウシテ實行後僅ニ四年ニシカナラナイ今日、而モ先程商工大臣ノ仰セニナル通り、其四箇年間ハ經濟界ノ沈衰シテ居ツタ時デアリマス、又今日モ沈衰シテ居ルノデアリマス、其短イ而モ變態ナ時ノ經驗ヲ以テ、從來ノ歴史ヲモ何モ顧ミズシテ直ニ之ヲ四年以前ト申シマスカ、七年以前

ト申シマスカ、大正十一年ノ以前ノ昔ニ還サウト云フコトハ、餘リニモ輕率ニ何故ニ限月短縮ヲシタカト云フ理由トシテ、大正十一年ハ戰爭直後、デ景氣ノ非常ニ好イ時デアッテ、取引所ガ盛ンニ活躍ヲシテ餘リニモ其羈絆ヲ脱スル虞ガアルカラ、限月ヲ短縮シタト云フ風ニ私受取レマシタガ、何人ガサウ云フコトヲ申シマシタカ存ジマセヌガ、戰爭ノ愈々熑ミマシタノハ……即チ講和條約批准寄託ハ大正八年、千九百十九年ノ冬デアリマス、即チ戰爭直後ト申セバ大正九年ノコトデアリマス、我東京ノ兜町ノ相場ガ下落シタノハ大正九年ノ三月十五日デアルト私ハ記憶シテ居リマス、再度ノ下落ガ四月十五日デアリマシタ、ソレカラモ非常ナ混亂狀態ヲ兜町ハ續ケテ居ル、寧ロ我ガ經濟界ガ盛ニ混亂ノ域ニ陥タト云フコトハ是ハ爭フベカラザル事實、デアリマス、何故ニ大正十一年ガ……下落ノ後二年經ッタ大正十一年ガ非常ナ好景氣ノ時代デアッタ、取引所ガ餘リ活躍シ過ギルカラ抑制シナケレバナラヌト云フ時期、デアッタト云フコトハ、何處ノ曆ニアルカ私ハ分リマセヌノデアリマス、是ハ全然事實デアリマセヌ、ソレハサウヂヤナイ、農商務當局トシテハ限月問題ヲ何トカシャウト云フコトハ長イ問題デアッテ、色々研究ニ研究ヲ重ねタ結果、大正十一年ニ是ガ提出サレタト云フノガ歴史デアル、サウ云フ歴史ヲ有ツテ居ル此限月問題ヲ元ヘ還サウトスルノデ、茲ニ萬已ムヲ得ザル理由ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、所ガ其理由ハ一切聽クコトガ出來ナイ、成程色々理由ハ文書デ承知イタシマシタ私ハ不幸ニシテ先頃來他ノ特別委員會ノ多忙ノ爲ニ、此問題ノ特別委員會ヲ傍聴スル機會モ得マセヌデゴザイマシタカラ、極ク詳シイコトハ存ジマセヌケレドモ、書面デハ此贊成ノ理由ヲ一通り見マシタ、澤山ニ理由ガアリマシタ、必シモ其一ヲ私ハ否定ハ致シマセヌ、併ナガラ又此場合ニ其一ヲ此議場ニ於テ批評シャウトハ思ヒマセヌ、ソレハ何故カト申シマストドウモ現在ノ制度デハ誠ニ苦シクテ困ルト云フコトガ結局アリマス、若シ取引所ヲ勝手ニサセヤウト云フナラバ取引所法ハ要ラナイ、全國到ル所デ取引シテモ宜イト云フコトナラ要ラナイ、問題ハ苦シサノ程度デガ當リ前ナシダ、苦シクスル爲ニ取引所ノ制度ト云フモノハ設ケテアルノデナケレバナラナイ、所ガ二箇月ヲ一箇月ニシテモ苦シサハ忍ベルト言フカラ、述ベテアル、私ニ申サセマスト此取引所ニ對スル制限ト云フモノハ苦シイノ

ハシムレバ此道ニ關係ノ有ル人ガ今少シ我慢ヲスルト、必ズ此苦シサニ憤レテ來ルトスウ思フノデアリマス、併シ私ハ此道ノコトヲ自分自身デハ何モ知リマセヌカラ、私ノ知リ得ナイ範圍ニ於テドウ云フ苦シイコトガアルカ私ノ干與スル限りデハアリマセヌ、唯、大體ニ於テ取引所ト云フモノノ性質カラ申スト、相當ニ苦シクナルノガ當然デ、私ハ曾テ「取引所ト遊廓」ト云フ短イ「エツセー」ヲ公表シタコトガアリマス、比較シタモノガチヨット奇妙ナノデ友人カラ忠告ヲ受ケマシタガ、實ハ其内容ハ非常ナ私トシテハ眞面目ナ問題デアル、人慾ノ制スベカラザルコトハ……絕對ニ制スベカラザルコトハ是ハ已ムヲ得ヌノデアル、ソレガ爲ニ一方ニ於テ遊廓ヲ設ケ、一方ニ於テ取引所ヲ設ケルト云フコトハ是ハ仕方ガナイ、尤モ取引所ト遊廓ト比ベマスト取引所關係ノ人ニ怒ラレルカ知レスガ、是ハ厭ヤナ意味ニアラズシテ非常ナ眞面目ノ意味デサウ思フ、併ナガラ是ハ人慾ヲ満タス爲デハアリマセヌ、其外ニ大キナ目的ガアッテ、遊廓ニハ衛生ヲ完全ニ行フ目的ガアリ、取引所ニハ公定相場ヲ作ル大キナル目的ガアル、唯人慾ヲ満タスダケトハ申シマセヌガ、此人慾ヲ満タス爲ニ已ムヲ得ズ出來テ居ルト云フコトハ、此二ツノ重要ナル著眼點デアルト、私ハ固ク信ジテ居リマス、ソコデ已ムヲ得ズ設ケル以上ハ、設立ノ地域モ區域モ制限ヲシ、サウシテ今度其廊内ニ入ッタラ餘リ小世話ヲ焼カナイヤウニシナケレバ、取引所ノ目的ハ達シナイト云フノガ私ノ取引所ニ對スル根本ノ觀念デアリマス、デ限月ノ如キコトハ其全體ノ取引所ト云フモノノ上カラ是ダケノ制限ヲシナケレバナラヌト云フコトカラ出來タノデ、其出來タ制限ノ範圍デ苦シイノガ當然デ、是ガ苦シクナカッタナラバ困ルノデ、故ニ私ハ此提案者及此賛成者ガ縷々トシテ御説明ニナッタ數十箇條ノ一々ニ付テ批判シヤウトハ考ヘマセヌ、又私ハ批判スル必要ハナインデ、私ハ朝令暮改ト云フコトガイカヌト云フコトヲ第一ノ反対ノ理由ニ致シマス、特別委員會ニ於引所當事者及此取引關係者、斯ウ云フ人ゝガ熱心ニ之ヲ殆ド例外ナク主張シテ居ルヤウデアリマス、御斷リ致シマスガ、之ニ賛成スル人ガ全部サウデアルト云フ其逆ノ「ロジック」ハ私ハ用キルノデハアリマセヌ、特別委員會ニ於テ贊成ヲセラレタ諸君ガ何モサウデアルト、斯ウ申スノデハアリマセヌ、唯外部カラ或ハ之ヲ提案シ、或ハ之ニ賛成スル意見ヲ發表シテ來ルモノハ、取引所當事者及ビ取引關係者デアリマス、他人ノ心事ヲ忖度スルコトハ成ルベク避クベキコトデアリマス、併ナガラ特定ノ人ヲ指サズシテ、或一定ノ範圍

ノ人ニ對シテ批評ヲスルコトハ此場合免レヌト思ヒマスカラ、ドウゾ御許シヲ願ヒタイ、是等ノ人ゝハ何ヲ目的ニシテ此改正ヲ希望スルカ、極メテ簡單デアリマス、取引所ヲ賑ヤカニシヤウト云フコトデアル、サウシテ取引關係者ハ成ルタケ自由ニ活躍ヲシテ先達テ配ツテ來マシタ或文書ノ中ニハ、何號ト申シマスカ、大キナ活字デ以テ、是ガ通レバ春相場ハ爆發スルト言ッテ得意ニナッテ引札ヲ……引札デハアリマセヌガ、趣意書ヲ寄越シタ人モアリマシタ、是ガモウ詐ラザル心事デアルト私ハ思フ、民心ノ歸向動モスレバ其方途……其所ヲ誤ラムトスル虞ノアル今日ニ於テ、ソレダケノ點カラ申シマシテモ、私ハ不健全ナル、好奇心ヲ煽ルガ如キ立法ハ最モ慎マナケレバナラヌト信ズル者デアリマス、本來取引所當事者及取引關係者、此人達ハドウ云フ一體考ヘデアルノデアリマセウ、此二箇月限月ト云フコトハ大正十一年ニ始タノデアリマス、大正十一年ニ是ガ議會ニ政府カラ提案ニナッタ時、何故ニ反対ヲシナカッタノデアリマセウカ、輕イ反対ノ響ハ私ノ耳ニモ這入りマシタ、先程モ申上ゲマシタ通リニ私ハ當時ノ改正法律案ノ特別委員デアリマシタケレドモ、熱心ナ反対ハ當時曾テ私ノ聞キ及バナカッタ所デアリマス、是モ他人ノ心事ヲ忖度シテ相濟ミマセヌケレドモ、私ノ推測スル所ニ依レバ、當時ハ第一短期取引ト云フモノヲ新ニ設ケラレ、種々投機ノ機會ヲ增加スル制度ガ立テラレタノデアリマス、其傍ラニ此限月ヲ三箇月カラ二箇月ニ縮メルト云フコトノ制度ガ一緒ニ組マレテ出サレタノデ、若シ限月問題ニ猛烈ニ反対シテアノ時ノ法律案が潰レマシタナラバ、折角投機ノ機會ニナル……機會ヲ多クスルコトニナル他ノ點も同時ニ潰レナケレバナラヌ、詰リ共倒レニナラナケレバナラヌ、ソレデ當時取引所當事者取引關係者ハ盛ニ其法律案ノ通過ヲ希望シタモノデアリマス、私共モ色ゝ其說ヲ聽カサレマシタ、今日法律ノ施行後僅ニ四年、而モ變態經濟ノ時代ヲ經テ來タ……變態ノ經濟ノ時代デアッタ僅カノ四年ヲ經テ來タ今日ニ、突如トシテ之ヲ改正シナケレバナラヌト云フコトガアルナラバ、而シテソレガ眞理デアルナラバ、何故ニ大正十一年ニ猛然トシテ之ニ反対シナカッタノデアリマセウ、其時ハ過去ニ經驗ガナカッタカラサウハ思ハナカッタガ、今日デハ經驗ヲ積ンダカラ改正シナケレバナラヌト若シ言フナラバ、僅カノ四年、而モ變態經濟ノ四年ガ何ノ經驗ニナルノデアリマスカ、而モ限月問題ハ古イ昔カラヤカマシキ經驗ヲ積マレタ問題デアルコトヲ茲デ忘レテハナラヌ、此以上心事ヲ忖度スルコトハ避ケマスケレドモ、賢明ナル同

僚諸君ハ御了解下サルコトト思フノデアリマス、斯ノ如キ動機ノ不純ナル法
律案ヲ茲ニ議スルト云フコトヲ私ハ甚ダ好マナイゾデアリマス、此問題ノ由ツ
テ來ル一番ノ理由ハ、近來不景氣デアルト云フコトデアラウト思フ、詰リ取
組高ガドウモ少クテ賑カデナイト云フコトニアルデアラウト思フ、先刻モ特
別委員長ノ御説明ノ中ニ此限月ガ三箇月カラ二箇月ニナツカラ、アノ場ガ寂
レタト云フ風ニドナタカガ述ベラレタト云フコトノ御報告ガアリマシタガ、
私ノ見ル所デハソレハサウデナクテ、根本ハ全體ノ不景氣ガ取引所ノ場ニ反
映ヲシテ居ルノデアル、斯ウ云フ風ニドウシテモ思ハレル、ソレハ二箇月ヲ三
箇月ニスレバ場ガ賑ヤカニナルコトハ當然デ、或當業者ノ趣意書ニ春ノ相場
ノ爆發ト云フコトヲ大キナ字デ書イテアルノハ即チソレナンンデ、ソレナラバ
何モ二箇月ヲ三箇月ニ、タッタ一箇月值切ラヌデ、之ヲ四箇月ニシ半年ニシ、
一年ニスレバ、ソレダケ場ハ繁昌スルノハ當然デアリマス、ケレドモソレデ
ハ困ル、三百六十五日、一年中種々ナ機會ヲ捉ヘテ……

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

サウシテ思惑ヲ盛ニ長イ期間ニ亘ルテヤルト云フコトガ困ルカラ制限シテアルノデアリマス、其制限ガ苦シイノハ當然デアリマス、唯問題ハ程度、程度デスガ、私共ハ矢張リ大正十一年ニ政府ガ斷乎トシテ此改正ヲシタコトノ程度ガ適當デアラウ、少クトモ……少クトモ茲十數年此制度ノ下ニ經驗ヲシテサウシテ愈々イケナカッタ時ハソレハ其時ノ又問題デアリマス、僅カ四年ノコトデ以テ、斯ウ云フ問題ヲ出スト云フコトハ誠ニ遺憾千萬、政府ハ本案ニ對マシタ通リニ是ガ一時ニ煮エ湧イタ問題ナラバ免モ角、長イ問題デアリマス、之ニ對シテ何カ意見ガナクテハナラヌ、又商工大臣ハ兩院ヲ通過シタ以上ハトスウ云フコトヲ仰セラレテ居ル、通過シタ時ノコトヲ私ハ伺テ居ルノデハナイ、今通過スルカセヌカト云フ此場合ニ於テ、政府ハ之ニ對シテ一定ノ所見ガ無クテハナラヌ、察シテ吳レト仰セニナリマスケレドモ、察スルトカ察セヌトカ云フ問題ハ、是ハ茲ニ至ツテ申上ゲル筋デハアリマセヌ、我ハ此法律ニ贊否ヲ表スル時ニ、察シタカラ贊成シマシタ、察シタカラ反対シマシタト云ツテ投票スルコトハ議場ノ規則ガ許シマセヌ、察スルコトハ致シマセヌガ、併シ察シロト云フ御話デ察スルト、衆議院ニ於テ政府ノ方ミノ答辯ノ真意ガ、併即チ不賛成デアルト云フコトガ政府ノ眞意デアルト私ハ思ハザルヲ得ヌ、貴

箇月ニスレバ場ガ賑ヤカニナルコトハ當然デ、或當業者ノ趣意書ニ春ノ相場

ノ諸君ニ反對ニ御投票下サラムコトヲ

族院ニ參リマシテカラハ、衆議院ガ通過イタシタカラ少シ御言葉ガ軟カクナツ
テ居ルノデアッテ、矢張リ依然トシテ政府ノ心事ハ御好ミニナラナイモノデア
ルト私ハ思フノデアリマス、併シ私ハ先刻質問イタシマシテ、皆様御聽キノ
通リデ、大概御理解下スッタコトト思ッテ、私ハ深ク申シマセヌガ、斯カル問
題ニ對シテ政府ガ態度ヲ明カニサレナイト云フコトニ付テハ、私深ク遺憾ノ
意ヲ表スル者デアリマス、要スルニ本案ハ投機ノ機會ヲ多クスル目的ヲ有ス
ルモノデアッテ、其他ニ何等ノ目的ガナイト、私ハ堅ク信ジマス、ドウゾ満場
ノ諸君ニ反対ニ御投票下サラムコトヲ切望イタシマス

〔伯爵奥平昌恭君演壇ニ登ル〕

○伯爵奥平昌恭君 只今上程ニ相成リマシタ取引所法中改正法律案ニ付キマ
シテ、上山君ヨリ御反対ノ意見ガゴザイマシタガ、ソレニ付キマシテ私ガ賛成
意見ヲ述ベマスル中ニ附加ヘマシテ數點申上ゲタイト思ヒマスノデゴザイマ
ス、私ハ其改正案ニ賛成ノ意見ヲ表スル一人デアリマス、抑、大正十一年ニ
於キマスル取引所法ノ改正ハ私ガ申上ゲルマデモナク、皆様御承知ノ通リニ
財界ノ最高調時代デアリマシタ大正八九年ノ交ニ設ケラレマシタ、取引所制
度調査會ノ成案ニ基イタモノデアルト云フコトハ、私ガ申上ゲマセヌデモ、改
正當時ノ當局ガ聲明イタシテ居ルノデゴザイマス、今日ヨリ私モ之ヲ追想イ
タシマスレバ、當時皆様御承知ノ通リ千載未會有ノ好景氣時代デゴザイマシ
テ投機熱ノ旺盛デアッタコトハ國ノ内外ヲ問ハズ、實ニ是ハ世界的デアッタノ
デアリマス、單ニ我國ノミデ申シマシテモ、船舶デアルトカ綿絲、綿布、小麥、
銅、鐵等ヲ初メト致シマシテ、澱粉、麻袋等ニ至リスマダ相場ノ昇騰ニ次グ
ニ昇騰ヲ以テ致シマシテ、是等ノ貨物ノ取引ハ先物ニ次グニ先物ヲ以テ致シ
マシテ、世ヲ舉ゲマシテ投機熱ニ浮カサレタノデアリマス、尙ホ是等ノ熱ニ浮
カサレタ感ガアリマシタコトハ私ガ申スマデモアリマセヌ、皆サンノ御記憶
ニ新タル所デゴザイマス、從ツテ此投機熱ニ浮サレタト云フコトニ付キマシ
テ、有價證券ノ取引ガ殊ニ甚シカッタ云フヤウニ皆サンモ御記憶ニナルノ
デアリマスルガ、是ハ毎日ノ新聞ノ經濟欄ヲ御覽ニナリマシタナラバ、是ハ當
時ノ單リ株式バカリデナク船舶、綿絲、綿布、小麥、銅、鐵、澱粉、麻袋ニ至ルマ
デ取引ガゴザイマシテ、相場ノ高低表ガ載ツテ居ツタノデアリマス、併ナガラ
當時投機ノ節制抑壓ガ世間一般ノ聲デゴザイマシテ其爲ニ有價證券ノ限月ガ
二箇月ニ短縮相成ツタコトハ皆サン御承知ノ通リノ次第デゴザイマス、儲テ

右ノ調査會ガ設置サレマシタ時ヨリ改正現行法案ノ實施サレマシテ四年デゴザイマス、調査會ガ設置セラレマシテ其調査會ノ調査ニ基キマシタ、現行法ノ出マスル此調査會設立當時ヨリ既ニ十年經過イタシテ居ルノデゴザイマス、彼ノ財界熱狂時代ハ先程上山君ノ申サレマシタ通リニ、大正九年三月ノ十五日ヲ堺致シテ居タト私ハ記憶シテ居リマス、ソレ以來急轉直下ヲ致シマシテ、各貨物及株式ノ價格ノ急轉直下ヲ致シテ、相場ノ大暴落ヲ來タシマシテ、延イテ關東ノ大震災ニ際シマシテ、經濟界ハ愈々益々不況ニ陥リマシタ、搗テ、加ヘマシテ一昨年ノ金融動亂ヲ招キマシテ、其結果財界ハ益々沈衰ノ極ニ達シタノデアリマス、取引所法ノ改正當時ト比ベマスト云フト、私ハ當時大正十一年頃ハ尙ホ未ダ財界ハ好景氣ノ餘燼ガ盛シノ時デアリマシテ、是ハ二箇月ニ致シマシテ、投機熱ヲ抑壓スルガ適當デアッタ云フコトニ付キマシテモ考へハ致シタノデアリマスルガ、併ナガラ今日ニ於キマシテ、之ヲ見マスルト云フトドウモ取引ノ實情ニ於テ、毎月々々ノ勘定ニドウモ合ハナイ點ガアルノデ、是ハ如何ナルモノデアルカト云フコトニ付キマシテモ考へテ居リマシタ際ニ、殊ニ大正十一年ノ財界ト今日ノ財界ト比較イタシマスレバ、實ニ兩極端ノ而モ皮肉ノ對照デゴザイマス、戰時ノ最高潮時期ニ出來マシタ立法ガ、果シテ財界ノ最モ沈衰シタル今日ニ適應スルノデゴザイマセウカ、世界何レノ國ニ於キマシテモ、戰時中ノ立法ハ戰後ニ於キマシテソレハ改廢ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、先程上山君ヨリ之ヲ改廢スルコトハ朝令暮改ナリト云フ御話ガゴザイマシタケレドモ、戰時中ニ世界各國ニ於キマシテ、立法セラレタモノデ戰後經濟界ニ合ハナイモノハ、ソレゾレ改廢シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ルノデゴザイマス、世界ノ大勢ニ後レルコトハ、我國ノ財界ニ取ツテ甚ダ不利益ト言ハナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、各國ハ各適應シテ居ル所ノ經濟制度ヲ樹立サレテ居ルト私ハ考ヘテトハ、我國ノ財界ニ取ツテ甚ダ不利益ト言ハナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、殊ニ賣買方法ノ如キ商業ノ實情ニ立脚スベキモノデアリマシテ、假令一時ノ權道ト致シマシテ、是ニ制限ヲ加ヘテモ法律上不動ノモノト

「ノウ〜」ト呼フ者アリ

五十年來ノ習慣デゴザイマス、斯ノ如キ歴史アル習慣ヲ千載一遇ノ財界熱狂

時代ニ、之ヲ對象ト致シマシテ、之ヲ短縮シ、今後永キニ瓦リマシテ恐ラク財界ノ沈衰ノ……平時ノ狀態ニ、之ヲ強行シヤウト云フコトハ、財界ノ爲ニ當ヲ得ナイヤウニ私ハ考ヘルノデゴザイマス、次ニ改正當時ニ於キマシテ、政府ノ聲明サレタル如ク限月ノ短縮ガ果シテ投機ノ抑制ニ效果ガアッタカト云スルト云フコトガ甚ダ私ハ薄イモノデアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ世界的ニ見マシテモ、紐育ノ株式取引所ハ大部分翌日渡ノモノデアルト云フコトデゴザイマスルガ、賣買期限ハ申ス迄モナク世界中デ一番短延ラレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、紐育ノ如キ世界第一ノ投機取引ガ行ハレテ居ルト云フテモ宜シイノデゴザイマスガ、又最モ長キ期限ヲ有シテ居ル所ノ柏林ノ株式取引所及ビ巴里ノ株式取引所ニ於キマシテハ今日世界中デ最モ投機取引ガ沈衰シテ居ルヤウニ私ハ聞イテ居ルノデゴザイマス、論ヨリ證據ニ限月ノ長短デハナイト云フコトノ目前ノ事實ガ私ハ茲ニ在ルト思フノデゴザイマス、又之ヲ國內的ニ觀察ヲ致シマシテモ、限月ノ短キ短期清算取引ガ却ツテ長期ノ清算取引ヨリモ、投機取引ノ分子ガ多イト云フコトハ、衆議院ニ於キマスル反對演説ヲサレマシタ田中代議士ノ引用シテ居ル受渡ノソレハ改廢ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、要スルニ投機取引ノ助長ハ賣買取引ノ期限ニ關係スルト云フヨリモ、寧ロ經濟界ノ事情ニ基クト云フ風ニ解釋スルノガ私ハ至當デハナイカト思フノデゴザイマス、況ヤ二箇月ノ取引ヲ三箇月ニ致シマシテモ今日ノ財界ニ於キマシテ、殊ニ著シキ投機ノ助長ト相成ルト云フ……惹キ起スト云フコトニ付キマシテハ私共左様ニハ考ヘ得ラレナインデゴザイマス、又輿論ノ上ヨリ致シマシテモ、我ガ商工界ノ代表機關デアル全國商工會議所聯合會ハ昨年既ニ三箇月ニ限月ノ復舊ノ決議ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、又取引所上場ノ有力ナル建株關係者モ亦證券ノ流通上限月ノ復舊ヲ希望シテ居ルト云フコトモ聞イテ居リマス、又最近ニ於キマスル學者ノ論調ヲ見マシテモ、新進ノ學者ハ概々當事者ノ自治ニ一任スベシト云フ論ガアルヤウニ私ハ思フノデゴザイマス、翻ツテ我國ノ財界ノ現狀ヲ見マスルノニ有價證券ノ價格ハ券面額ハ實ニ三百億以上ヲ超エテ居ルノデアリマシテ、我ガ國富上極メテ重要ナ地位ヲ占メテ居リマス

コトハ私ガ申ス迄モナイコトデゴザイマス、此有價證券ガ金融上申ス迄モナ
ク擔保ノ目的物ト相成リ、又資金ガ是等有價證券ニ投下サレマシテ、所謂證
券ノ資本化、資金ノ證券化ト云フコトガ遺憾ナク表現サレテ居ルノデアリマ
スルカラ、其流通轉々ヲ圓滑ナラシムルコトハ我ガ財界ノ爲ニ極メテ緊要ナ
コトデアルバカリデハナク、沈衰シテ居ル所ノ目下ノ財界ヲ振興スルニ付キ
マシテモ亦一策デアラウト云フコトヲ考ヘマシテ、此點ヨリ見マシテモ私ハ
限月ノ復舊ハ此際必要デアルト云フコトニ考ヘテ居ルモノデゴザイマス、先
程三箇月、四箇月、半箇年ニシテ宜シイデハナイカト云フ御議論モゴザイマ
シタガ、是ハ私ガ申シマスル通リニ三箇月ノ取引ト云フモノハ我國ノ經濟界、
官界幾多ノ事情ト融和シテ居リマシテ、サウシテ五十年ノ歴史ヲ有ッテ居ルモ
ノデアリマスルカラ、此歷史上カラ見マシテモ、亦取引ノ慣習上カラ見マシ
テモ、私ハ矢張リ三箇月ノ方ガ適當デアラウト云フコトニ考ヲ有ッテ居ル一
人デゴザイマス、要スルニ私ト致シマシテハ、斯様ニ沈衰シテ居ル財界ニ於
キマシテ、二箇月ヲ三箇月ニ致シマシテ見マシテモ、短期取引ニ既ニ弊害ア
リト云フコトヲ商工大臣モ先程上山君ノ質問ニ對シテ答ヘラレテ居ルノデゴ
ザイマス、況ヤ二箇月ヲ三箇月ニ致シマシテモ、左様ニ烈シク投機熱ヲ煽ル
ト云フ危險ハ私ハナイモノト信ジマシテ、本案ニ賛成ヲ致シテ居ル次第デゴ
ザイマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 志村源太郎君ノ登壇ヲ望ミマス

〔志村源太郎君演壇ニ登ル〕

○志村源太郎君 最早時刻モ移リマシタ只今ニ於キマシテ、諸君ヲ御煩シス
ルコトハ誠ニ恐縮ニ存ジマスルガ、先刻長ク農商務省ニ居ラレマシタ上山君
ヨリ、此取引所法ノ沿革ニ付テ御話ノアリマシタ中ニ、故平田東助伯、木内
重四郎氏其他ノ先人諸氏ガ、此事柄ニ付キマシテ大ニ苦心セラレマシタコト
ヲ想起シマスト、私ト致シマシテハ此儘ニ默過スルコトハ出來マセヌ爲ニ、
已ムヲ得ズ此壇上ヲ汚シマシタ次第デゴザイマス、何卒御許シヲ願ヒタク存
ジマス、此問題ハ取引所ノ中ノ一部分、株式取引、株券ノ取引ニ限ラレタ問
題デアツテ、而シテ其株券ノ受渡期限若クハ賣買ノ期限、同ジコトデアリマス
ルガ其期限ノ問題デアリマス、二箇月デ賣買スルカ三箇月デ賣買スルカ、二
箇月デ賣渡スカ三箇月デ賣買スルカト云フ問題デアリマスカラ、一見誠ニ小
サイ問題ノヤウデゴザイマス、併ナガラ經濟界ノ基調、經濟行爲ノ全體ノ効

キカラ考ヘマスルト、其關係スル所極メテ重大ト思フノデゴザイマス、我ガ
株券取引ニ於キマシテ、投機ニ便宜ヲ與ヘルカ、實物取引ニ便宜ヲ與ヘルカ
寧ロ實物取引ヲ根據トシタル所ノ取引ヲ、我國ノ經濟界ニ於キマシテハ専ラ
スルノデアリマス、從ツテ社會ノ道德觀念、社會ノ經濟觀念、社會正義ノ觀念
ノ問題ト考ヘルノデアリマス、茲ニ於テ問題ハ頗ル重大ニナルト存ズルノデ
アリマス、蓋シ先輩ノ諸君ガ非常ニ此問題ニ考慮イタシマシタノハ、矢張リ
其關係スル所斯ノ如キモノガアルト云フコトカラシテ、株式取引所ノ方ニニ
ハ頗ル迷惑デアルニ拘ラズ大ニ此制限ニ苦心セラレタモノト思ヒマス、株式
取引ハ、御承知ノ通リ株券ハ既ニ出來テ居ルモノノ取引デアリマシテ、他ノ
米トカ綿絲トカ云フ物産ノ取引トハ違フノデアリマス、是ハ現在出來テ居リ
マスル品物ノ外ニ、更ニ又是カラ先ニ造ラムトスル物ノ取引モ致スノデアリ
マス、故ニ其期限ハ米ニ於テハ三箇月、綿絲等ニ於テハ六箇月、生糸等ニ於テ
モ六箇月ノ先物ノ賣買ヲ許シテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ現在
ニアリマスモノ以外ニ將來造ラムトスル物ノ取引ヲモ取引所ニ於テ許スノガ
價格ノ公正ヲ得ル上ニ於テ必要ト考ヘラレル爲ニ、斯様ナ長イ期間ヲ與ヘラ
レテアルノデアリマス、然ルニ株券ハ將來造ラウト云フモノデハナイ、現ニ存
立シテ居ル所ノ株券若クハ公債證書等ノ有價證券ノ取引デアリマスルカラ、
是ハサウ長イ期限ヲ設定スル必要ハ斷ジテナイノデアリマス、米ハ三箇月ヲ
必要ト致スノデゴザイマセウ、是カラ先ニ出來マス所ノ米ノ取引モ取引ノ範
圍ニ入レルト云フコトガ米ノ價格ヲ安定スルニ必要デアリマス、蠶絲、生絲、
是ノ如キハ全國ニ於テ作ルノデアリマスカラ、將來六箇月内ニ作ル所ノ品物
迄モ取引範圍内ニ入レテ初メテ本當ノ比較的平均ノ價格ガ得ラレルノデアリ
マス、併シ株券ニ於テハ是カラ造ラウト云フ會社ノ株券ヲ取引スル必要ハナ
イノデアリマシテ、而モ取引所ニ於キマシテハ、全國ノ内比較的確實ナル會
社ノ株券ヲ選定シテ、ソレヲ所謂上場……場ニ掛ケテ居ルノデアリマスカラ
最モ確實ニ出來テ居ル所ノ品物ノ賣買デアリマスカラ、是ハ長クスル必要ハ
ナイト考ヘルノデアリマス、物ノ性質ガ之ヲ然ラシメテ居ルノデアリマス、
故ニ先刻來度テ御話ノアリマシタ大正十一年ノ委員會ニ於テモ亦其時分ノ論
議ニ於テモ、或ハ二箇月ガ既ニ長過ギル、一箇月デ澤山デアル、外國ノ如ク
二週間デ十分デアル、或ハ一週間デモ宜シイ、博識ナル奥平伯爵ガ紐育ノ取

引ノ例ヲ只今御擧ゲニナッテ、翌日取引ダト仰^ツシヤル、斯ノ如ク短ク外國デ
ハ致シテ居ル、敢テ外國ノ例ヲ珍重スルノデハアリマセヌガ、何ノ爲メ外國
社会公正ノ觀念カラシテ取引所ヲ經營シテ居ルモノト考ヘルヨリ外ナイノデ
アリマス、而シテ御承知ノ通り又先刻來度^ミ御引合ヒニナリマシタ通り、我
國ハ明治三十六年以來即チ平田東助伯ガ農商務大臣デアラレテ此計畫ヲ實行
シヤウトシタ時以來問題ニナッテ爾後……其時平田氏ハ失敗サレマシタ、株
式取引所ノ猛烈ナ反對ニ遭^ツテ失敗セラレマシタ、而シテ又世間ノ輿論モ左程
ニ認メラレナカッタ爲ニ、遂ニ農商務大臣ヲ其爲ニ辭職セラレタノデアリマ
ス、左様ニ明治三十六年カラ約二十年ノ歲月ヲ經過シタ大正十一年ニ至^ツテ、
此度改正シヤウト云フ所ノ改正案ガ成立^ツタノデアリマス、是ハ何デアルカ、
段々ト世間ノ輿論ガ此株式取引所ト云フモノニ付テノ考ヘガ進ンデ參リマシ
テ、而モ大正九年ノ世界大戰後ノ好景氣ノ反動ヲ受ケテ、經濟社會ノ人ハ大
イニ覺醒イタシマシテ、サウシテ大正十一年ニ至^ツテ遂ニ株式取引所ノ如キモ
三箇月ヲ二箇月ニ縮メタ結果ニ相成^ツタノデアリマス、然ルニ昭和二年、一昨
年ノ恐慌ヲ經タル今日ニ於テ之ヲ再び逆轉^ツシテ又元ノ長期取引的ノ比較的
投機ノ取引ノシ易イ方法ニ還ルト云フ事柄ハ、大正十一年時分ノ經濟社會ニ
對シテ實ニ汗顏ノ至リト存ズルノデアリマス、我ムハドウカ致シマシテ此經
濟社會ノ効キト云フモノハ段々ト進歩向上ヲ致シマシテ、社會道德ノ觀念ニ
段々近ヅキ、世界ノ共通ノ取引方法ニ近寄^ツテ行ク方ニ進マナケレバナラヌト
存ズルノデアリマス、三箇月制度ヲ二箇月制度ニシタト云フモノハ畢竟其考
ヘガ本ニナッテ來タノデアラウト思フノデアリマス、然ルニ又茲ニ至^ツテ元ノ
三箇月制度ニ復舊セヤウトスルノハ是レ實ニ退歩ト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、啻ニ經濟社會ノ人心ノ退歩ノミナラズ、社會道德觀念ノ退歩ト私ハ考ヘ
ルノデアリマス、實物取引ヲ棄テ、投機取引ニ便宜ナル方法ニ移ラウトスル
ト云フ事柄ハ、是ハ實ニ憂フベキ現象ト考ヘルノデアリマス、近來單ニ經濟
界ノミデゴザイマセヌ、政治上ニ於キマシテモ、宗教上ニ於キマシテモ動モ
スレバ逆轉^ツノ形勢ガ頻々トシテ現ハレルノデアリマス、是ハ實ニ我ム現代ニ
居リマスル者ノ痛歎措ク能ハザル所デアリマス、私ハ此株式取引ノ限月問題
ハ、ソレ自身一部ノ人ノ利害ニ關係スル所實ニ多イカト思ヒマスルカラ、餘

リ斯様ナ事柄ニ喙ヲ挿ムコトハ好ミマセヌノデアリマスルガ、併シ社會的、我々日本國民ノ經濟的及ビ道徳的進歩ノ上カラ考ヘマスルト、ドウシテモ一ト云フ御話モアリマス、併シ此株券ト云フモノノ出來タノハ明治維新後ノ話デアリマス、有價證券ナルモノガ斯様ニ澤山ニ出來マシタノハ最近ノ事柄デアリマシテ、其所謂慣習ナルモノハ、商習慣ナルモノハ明治維新後ノコトデアリマス、即チ五六十年ノコトデアリマス、而シテ此株券ノ三箇月制度ト云フモノハ、私ノ記憶シマス所デハ、米ノ三箇月制度ニ依ッタモノト思フノデアリマス、一番先キニ米商會社ナルモノガ出來テ、米ノ取引ガ出來タノデアリマス、我國ハ米ノ產地デアリマスルカラ昔カラ米ノ取引ト云フコトニ付テハ多年ノ機關ガゴザイマシタ、ソコデ維新後久シカラズシテ米ノ取引所ガ出來マシテ、ソレハ三箇月制度デヤツタノデアリマス、其後株式取引所ガ出來テ矢張リ無意識ニ三箇月制度ヲ採ッタノデアリマス、然ルニ其當時外國デハモットマシテ、短い期間ノ取引ヲ致シテ居ツタノガ、不幸ニシテ其事柄ヲ研究イタサズシテ、唯現在ニアル所ノ米商會社ノ取引制度ノ限月制度ニ倣ッタモノデアリマス、ソレニ過ギナインデアリマス、段々研究シテ見ルト左程ノ長イ期間ヲ要シナイ、株券、有價證券ト云フモノノ取引ト云フモノハ……此運搬ト云フモノハ小包郵便デ送ッテモ、銀行ノ荷爲替デ送ッテモ左様ナ長イ期間ヲ要シナイ、株券、有價證券ト云フモノノ取引ト云フモノハ……此運搬ト云フ日本國中ヘ之ヲ運搬イタスノニ米ノ如キモ今日デハモット以前ヨリハ短い期間デ宜イ、運搬上ハ宜イノデアリマス、米ヲ敢テ私ハ三箇月ヲ止メルト云フノデハゴザイマセヌガ、其當時一番初メニ三箇月ヲ定メタ時分ヨリハ遙ニ汽船ノ便モ、汽車ノ便モ其他ノ便モ非常ニ増シタノデアリマスルカラ、強ヒテ日本ガ何時迄モ三箇月制度ヲ米ニモ維持シナケレバナラスト云フコトハナカラウト考ヘマス、是モ段々實物取引ヲ基調トシマスル所ノ諸外國ノ制度ト段々近寄ツテ行ッテ、ント差支ナイモノト自分ハ考ヘルノデアリマス、此爲ニ經濟社會ニ不便ヲ來スナラバソレハ考ヘナケレバナリマセヌガ、何等ノ不便ヲ來サヌト思フノデアリマス、先刻來當業者ガ取引ガ大層少イ、斯ウ云フ御話ガアリマシタガ、是ハ一般ニ總テノ取引ガ沈衰イタシテ居ルノデアリマス、非常ニ短イモノデアルニ拘ラズ、此頃新聞紙ノ傳ヘル所デハ非常ナ大活況ヲ

呈シテ居ル、其爲ニ準備銀行其他當局ガ之ヲ抑ヘムトシテ非常ニ骨折ッテ居ルニモ拘ラズ、依然トシテ非常ナ活況ヲ呈シテ居ルノデアリマスルガ、詰リ限月ノ長短ト云フモノハ、決シテ此經濟社會ノ隆盛ト云フモノニ影響スベキ取引ハ不便ヲ蒙リマス、三箇月ノ期限デアルナラバ此三月ノ今日ニ於テ株券ヲ買ヒマシテ、三箇月先ノ六月渡シノ株券ヲ買付ケマシテ、サウシテ其間ニ其三箇月ノ長イ間ニ株券ガ騰貴イタシマシタナラバ、私ハ來月ニ於テ之ヲ手仕舞ヲ致シテ、所謂買戻ヲ致シマシテ、サウシテ其差金ヲ取ルト云フコトガ出來マス、若クハ六月ノ初ニ於テモソレガ試ミラレマス、ソレガ二箇月デアレバ其差金ヲ取ル斯間ガ大層短縮イタシマスルカラ、投機ハ不便デアリマス、併シ投機ハ是ハ本統ノ取引ノ原則ト致スベキモノデナイト思ヒマス、斯ウ云株式取引所其他ニ於テ投機取引ヲ絶滅スルト云フコトハ是ハ亦考ヘ物デアリマス、大體ニ於テ實物取引ヲ本ト致シマシテ、サウシテ其調合ニ投機ノ取引ヲサセルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ザルコトト存ジマス、財界ニ、經濟界ニ見込賣買ト云フコトノ存在シマスル以上ハ、投機ト云フ期間ヲ相當ニ與ヘルト云フコトハ必要デアリマスルガ、單純ニ實物ニ限ル、現物ノ賣買ノミニ限ルト云フコトハ、是ハ却ツテ價格ノ高低ヲ得サセマス上ニ意外ナ反對ノ結果ヲ來シマスルカラ、多少ノ投機ノ期限ヲ許シ、多少ノ限月ノ受渡シノ期限ヲ緩メルト云フコトハ必要デアリマスルガ、併シソレハ社會ノ道徳觀念ト段段ト折合ヲ付ケマシテ、其期限ハ相當ニ短縮シ、終ニハ實物ヲ基調、現物ノ取引ヲ基調トスル所ノモノヲ段々ト其分子ヲ多クスルコトニ致サナケレバナラヌト考フルノデアリマス、我國ガ明治三十六年ニ試ミタ計畫ヲ、大正十一年ニ於テ實現シテ、是ハ其方ニ向ヒツ、アルノデアリマス、是カラ段々更ニ進ンデ一箇月ニナリ、半箇月ニナリ、若クハ十日取引ニナルベキ時ガ來ベキモノト私ハ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ茲ニ單純ニ經濟的ノ不況ト云フコトヲ理由ニ致シマシテ、取引所ガ繁昌セヌト云フコトヲ主ナル理由ノヤウニ私ハ伺ヒマスガソレヲ理由トシテ之ヲ再ビ元ニ戻スト云フ事柄ハ、是ハ經濟界ノ運用ノ上カラ申シ、社會道德觀念ノ上カラシテ正ニ退歩ト考ヘルノデアリマス、故ニ此改正案ハ折角特別委員會ノ御審議ノ結果御可決ニナツテ居リマスルガ、私ハ右ノ理由カラシテ是非トモ是ハ元ノ通リ存置シテ置クヤウニ願ヒタイト存ズルノデアリマス、又斯ノ如キ問題ハ當業者ノ自由ニ委

シタラ宜カラウ、斯ウ云フ御考ガ一部ニハアルヤウデアリマス、成程當業者ノ自治ノ觀念ノ發達、其自由ヲ束縛セヌト云フコトハ、他ノ場合ニ於テハ必要ナコトデアリマスルガ、併シ投機的取引ノ混合シマスル所ノ事柄ニ付テハス、株式會社デアリマス、歐米ノハ會員組織デアリマス、即チ歐米ノハ自治的ノ組合デアル、我國ノハ株式會社ガ取引ヲ盛ニ行ハサシテ、其利益ニ依ツテ配當ヲスル營業者デアル、其自治ニ委セルト云フコトハ、營業者ノ欲スル儘ニシャウト云フコトニ流レルノデアリマスルカラ、是ハ外國ノ場合トハ區別シテ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯様ナコトヲ申シテ居リマスレバ餘り長クナリマスルカラ、私ハ斯様ナ意味ヲ以チマシテ、株式取引ノ性質ハ寧ロ短縮シテ、外國ト同ジヤウナ基調ニ進ムベキモノデアルトス様ニ考ヘル、若シ果シテ然ラバ左様ナ狀態ニナリマシタナラバ、日本ノ取引所ハ單ニ上左様ナ長期ヲ必要トシナイ、益々交通運搬ノ制度ノ發達スルト同時ニ此期限ハ寧ロ短縮シテ、外國ト同ジヤウナ基調ニ進ムベキモノデアルトス様ニ考ヘリ、我ム日本人ダケノ取引所デナクナルノデアリマス、外國ノ人モ信賴シテ此取引ニ於テ日本人有價證券ヲ自由ニ賣買スルコトノ傾向ガ生ジヤウト思フノデアリマス、然ルニ依然トシテ元ノ舊慣ヲ墨守シテ、外國ノ取引方法ト違タル制度ヲ何時マデモ維持スルト云フコトハ、我國ガ國際的ニ進歩スル所以デナシト考ヘルノデアリマスルカラ、此經濟ノ發達カラ申シマシテモ、國際的ノ發達ノ上カラ申シマシテモ、國內ノ發達ノ上カラ申シマシテモ、是ハドウ致シマシテモ逆轉スベキモノデナイト考ヘルノデアリマス、論ジテ茲ニ至リマシテ、私ハ中橋商工大臣ノ先刻ノ御答辯ニ對シ甚ダ失望イタス者デアリマスシテ、私ハ中橋商工大臣ノ今マデノ施設ニ付テハ大イニ感服シテ居ルノデアリマス、餘リ此商工大臣ノ今マデノ施設ニ付テハ大イニ感服シテ居ルノデアリマス、現内閣ニ於テ經濟界ニ餘リ干渉ゼズ、干涉的ナ案ヲ提出セズ、超然トシテ無爲、自モト私ハ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ茲ニ單純ニ經濟的ノ不況シテ、私ハ中橋商工大臣ノ先刻ノ御答辯ニ對シ甚ダ失望イタス者デアリマスシテ、私ハ中橋商工大臣ノ今マデノ施設ニ付テハ大イニ感服シテ居ルノデアリマス、商工大臣ハ今迄左様ナ提案ハナサラナカツタヤウニ考ヘテ居リマス、現内閣ニ於テ出色ノ經濟ニ堪能ノ主管ウ、米ガドウダカラスウシヤウトカ云フヤウナ、煩瑣ナル事柄ヲ致スコトハ、ルノデアリマス、是ハ餘程慎ムベキコトト考ヘルノデアリマス、商工大臣ハ今迄左様ナ提案ハナサラナカツタヤウニ考ヘテ居リマス、現内閣ニ於テ出色ノ經濟ニ堪能ノ主管ウ、米ガドウダカラスウシヤウトカ云フヤウナ、煩瑣ナル事柄ヲ致スコトハ、

所ノ問題ニ至ツテ餘リ放任ニ過ギタ、餘リニ當業者ノ自由ト申シマスカ、オ前達ガ好ムナラバヤラウ、貴衆兩院ガ之ヲ通スナラバ、ツレハ仕方ガナイ、斯

ウ云フ御考ノヤウデアリマス、是ハドウモ理想ノナイ、社會ガ一日進ンテ占

メタ地歩ハ退カセナイ、更ニ一層經濟的ニモ、道義的ニモ、政治的ニモ向上

セシメル、斯ウ云フ理想的、指導的政治家ノ立場デアツテ欲シイノデアリマ

ス、是ガ群衆ニ追隨スル大臣デアツテハ、是ハドウモ現在ノ日本ノ政治上、經

濟上、宗教上、其他ニ於テ私ハ十分ナル當局大臣ト申上ゲルコトガ出來ヌノ

デアリマス、ドウシテモ我國ハ世界各國ノ基調ト殘念ナガラ遲レテ居ル點ガ

ゴザイマス、殊ニ經濟ノ點ニ於テハ左様認メザルヲ得マセヌ、此經濟界ニ於

テハ苟モ一步得タ所ノ地歩ハ斷ジテ退カヌ、更ニモウ一步向上セシメルト云

フ所ノ御見識ガアツテ、之ヲ率キテ行クト云フ所ノ當局大臣ガ願ハシイノデア

リマス、然ルニ商工大臣ハ此取引所ノ問題ニ付テハ誠ニ放任主義、餘リニ理

想ヲ離レ、餘リニ指導的ノ立場ヲ御取リニナラヌト云フコトハ實ニ私トシテ

ハ失望セザルヲ得ナイノデアリマス、今マデ商工大臣ノ態度ニ御感服申上ゲ

テ居ツタダケニ私ハ其失望ノ度ガ強イノデアリマス、ドウカ此點ハ平素ノ御懇

親ニ甘ヘマシテ宜シク御聽取ヲ願ヒタク存ズルノデアリマス、茲ニ於テ私ハ

政黨大臣ノ悲哀ヲ感ズルノデアリマス、モウ少シ日本ノ政黨大臣モ、中橋君

ハ駆出シノ大臣デナイ、モウ相當ノ地歩ヲ占メタ所ノ政黨大臣デアルカラシ

テ指導的ノ立場ニ御立チヲ願ヒタイ、ドウシテモ黨派ヲ御率キ願ヒタイ、經

濟界モ其御所管ノ範圍ニ於テ御指導ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、今日

ノ御答辯ニ至ツテハ、私ハ頗ル失望イタシマス、此失望ハ私ハ經濟上及社會ノ

道義上ノ觀念カラ失望イタシタノデアリマスカラ、甚ダ閣下ニ對シマシテ相

濟マヌノデアリマスルガ、商工大臣トシテ一言御聽取リヲ願ヒタク、苦言ヲ

呈スル次第デアリマス
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立
ヲ請ヒマス

〔聞エマセヌ「大聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立
ヲ願ヒマス

〔起立者多數〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 多數ト認メマス
ヲ願ヒマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 多數ト認メマス
ヲ願ヒマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君 賛成

○阪本彰之助君 讀會ノコトニ付テ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス、此案ハ私

共ニハ非常ニ分リ兼ネルモノデゴザイマシテ、色々考ヘテ居リマシタガ、今

日此議場ニ於キマシテノ討論ヲ承ツテ見マスルト、中々是ハ面倒ナ問題デアリ

マス、殊ニ主務大臣ノ態度ト云フモノハ決マツテ居ナイ、貴族院ガ通レバ、恐

ラク通レバ、ソレヲ黙過スルト云フヤウナ御考ノヤウニモ思ハレル、或ハ貴

族院ハ否決スルダラウカラ安心シテ居ルト云フ御考デアルカ、其邊ヲ一應御

尋ネシタイ、其間自己ト云フモノガナクテ、議院ノ態度如何ニ依ツテ宜シクヤ

ルト云フ御趣意ノヤウデアリマス、當局ノ大臣スマダ決マツテ居ナイ問題

デアル、我ニモ尙ホ審議シ、熟慮スペキ問題デアルト思ヒマスルガ故ニ、之

ヲ此場合ニ於テ即決ナサルト云フコトハ避ケタイ、貴族院規則第七十五條ノ

但書ニ依ラズシテ本文ノ、即チ正文ニ依ツテ相當ナ期間ヲ置イテ二讀會ヲ開カ

レルト云フコトガ至當デアラウト思ヒマス、此意見ヲ提出イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒ

マス
〔聞エマセヌ「ト呼フ者アリ」〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
〔聞エナイ「大聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
〔伯爵酒井忠克君「西大路子爵ノ動議ハ既ニ成立シテ居ル筈デアリマス」ト述フ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 多數ト認メマス
〔起立者多數〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 原案全部ヲ問題ニ致シマス、原案全部御異議

ゴザイマセヌカ
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君 賛成
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リテ……西大路子爵ノ動議
ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リテ御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第二十四
信託業法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
昭和四年三月十八日

貴族院議長公爵德川家達殿

右特別委員長
侯爵 大久保利武

〔侯爵大久保利武君演壇ニ登ル〕

○侯爵大久保利武君 信託業法中改正法律案特別委員會ノ議事ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ極メテ條文ガ短イノデアリマスルガ、問題ハ多少法律上ナリ且ツ實際問題トシテ色ム問題モ少ナカラヌ事デアッタノデアリマシテ、モウ時間モ切迫スル事デアリマスルカラシテ、極ク肝要ナ所ヲ摘んで申上ダマスレバ、信託業法ニ財產ニ關スル遺言ノ執行ノ事ト、會計ノ検査ノ事ヲ明白ニ信託業法中ニ入レテ、此執行ノ出來ルヤウニ改正シタイト云フ趣旨デアリマスルガ、即チ第五條ノ第一項第四號ノ次ニ財產ニ關スル遺言ノ執行、之ヲ五トシ、會計ノ検査、之ヲ六トシテ、以テ此兩問題ヲ解決シタイト云フノデアリマス、デ此財產ニ關スル遺言ノ執行ハ現行ノ信託業法ノ第二條ニ於キマシテ、既ニ遺言ニ依ッテ信託ヲ行ヒ得ルト云フコトハ規定シテ居リマスルケレドモ、信託會社ガ法人トシテ直ニ其遺言ノ信託ヲ執行スルト云フ

コトガ法律上ニ疑義ガアッテ、執行ガ出來ヌノデアリマスノデ、本法實施以來未ダ一回モ遺言ノ信託ト云フモノハ無イノデアッテ、之ヲ執行スル爲ニ此改正案ヲ求メルコトニナッタノデアリマスルガ、此問題ハ重モニ法律上ニ涉テ質問ガ多カッタノデアリマス、即チ此我國ノ民法ニ於キマシテハ法人タル信託會社ガ此遺言ノ執行ト云フコトハ出來ヌ、自然人デナケレバ出來ヌト云フコトニナッテ居ルノデアリマスル、ソレニ依ッテ此改正案ヲ見ルコトニナリマスノデアリマスガ、委員會ニ於キマシテハ司法省ノ政府委員ニ向ッテ、此民法ノ原則ニナッテ居ルノラ、信託業法デ法人ニ此遺言ノ執行ヲスルコトガドウデアルカト云フ質問ニ對シテ、政府ハ既ニ遺言信託ノ……遺言信託ヲナシ得ルト云フコトニナッテ居ルシ、外國ニ於テモ此法人實在說ガ近時段々擴ガッテ來ルシ我國ニ於テモ既ニ鑑定人ハ法人トシテ爲シ得ルコトニナッテ居ルノデアル、又殊ニ此信託會社ハ許可主義ニ依ッテ、大藏省ニ於テ嚴重ナル監督ノ下ニ居ルシ、又許可ノ際モ信託業法ニ依ッテ、特ニ信用ヲ重ンジ、其信託ノ仕事ニ從事スルヤウニナッテ居ルコトデアルシ、又外國ニ居テ内地ニ親族故舊ト云フ者ノ居ラヌ人ミニ對シテハ、殊ニ此信託會社ニ遺言ノ信託執行ヲ託スルコトガ頗ル便利デアッテ、其執行ノ出來ルヤウニナルト云フコトハ、時世ノ進運上然ルベキコトデアラウト思フノデ、敢テ其點ニ差支ナカラウト思フコトガデアリマスル、又他ノ法律上ノ問題ニ於キマシテハ、信託會社ニ遺言ノ委託ヲシタ場合ト、又一般遺言執行ヲ信託會社デスル場合トニアラウト思フガ、我民法ノ原則ニ依ルト云フト、遺言ハ無報酬デ……特ニ遺言者ガ定メテ置カナケレバ、民法ノ原則トシテハ遺言執行者ト云フ者ハ無報酬デヤラナクテハナラヌト云フコトガ原則ニナッテ居ルガ、其點ニ於テ、財產ニ關スル遺言ノ執行ト云フ、單ニ是ダケノ文字デハ、信託會社ニ委託シタ遺言ノ執行バカリデアルカ、又一般ノ遺言ノ執行ノコトモ含ムノデアルカ、是等ガ甚ダ明カナランデ申上ダマスレバ、信託業法ニ財產ニ關スル遺言ノ執行ノコトモ含ムコトガ適當デアラウト云フコトデアッテ、其場合ニ於ケル民法原則ノ遺言者ノ特ニ定メガナケレバ報酬ヲ取ルコトハ出來ヌト云フコトニナル、其場合ニ處シテハ、矢張リ此信託業法ノ中デ民法ノ特例ヲ設ケタコトニナルト解シテ宜カト云フコトニ對シテハ、司法省ノ政府委員ノ説明デハ、是ハ兩者ヲ含ムコトガ適當デアラウト云フコトデアッテ、其場合ニ於ケル民法原則ノ遺言者ノ特ニ定メガナケレバ報酬ヲ取ルコトハ出來ヌト云フコトニナル、其場合ニ處シテハ、矢張リ此信託業法ノ中デ民法ノ特例ヲ設ケタコトニナルト解シテ宜カラウト、斯ウ云フ答辯デアリマシテ、其他會社ガ遺言ノ執行ヲスルト云フコトニナレバ我國ノ醇風美俗ヲ紊ル弊ハナカラウカ、即チ遺言ヲ執行スルニ當ツテハ故人ノ死後ニ於テ色ムナ財產ヲ取調ベタリスル上ニ付テ、是マデ遺言執行

ト云ヘバ、親族故舊デ極ク親シク懇親ナ間柄、又信ズベキ人ガ其局ニ當ツテ居ツタノガ、會社トナレバ如何ナル人ガ此遺言信託ニ從事スルカ、其點ヲ考ヘルト甚ダ懸念デハナイカト云フ質問モアツタノデアルガ、政府ニ於テハ現在ノ信託會社ノ狀況モ極メテ順調ニ發達ヲシテ居ルシ、信用ヲ重ンジ、其點ニ於テハサシテ懸念ハ無カラウト思フ、尤モ一二信託會社ノ中ニ於テモ營業不振且成績ノ悪いモノモアルケレドモ、大體ニ於テ漸次發達致シテ居ルシ、主務省ニ於テモ頗ル監督ヲ嚴重ニシテ居ルコトデアルカラシテ、サウ云フ懸念ハ無カラウト云フヤウナ答辯デアッタノデアリマス、次ニ會計検査ノコトニ於キマシテハ問題ハ重モニ計理士トノ關係デアッタノデアリマス、御承知ノ如ク計理士法ハ昨年法律實施ニナリマシテ、特ニ計理士ノ稱號ヲ得テ會計ノ検査ニ從事シテ居ルノデアリマス、ソレヲ今回其外ニ信託會社ガ新ニ會計ノ検査ヲ實行シ得ルコトニナレバ、折角法律ニ依ツテ保護サレ獎勵サレテ、爲ニ是カラシテ芽ヲ吹カムトスル計理士ノ業ヲ奪フテ、發達ヲ阻止スルヤウニナリハセヌカ、矛盾スルヤウナコトニナリハセヌカト云フ質問ガアッタノデアリマスルガ、ソレニ對シテ政府ハ決シテサウハ思ハヌ、今日ニ於テモ計理士以外ノ人デアッテモ會計ノ検査ハ爲シ得ルノデアッテ、今回ノ改正ニ依ツテ信託會社ガ會計ノ検査ヲ爲シ得ルコトニナッテ、會計ノ検査ト云フコトガ世間一般ニ益其必要ヲ感ジテ來テ、却ツテ會計ノ検査ヲ主タル仕事トスル計理士ノ仕事ニモ好影響ヲ却ツテ及ボスコトト思フ、殊ニ現ニ今日ノ各信託會社ノ中デモ會計ノ事ニ付テハ種々専門家ヲ置イテ居ル、必要カラシテ現ニ信用アル計理士ヲ信託會社ニ使ツテ居ル所モ段々アルシ、決シテサウ云フ懸念ハ無カラウト思フ、又此法案提出ニナリマシテカラ、計理士協會ニ於テモ頗ル將來ヲ懸念シテ、段々此主務省アタリニ於テモ其點モ考慮セラレテ、先頃既ニ信託會社ト計理士協會ト種々御相談ガ行ハレテ居ルヤウナ狀況デアルカラシテ、必ズヤ又サウ云フゴトガ若シ有リトスレバ、監督官廳トシテ一方ハ商工省、又信託會社ノ方ハ大藏省、各、兩省ニ於テ然ルベク妥協シテ圓滿ニ各、其業ヲ發達シテ、行クヤウナ道モアラウト思フト云フヤウナコトデアリマシテ、決シテ矛盾スルヤウナ憂ヘハ無カラウト云フ答辯デアリマシタ、デ斯ノ如クシテ質問ヲ打切りマシテ討論ニ移ツタノデアリマス、デ討論ニ移リマシテカラシテ、種々意見ガ出タノデアリマスルガ、委員ノ賛成論者トシテハ、既ニ信託業法ニ於

テ遺言ノ信託ヲ爲シ得ルト云フ規定ニナツテ居ルシ、又之ヲ實行スル上ニ付テハ決シテ懸念ノナイト云フ政府ノ答辯モアルシ、且ツ外國邊リニ居ル人ニ於テハ頗ル便利ナコトデモアルシ、且ツ醇風美俗ヲ素ルコトハナイト云フコトデアレバ、此遺言信託ノ執行モ法人ガナシ得ルト云フコトニシテモ決シテ差支ハアルマイト思フ、ソレカラ之ニ對シテ反對ナ意見ハ遺言執行ト云フコトハ、法理上頗ル疑義ノアルコトデアッテ、我國ノ民法ニ於テハ遺言執行ト云フコトハ極メテ之ヲ局限シテ、成ルベク醇風美俗ノ紊レヌ……破ラレヌヤウニ民法ト云フモノハ、制定當時ニ出來テ居ルノデアル、出來ルダケ遺言者ノ資格ハ局限シテヤルコトニナツテ居ルシ、又法人モ斯ノ如キ遺言執行ノ如キコトヲヤルト云フコトハ、法律ノ原則ニ悖ツテ居ルノデアッテ、法律ガ現在シテ居ル以上ハ之ヲ濫リニ信託會社ニ許スコトハ、法ノ上カラシテヤルベキコトデハアルマイ、殊ニ信託會社ガ如何ナル人ヲ遺言執行者ニ充テルカ、此使用人カラシテ芽ヲ吹カムトスル計理士ノ業ヲ奪フテ、現ニ又此會計検査ノ如キハ計理士ト云フモノヲ法律デ認メテ、計理士關係ハアリマセヌケレドモ、會計検査ノ如キコトハ、極メテ不安ナ思フ致スノデアル、現ニ又此會計検査ノ如キハ計理士ト云フモノヲ法律デ認メテ、計理士ノ稱號ヲ與ヘテ之ヲ發達スルコトニナツテ居ルノデアルカラシテ、今此立派ニ發達セムトスル所ノ計理士ノ業ヲ又信託會社ニ之ヲ託シ得ルト云フコトハ、甚ダ現在ノ信託會社ノ狀況カラシテ懸念スルノデアル、之ニ依ツテ此改正案ニハ同意スルコトガ出來ヌト云フ反對ガアッタノデアリマス、結局二名ノナリマシテ、本案ハ可決イタシタノデアリマス、極メテ簡單デアリマスガ、病氣缺席者ガゴザイマシタガ、五人ノ賛成デ一名ノ反對ト云フ採決ノ結果ニナリマシテ、本件ハ可決イタシタノデアリマス、極メテ簡單デアリマスガ、右御報告申上ゲテ置キマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案ノ第一讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス
○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○子爵清岡長言君 賛成
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 本案全部ヲ問題ト致シマス、原案通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵清岡長言君 賛成

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイモノト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第二十五、貴族院規則中改正ノ動議、公爵一條實孝君外六名發議、會議

貴族院規則中改正ノ動議
右提出候也

昭和四年三月十八日

發議者

公爵 一條 實孝 伯爵 柳澤 保惠 大島 健一

男爵 南部 光臣 石渡 敏一

湯淺 倉平

贊成者

公爵 近衛 文麿 侯爵 中御門 經恭 侯爵 細川 譲立

侯爵 佐佐木 行忠 侯爵 德川 賴貞 伯爵 堀田 正恒

男爵 木越 安綱 子爵 大久保 立 子爵 青木 信光

子爵 大河内 正敏 予爵 藪 篤 麼 予爵 渡邊 千冬

嘉納 治五郎 犬塚 勝太郎

藤澤利喜太郎

和田 彥次郎 石塚 英藏 小松 謙次郎
内田 嘉吉 男爵 小原 駿吉 伊澤 多喜男
男爵 黒田 長和 男爵 今園 國貞 男爵 藤村 義朗
男爵 小畠 大太郎 男爵 高木 喜寛 藤田 四郎
阪本 彰之助 南 弘 菅原 通敬 永田 秀次郎
湯地 幸平 森 平兵衛 田村 新吉
小塩八郎 右衛門 松本 勝太郎 橋本萬右衛門 鵜澤 總明
風間八左衛門 濱口 儀兵衛 小林 嘉平治
貴族院議長公爵徳川家達殿

貴族院規則中左ノ通改正ス

第四條 皇族ノ議席ハ議員ノ首班ニ置キ其ノ席次ハ宮中ノ列次ニ依ル其ノ他ノ議員ノ議席ハ議長之ヲ定ム

○石渡敏一君 只今上程セラレマシタ動議ハ、貴族院規則第四條ノ改正ニ係リマスルモノデ改正點ハ「皇族ノ議席ハ議員ノ首班ニ置キ其ノ席次ハ宮中ノ列次ニ依ル其ノ他ノ議員ノ議席ハ議長之ヲ定ム」斯ウ云フコトニ致シタイ、現在ノ貴族院規則第四條ハ御承知ノ如クニ、皇族ヲ首席トシ、有爵者有位者ヲ次席トシ、其他ノ議員ヲバ三席トシテ居ツタノデアリマス、此度ノ改正案ハ、皇族ノ議席ハ是ハ從來ノ通リニシテ置カウ、文字ハ幾ラカ變ッテ居リマスガ、先づ手ヲ著ケヌト云フコトヲ上臺ト致シテアリマス、次席三席ノ議員、有爵者、有位者、其他ノ議員ヲ打ッテ一團トシテ席ヲ決メヤウ、斯ウ云フノガ改正案ノ趣意ナノデゴザイマス、斯ウ申シマスレバモウ既ニ大抵其趣意ヲ御承知ニナラレルコトト私ハ信ジテ居リマスルカラシテ、理由モ極メテ簡単ニ申上マスル、本院規則第四條ノ規定ハ明治二十三年以來一回モ改正セラレタコトガナインデアツテ、時勢ノ進運ニ應ズルニ適セザル點ガアリ、且ツ實行上ノデアリマス、ドウカ皆様ノ御賛成ヲ願ヒタイト存ジマス

○志水小一郎君 簡單デゴザイマスカラ此處カラデ宜シウゴザイマスカ
○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 宜シウゴザイマス

○志水小一郎君 私ノ御尋ハ三段デゴザイマス、先づ第一ニ私ガ是マデ伺ッテ居リマス所デハ、爵位次第ト云フ規則ガ重要ノ關係ヲ持ッテ居ルト云フコトニ承ツテ居ル、爵位次第ナルモノガアレバ、ドウカスウカソレデ歩ンデ行ケルモノガ、今ヤ爵位次第ハナイ、斯ウ云フヤウニ伺ッテ居リマス、其意味ニ於テ御尋ヲ致ス、サウスレバ其爵位次第ト云フモノヲ貴族院議員ノ席次ヲ定ムル爲ニ、關係的ニ生カシテ置クト云フコトハ出來ナイノデアラウカト云フノガ第一段ノ御尋、是ハ無意義ノコトヲ申ス積リデハアリマセヌデ、幾ラモ其事例ガアルノデアツテ、例ヘバ明治二十一年ノ陸軍治罪法ニハ其第六條ニ普通治罪法ノ十七條ヲ引キマシテ、ソレヲ適用スルト云フコトガ書イテアル、ソレカラ其普通治罪法ナルモノハ程ナク刑事訴訟法ニ代リマシテ、從テ内容モ變ッタノデアリマスケレドモ、其普通治罪法ノ規定ガ恰モ軍事治罪法ニ書キ込ンデアルカノ如ク讀ミマシテ、廢セラレタルモノハ其廢セラレタ(聽取シ難シ)ヲ矢張リ適用スル、ソレカラ内容ガ増減變更セラルレバ追隨解釋ニ依ッテ其增減變更ノ規定ニ依ル、斯ウ云フコトヲシテ多年歩ンデ參ッタノデアリマス、是ハ亂暴ナル解釋ニアラズシテ學說モサウ云フコトニナツテ居ルカノヤウニ思ヒマス、ト云フモノハ學者ノ解釋ニ追隨解釋ナドト云フモノガアルカラデアリマス、ソコデ伺ヒタイノハ此貴族院議員ノ席次ヲ定ムルニ果シテ爵位次第ト云フモノガ必要デアルナラバ、ソレヲ慣例的ニ活カシテ置クコトハ出來ナイカト云フノガ第一段デアリマスソレカラ第二段ノ御尋ハ、今日ノヤウナ狀態ニ至リマシタ經路ト云ヘバ仰山デアリマスガ、ドウシテ斯ウ云フ御詮議ニハナツタカト云フコトヲ伺ヒタイ、固ヨリ貴族院議長ハ貴族院ノ風紀秩序ヲ維持スル所ノ御職責ノアル御方ニ違ヒナイ、併ナガラ風紀秩序ノ因テ生ズル所ノ議員各自ノ席次ト云フモノハ、議長ノ職權デ御決メニナルト云フコトハ、恒例モ何モナイノデアリマス、ソコデ先般來幾多ノ會ヲ重ねテ各派ノ先輩諸君ガ御寄合ニナツテ御相談ニナツタナラバ、何カ思ハシイ御名案ガアリサウナモノト、是ハ誰デモ思フノデアリマス、所ガソレガ無クシテ議長一任ト云フコトニハドウシテナツタノデアリマスカト云フコトガ伺ヒタイ、私ハ強チ此動議ニ反對ヲ試ミルモノデハナイノデアリマスケレドモ、等シク御同意ヲスルニモ斯ウ云フ狀態ニナツタ經路ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス、ソレカラ此動

ウ云フコトニナリマシタ次第ハ、貴族院ノ議員ノ席次ヲ抹殺シテシマフト云フヤウナ議論ガ勢力ヲ得テ居ルノデハナイカ、ト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、ト云フヤウナコトハ年長順デモ宜シ、籤取りデモ宜シ、拜命順デモ宜シイ、ト云フヤウナコトガアル、ソレナラバ四角イモノヲ丸クシナケレバイケナイト云フヤウナコトデ、貴族院議員ノ席次ナルモノガ抑、イケナイト云フヤウナ議論ノヤウニ思フノデアリマス、其證據ニハ席次ト云フモノガ名稱ガ變ッテ、今度ハ議席ニナル、議スル爲ノ席次ト云フコトニナツテ居ル、私ハ意見ヲ述ベルノデハナイノデアリマスケレドモ、我ガ現行貴族院制度ハ讀ンデ字ノ如ク、貴族院ガ皇族ヲ首席トシテ、サウシテ公侯伯子男、斯ウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ立法ノ理由ガ十分アラウト思ヒマス、サウシテ其華族ノ最モ主ナル方ノ公侯爵ハ互選デハナクシテ世襲ト云フコトニナツテ居ル、議院ノ構成組織ガサウ云フ意味デアルカラ、貴族院議員ニ席次ノアルナドト云フノハ無論當然ノコトデハナイノデアリマセウカ、席次ガナクテモ宜イノデアリマスカ、是ハ例デアリマスガ、例ヘバ陛下ガ臨御ニナツテ各自ニ拜謁ヲ賜ハル、其場合ニ誰デモ宜イ、籤取りリデ拜謁ヲ願フト云フヤウナコトノアルベキモノデナイ、ソレカラ一般ノ傾向ガ甚ダ民主的ニ傾イテ來テ居ルノデアリマスカラ、霜ヲ履ンデ堅氷至ルト云フヤウナコトニナリハシナイカ、貴族院議員ノ席次ナドト云フモノハ重要ナ關係ガアリハシナイカ、此席次ヲ抹殺スルト云フコトナラバ、將來起ラムト欲スル所ノ貴族院改正ト云フヤウナ場合ニナリマシタナラバ、固ヨリ公侯伯子男ナドト云フモノハ無用デアル、縱シヤ置キマシテモ民選議員ヲ多數ニシナクチヤナラヌナドト云フヤウナ、歐羅巴各國ノ多數ノ例ガ輸入シ來ツテ、面倒ナ問題ニナリハシナイカト云フコトヲ本員ハ伺フノデアリマス、ソレダカラシテ、其一段二段ノ伺ヒハ先輩諸君ノ御寄合デアルカラシテ、何カ思ハシイ席次ガ決マリサウナモノデアルノガ遂ニ決マラズシテ、議長ヲ煩スト云フコトニハドウシテナツタノデアリマスカト云フコトガ伺ヒタイノデアリマスガ、第三ニハ議長ヲ煩シテ議長ノ定ムル所ニ依ルト云フコトハ是ハ絶對的ノ規定デアリマスカ、其出來榮エガドウアツタ所ガ、是ハ皆服從ヲ約シテアルト云フヤウナ意味ニナルノデアリマスカ、此三點ガ伺ヒタイノデアリマスガ、御提案者ナリ、御賛成者ノ主ナル力ナリニ、ドナタカラデモ宜シウゴザイマス、御答ヲ願ヒマス

○石渡敏一君 只今ノ御質問ノ中、若シ 陛下ガ臨御遊バサレタナラバ、ドウ

云フヤウナ取扱ヲスルカ、斯ウ云フ問題ヲ出サレマシタガ、是ハ御取消ニナッテ下サラヌケレバイカヌト思フ、斯ウ云フ問題ニ付テ 陛下ヲ御引合ヒニ出

スト云フコトハ我ムノ慎シムベキコトト思フノデアリマス、其點ハドウカ：

○私ハ御答ヲスルコトハ全ク此點ニ付テハ避ケヤウト存ジマスカラ、アナタ

ガ御取消シ下サラナケレバ、私ハ此問題ハ御答ヲシナイ積リデ居リマスカラ

ドウカ其積リデ願ヒタイ、ソレカラ實ハ是ハムヅカシク御言ヒニナル問題デ

ハナイト思ツテ居ルノデアリマス、是ハ誰ガ先ニ坐ラウト云フコトハ憲法ノ

五十一條ニハ議院デ勝手ニ定メテ宜イト云フノデアリマス、ソレ故ニ先ヅ私

ハ物ノ數デナクテモ、皆有力ナ方ガ集マッテ、有力ト云フモオカシイノデスガ

皆會ヲ代表サレル方ガ集マッテ御招ヘニナツタノデ、是デ圓ク治ツタノデアラウ

ト思フ、ソレヲ位ガドウダトカ、爵位ガドウダトカ云フコトヲ言フ必要ハナ

イヂヤナイカ、是ガ即チ憲法五十一條デ謂フ所ノ規則ダト思ヒマス、ソレカ

ラ外ニ色ム申シマシタケレドモ、平タク申セバ御互ノ間デ膝ヲ組合セテドウ

ダラウ、斯ウ云フ席ヲ斯ウ云フ按排ニシタラドウダラウト云フコトカラ、從

來ハスウダケレドモ今度ハ斯ウ云フコトニヤラウデヤナイカト云フ程度デ決

マツタノデアリマス、ソレデ我ムハ宜イモノト思ツテ居ル、ソレデ此案ガ……

第四條ガ出來上リマシテ、改正案トシテ、サウシテ議長ハ之ニ依ッテ御定メニナルモノト考ヘテ居リマス、是ガ成立ツタ徑路ハ色ムアリマセウケレドモ、ソレハ銘々勝手ナコトヲ言ッタト云フコトニ過ギナイノデアリマス、結局茲デ治マツタナラバ、ソレデ宜クハナイカト思ヒマス、是ガ結果デアリマス、是ガ改正案ノ趣旨デアリマスカラ、左様御承知ラ願ヒマス

○志水小一郎君 サウスルト石渡君ノ御論ハ今本員ガ聽キマシタ如ク、議長ガ定メラレテ、曰ク年配順序ニシヤウ、籤取リニシヤウ、斯ウ云フ風ニ決マリマシタ所ガ御異議ハナイノデアリマスカ、絶對的ニ是ハ服從スルコトノ御約束デアリマスカ、ソコヲ伺ヒタイ

○石渡敏一君 別段ニ御答ヲ致ス必要ガ私ニハ無イト存ジマスカラシテ、別段ニ御答ヲ致シマヌ

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 此改正ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 日程第二十六ヨリ第四十四、請願、會議

意見書案

東亞保民會設立ニ關スル件

東京市赤坂區青山南町士族金健中外十四名呈出

右ノ請願ハ滿蒙ノ地ニ移住セル多數ノ朝鮮人ハ其ノ背後ニ團體的支持ナク爲ニ微力ナル彼等ハ愈經濟的壓迫ヲ受ケ今ヤ悲況ニ沈淪セリスクテハ遂ニ自暴自棄ニ陥リ思想惡化ノ禍根タラムトスルモノアルハ國策上甚遺憾ナルニ依リ速ニ生業ニ安セシムル爲請願人等ニ於テ之カ保護機關トシテ東亞保民會ヲ設立スルヲ以テ適當ニ國家的援助ヲ與ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年月日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

日露漁業條約ニ關スル件
意見書案

東京市麹町區内山下町帝國水產會會長男爵村上隆吉呈出

右ノ請願ハ曩ニ成立セル日本、「ソヴィエート」社會主義共和國聯邦間ノ漁業條約第二條末項中ノ鯨及鱈竝特定漁區域内ニ於テ捕獲シ又ハ採取シ能ハサル一切ノ魚類及水產物ノ捕獲ニ關シ右條約ニ伴フ最終議定書ニ依リ近ク之カ免許狀受理ニ關スル準據規則ヲ發布スヘキ旨彼ノ聲明アリシニ拘ラス未コレ無キハ我邦ニ於ケル工船漁業竝機船漁業發展上遺憾ナルヲ以テ速ニ彼ヲシテ發布セシムルヤウ適當ノ方法ヲ講セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年月日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

根室臨港線鐵道敷設ノ件
北海道根室郡根室町長本橋貞呈出

岩見澤、厚田間鐵道敷設ノ件

北海道空知郡岩見澤町平民公吏佐藤幸助外四百十四名呈出

右ノ請願ハ室蘭本線鐵道岩見澤驛ヨリ空知郡北村、樺戸郡月形村及石狩郡當別村字青山奥ヲ經テ厚田郡厚田村ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ肥沃ナル石狩海岸ニ於ケル漁業ノ發展ニ資スル重要ノ線路ナルニ拘ラス未著手ナキハ同道拓殖上竝交通連絡上甚遺憾ナルヲ以テ速ニ之ヲ起工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿
内閣總理大臣男爵田中義一殿
貴族院議長 公爵 德川家達

紋別臨港線鐵道敷設ノ件
北海道紋別郡紋別町鑛業藤島三千太郎外百二十六名呈出

右ノ請願ハ名寄本線鐵道紋別港ニ至ル臨港線鐵道ヲ敷設スルハ同港ニ於ケル豊富ナル海產ノ輸送ヲ迅速ナラシムルノミナラス附近地方一帶ノ農產、林產ノ開發上資スルトコロ大ナルニ依リ速ニ之ヲ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

北海道紋別郡瀧上村農岡本政道外三百二十六名呈出
右ノ請願ハ豫定線鐵道北見瀧ノ上、上川間鐵道ハ沿線地方ニ於ケル林產、鑛產等ノ豊富ナル資源ヲ開發スルノミナラス北見、石狩ノ兩國ヲ連絡シ交通上竝國防上ニ資スルコト亦多大ナルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

右ノ請願ハ未成線鐵道北興濱線鐵道ヲ速成スルハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル農產、林產、鑛產等ノ資源ヲ開發スルノミナラス世界三大漁場ノ稱アル「オコック」海ニ面シ其ノ無限ノ海田ヲ開拓スル將來有望ノ線路ナルニ拘ラス未其ノ完成ナキハ北海道拓殖上甚遺憾ナルヲ以テ本年度ヨリ起工セラレ

タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ
議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

自動車法制定ノ件
意見書案

東京府豊多摩郡代々幡町平民堀内良平外七百六十六名呈出

右ノ請願ハ道路網ノ完成ト相俟テ運輸交通機關タル自動車ノ發達ヲ圖ルハ
我國産業ヲ開發スル所以ナルニ拘ラス未其ノ全キヲ得ナルハ國家經濟上甚
遺憾ナルニ依リ交通省ノ設置ト共ニ自動車法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニ
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五
條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

静岡縣下熱海町大字泉ヲ神奈川縣下湯河原町ニ編入ノ件

神奈川縣足柄下郡湯河原町長伊藤濱平呈出

右ノ請願ハ靜岡縣田方郡熱海町大字泉ハ神奈川縣足柄下郡湯河原町溫泉區

域ニ接續シ人情風習ヲ共ニセルノミナラス輓近溫泉場ノ繁榮ニ伴ヒ恰モ同
一割ヲナスニ拘ラス其ノ行政區割異レル爲警察署、町役場、學校等ノ利用
上住民ノ不利不便尠カラサルハ甚遺憾ナルヲ以テ同字ヲ湯河原町ニ編入ス
ルヤウ行政區割ヲ變更セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採
擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

十和田湖ヲ中心トスル國立公園設置ノ件
意見書案

青森縣東津輕郡濱館村長木村慶司外三十名呈出

右ノ請願ハ山紫水明ナル十和田湖一帶ノ地ハ山上ノ湖水ヲ始メ奥入瀬川ノ
溪流、八甲田山ノ雄姿等自然ノ美ヲ鍾メ風景絶佳ナルノミナラス人爲的施
設亦備ハレルヲ以テ同湖ヲ中心トスル國立公園ヲ設置セラレタシトノ旨趣
ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十
五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

雲仙岳、阿蘇山、別府溫泉、久住山ヲ國立公園ニ指定ノ件

熊本縣熊本市熊本縣知事齊藤宗宜外七名呈出

右ノ請願ハ雲仙岳、阿蘇山、別府溫泉及九州アルブスノ稱アル久住山ハ同
一徑路ニ接觸シテ點在シ世界稀ニ見ル風光明媚ノ地ニシテ内外人ノ遊覽客
多キヲ以テ右四箇所ヲ關聯的ニ國立公園ニ指定シ相當ノ施設ヲ講セラレタ
シトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議
院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年 月 日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

谷田川改修ノ件
意見書案

群馬縣邑樂郡永樂村平民農塩田清平外千百二十三名呈出

右ノ請願ハ群馬縣邑樂郡ノ南部ヲ貫流スル谷田川ハ利根川ニ屬シ半ハ河川
法施行區域ナルニ拘ラス今ニ何等ノ施設ナク其ノ流域ハ池沼濕潤ノ地多ク
且屈曲狹隘ノ個所尠カラサル爲降雨毎ニ氾濫シ沿岸ノ被害甚大ナルハ地方
產業ノ發達上甚遺憾ナルニ依リ速ニ國費ヲ以テ之レカ改修ヲ圖ラレタシト

内閣總理大臣男爵田中義一殿

ノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年月日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案

一時金傷兵恩給法改正卽行ニ關スル件

石川縣金澤市中石引町平民商大浦長次外百六十四名呈出

右ノ請願ハ世態ノ進運ト經濟界ノ推移ニ伴ヒ文武官ノ恩給ハ漸次改正セラレタルニ拘ラス軍人傷痍者ハ單ニ一時金ヲ受ケタルモノアルモ生活上何等ノ保障ナク爲ニ今ヤ窮境ニ陥レルモノ尠カラサルハ國民士氣振興上甚遺憾ナルニ依リ速ニ恩給法ヲ改正シ以テ一時金傷痍者及無償傷痍者ニ對シテモ優遇安定ノ途ヲ講セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年月日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

意見書案
軍人傷痍記章令中改正ノ件

石川縣金澤市上新町平民商水野外次郎外百六十四名呈出

右ノ請願ハ軍人ニシテ傷痍ヲ受ケ兵役ヲ免除セラレタルハ假令傷痍ノ輕重アリト雖兵役義務ニ服シ國家ニ盡スコト敢テ軒輦ナキニ拘ラス軍人傷痍記章令ハ軍人傷痍記章受領者ヲ増加恩給受給者ニ限リ一時恩給受給者ヲ除外スルノ差別ヲ附シタルノミナラス願出ヲ條件トシタルハ甚遺憾ナルヲ以テ速ニ同令ヲ適當ニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和四年月日

貴族院議長 公爵 德川家達

内閣總理大臣男爵田中義一殿

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 請願委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 御異議ナイト認メマス、次ノ日程ハ彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會

午後六時五十一分散會

昭和四年三月二十日